

全国都道府県立武道館協議会

会 報

第47号

令和7年2月発行



目 次

1 役員会報告

令和5年度理事会	4
令和5年度常任理事会	7

2 活動報告

協賛・後援事業等報告	14
------------	----

3 地域社会武道指導者研修会・地方青少年武道錬成大会

令和5年度地域社会武道指導者研修会・地方青少年武道錬成大会開催一覧	18
中学校武道必修化「特化型」地域社会武道指導者研修会実施内容報告	22
実施報告・参加者感想文	
柔道	26
剣道	29
弓道	32
相撲	36
空手道	37
合気道	39
少林寺拳法	43
なぎなた	48
銃剣道	51
地域社会武道指導者研修会・地方青少年武道錬成大会 古武道模範演武	54

4 資料

中学校武道必修化関連事業一覧	58
地域社会武道指導者研修会・地方青少年武道錬成大会 実施状況一覧	62
全国都道府県立武道館協議会 年表	71
全国都道府県立武道館協議会 役員名簿	76

(表紙写真) 和歌山県(和歌山市)地方青少年合気道錬成大会
岩手県(盛岡市)地方青少年なぎなた錬成大会
鳥取県(鳥取市)地方青少年相撲錬成大会
山形県(山形市)地方青少年柔道錬成大会
青森県(弘前市)地方青少年弓道錬成大会
青森県(弘前市)地方青少年銃剣道錬成大会
富山県(富山市)地方青少年剣道錬成大会
山口県(山口市)地域社会空手道指導者研修会
福島県(福島市)地域社会少林寺拳法指導者研修会
上段左上から

1 役員会報告

令和5年度理事会

令和5年度全国都道府県立武道館協議会理事会は、4月28日に日本武道館中道場にて実施された。

定刻、事務局が、規約に基づき臼井日出男理事長が議長を行う旨を述べ、理事長は議長の任に就いた。

会議に先立ち、高村正彦会長が挨拶を述べた。

議長は、本日の定足数を事務局に確認（総数54名、出席38名、委任状提出者16名、会議は成立）し、議事録署名人として、山崎（千葉）・小林（福井）両理事を指名、出席者の同意を得た。

次に、事務局より、以下の事項について報告した。

■報告事項

(1)全国都道府県立武道館協議会設立40周年記念事業について

昭和56年の改組・発足以来、本協議会は令和3年度で設立40年を迎えたため、設立40周年記念事業として、各加盟館の協力を得て、本協議会および加盟館の歴史、歴代役員、組織、事業の推移などをまとめた『全国都道府県立武道館協議会四十年史』を令和5年3月に発行したので報告する。

本記念誌は、文部科学省・スポーツ庁、本協議会役員、本協議会加盟館、全国都道府県・政令指定都市教育委員会、日本武道協議会加盟団体および傘下の都道府県連盟・団体、武道議員連盟、関係機関などに合計13,000冊送付し、本協議会の活動の紹介と周知を図った。

(2)令和5年武道振興大会について

令和5年武道振興大会は3月1日（水）、武道議員連盟・日本武道協議会・（公財）日本武道館の3団体共催により、衆議院第一議員会館多目的ホール（東京都千代田区永田町）において開催されたので報告する。

大会は、井出庸生文部科学副大臣をはじめ、武道議員連盟所属の国会議員、各武道団体役員ら約170名が出席。丹羽秀樹武道議員連盟理事・事務局長による開会宣言の後、主催3団体を代表して江渡聡徳武道議員連盟会長、高村正彦日本武道協議会・日本武道館会長が挨拶を行った。

続いて、高木陽介武道議員連盟副会長・理事長が、中学校武道授業に関し、外部指導者を活用した複数種目実施のモデル事業の継続、中学校武道

必修化の充実を目指し施設、用具、指導者の条件整備の推進、武道の国際的普及・振興のための支援や助成、古武道の文化財指定の推進・文化庁長官表彰の授与などを要望する大会決議（別添）を読み上げ、満場の拍手で採択され、井出文部科学副大臣に決議文が手渡された。決議を受けて井出文部科学副大臣が決議を踏まえて武道の一層の振興を図ると祝辞を述べた。

次いで、岸田文雄内閣総理大臣の祝辞文が読み上げられた。

その後、日本武道協議会加盟9団体の代表者が各団体の現状や展望について発言し、高村正大武道議員連盟事務局次長が閉会宣言を行い、大会は盛会裡に終了した。

また、武道振興大会に先立って、衆議院第一議員会館国際会議室で行われた令和5年武道議員連盟総会において、永嶋振興部長が日本武道協議会・日本武道館の令和4年度活動報告を行った。

(3)令和4年度本協議会常任理事会について

令和4年度全国都道府県立武道館協議会常任理事会は令和5年2月28日（火）午後2時より、日本武道館大会議室において高村正彦会長、臼井日出男理事長、川端達夫常任理事及びブロック常任理事8名、合計11名が出席して開催された。会議では報告事項13件、議案2件が審議され、承認可決されたので報告する。

(4)令和4年度中学校武道必修化関連事業について

平成24年度に完全実施された中学校保健体育授業での武道必修化に対応し、令和4年度は、地域社会武道指導者研修会の全85カ所のうち、6カ所（5県）で、中学校武道必修化に特化した内容の研修会が実施された。

（ア）令和4年度地域社会武道指導者研修会85カ所のうち6カ所（山口2、静岡1、福島1、広島1、鹿児島1）で中学校武道必修化に特化した研修会が実施された。

（イ）令和4年度中学校武道授業指導法研究事業が9種目の武道団体との共催で、日本武道館研修センター等全11カ所で実施された。

（ウ）第13回全国空手道指導者研修会が令和4年8月16日から18日まで、東京都江東区・日本空手道会館において、66名の参加者を得て実施された。

（エ）第10回全国少林寺拳法指導者研修会が令和4年9月17日から19日まで、日本武道

館研修センターにおいて、28名の参加者を得て実施された。

- (オ) 第13回全国中学校（教科）柔道指導者研修会が令和4年10月14日から16日まで、日本武道館研修センターにおいて、32名の参加者を得て開催された。
- (カ) 第10回全国合気道指導者研修会が令和4年11月4日から6日まで、日本武道館研修センターにおいて、27名の参加者を得て開催された。
- (キ) 第9回全国銃剣道指導者研修会が令和4年11月11日から13日まで、日本武道館研修センターにおいて、26名の参加者を得て開催された。
- (ク) 第9回全国相撲指導者研修会が令和4年11月18日から20日まで、日本武道館研修センターにおいて、28名の参加者を得て開催された。
- (ケ) 令和4年度全国なぎなた指導者研修会が令和4年11月25日から27日まで、日本武道館研修センターにおいて、40名の参加者を得て開催された。
- (コ) 第11回全国弓道指導者研修会が令和5年2月17日から19日まで、日本武道館研修センターにおいて、24名の参加者を得て開催された。
- (サ) 令和4年度全国剣道指導者研修会が全国2ブロック（東日本、西日本）において、計75名の参加者を得て開催された。

(5)「都道府県武道協議会」への運営及び武道祭開催助成金交付について（日本武道協議会）

日本武道協議会では、全国の各都道府県武道協議会に対し、武道の普及振興をより徹底、推進するため、平成22年度より「都道府県武道協議会運営助成金支出規程」を定め、以下の支出基準により、助成金（年度一律10万円）を日本武道協議会運営予算より支出している。助成金は、毎年度、所定申請書による手続きを経て、日本武道協議会の運営予算より支出される。

令和4年度は、山形県、福島県、群馬県、埼玉県、東京都、富山県、滋賀県、山口県、愛媛県、大分県、沖縄県の11都県の武道協議会に対し、助成金が交付された。

また、令和元年度より支出規程が改定され、都道府県武道協議会が主催し、構成団体が出場する武道祭に対し、助成金（年度一律10万円）を別途支出している。

令和4年度は、埼玉県、群馬県、山口県、大分県、山形県、滋賀県、東京都にて開催された武道祭に対し、助成金が交付された。

(6)「都道府県公立武道館協議会」への運営助成金交付について（本協議会）

本協議会は、規約第4条第5項「公立武道館協議会設置促進及び運営助成金の交付」に基づき「都道府県公立武道館協議会運営助成金支出規程」を定め、各加盟館を中心とした「都道府県公立武道館協議会」に対し、地方における武道の普及振興をより一層推進するため、以下の支出基準により、助成金（年度一律10万円）を交付している。助成金は、毎年度、所定申請書による手続きを経て、本協議会の運営予算より支出される。

令和4年度は、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、福井県、愛知県、和歌山県、鳥取県、宮崎県、鹿児島県の10県の公立武道館協議会に対し、助成金が交付された。

(7)第46回日本古武道演武大会について

第46回日本古武道演武大会〔主催：（公財）日本武道館・日本古武道協会、協賛：本協議会〕は全国から35流派・総勢219名の演武者が出場し、日本武道館で開催されたので報告する。

大会は、3年ぶりに観客を受け入れ、約1,500名を動員して10時30分に開会。吉川英夫日本武道館理事・事務局長・日本古武道協会常任理事の開会宣言に始まり、高村正彦日本武道館会長・日本古武道協会会長、臼井日出男日本武道館理事長・日本古武道協会理事長がそれぞれ主催者挨拶を述べた。

開会式終了後、古武道功労者表彰式が行われ、高村会長より植月求初實剣理方一流剣術第十七代宗家、木村恭子天道流薙刀術第十七代宗家に表彰状と古武道功労章が授与された。

演武は、小笠原流弓馬術で幕を開け、各流派が次々と気迫溢れる演武を披露した。途中、新型コロナウイルス感染対策として床面や畳面の消毒作業を行った。演武納めでは森重流砲術の祝砲が鳴り響き、場内に余韻が残る中、内田康介日本古武道協会理事・事務局長の閉会宣言で幕を閉じた。

なお、演武大会当日、本協議会加盟館から佐久間美里宮城県第二総合運動場副場長、加藤出福島県武道協議会会長（福島県営あづま総合体育館）、大山圭子横浜武道館館長、佐藤昭人三重県武道振興会常務理事兼事務局長（三重武道館）、岩井誠司愛媛県武道館企画管理課長の5名が来賓として出席した。

(8)「地方古武道大会」への開催助成金交付について（日本古武道協会）

日本古武道協会では、加盟流派が主催する地方古武道大会に対し、地方古武道大会開催助成金支出規程に基づき、大会を後援するとともに、助成金（一大会 10 万円）を日本古武道協会運営予算から支出している。令和 4 年度は、4 大会に対し、助成金が交付された

(9)地方青少年武道錬成大会 古武道模範演武の実施について

日本古武道協会は、参加者の青少年に武道の源流である古武道への理解を深めてもらうため、本協議会加盟武道館協力のもと、地方青少年武道錬成大会において古武道の模範演武を実施している。令和 4 年度は、山形県で小野派一刀流剣術、富山県で天然理心流剣術、宮崎県で天道流薙刀術の演武がそれぞれ実施された。

(10)第 39 回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会について

令和 5 年 8 月に実施する第 39 回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会（日本武道館主催、本協議会後援）への参加、出品を呼びかけた。

(11)会報第 45 号の発行について

本協議会の令和 3 年度活動内容をまとめた『会報』第 45 号を発行し、役員、加盟館、スポーツ庁、武道議員連盟、各都道府県・政令指定都市教育委員会、各都道府県武道連盟、地域社会武道指導者研修会・地方青少年武道錬成大会の中央講師及び武道関係諸団体等に約 900 冊を配布した。

(12)月刊「武道」誌上における活動報告・事業紹介について

令和 4 年度に月刊「武道」誌上に掲載した「全武協のひろば」の掲載内容を紹介した。

(13)月刊「武道」の配布について

月刊「武道」の見本誌及び書籍案内チラシを本協議会加盟館へ送付するので、地域社会武道指導者研修会及び地方青少年武道錬成大会の参加者並びに関係者へ配布をお願いしたい。

■議案

第 1 号議案 令和 4 年度事業報告承認の件

令和 4 年度事業報告として、①理事会の開催、②常任理事会の開催、③会報の発行、④月刊「武道」の配布、⑤各都道府県公立武道館協議会設置促進及び運営の協力、⑥日本武道館との共催・協賛・後援事業、⑦全国都道府県立武道館協議会設立 40 周年記念事業の計 7 件が承認された。

第 2 号議案 令和 4 年度収支決算承認の件

令和 4 年度収支決算書は、予算額 755 万円に対し、決算額 393 万 1,869 円となり、原案どおり承認された。

第 3 号議案 令和 5 年度事業計画書案議決の件

令和 5 年度事業計画として、①理事会の開催、②常任理事会の開催、③会報の発行、④月刊「武道」の配布、⑤各都道府県公立武道館協議会設置促進及び運営の協力、⑥日本武道館との共催・協賛・後援事業の計 6 件が承認された。

第 4 号議案 令和 5 年度収支予算書案議決の件

令和 5 年度収支予算書案は前年度予算額 755 万円より 145 万円減の 610 万円で、原案どおり承認された。

第 5 号議案 令和 5 年度主要事業の件

令和 5 年度主要事業として、①令和 6 年度理事会開催日程について、②令和 6 年度常任理事会開催日程について、③令和 6 年度地域社会武道指導者研修会及び地方青少年武道錬成大会開催希望調査の実施についての 3 件が承認された。

【全国都道府県立武道館協議会役員】

会 長：高村正彦（日本武道館）

理事長：臼井日出男（日本武道館）

常任理事：

江渡聡徳（日本武道館） 川端達夫（日本武道館）

森 英介（日本武道館） 吉川英夫（日本武道館）

高間 亨（北海道） 春藤英徳（青森）

山崎成夫（千葉） 木村正哉（新潟）

原 克彦（岐阜） 船田一彦（兵庫）

金津義彦（島根） 近澤顕義（高知）

佐保宏二（大分）

理 事：

高松秀一（岩手） 阿部 正（宮城）

鎌田秀逸（秋田） 逸見良昭（山形）

加藤 出（福島） 藤田昌人（茨城）

塩沢好和（栃木） 新井彰（埼玉）

中田謙司（埼玉・さいたま） 村上修史（東京）

鈴木 博（神奈川） 高橋創一（神奈川・川崎）

辻 昌彦（山梨） 島瀧兼人（富山）

堤 博昭（富山・高岡） 徳田伸一（石川）

小林正純（福井） 木内義雄（長野）

大石広和（静岡） 中西恒二（愛知）

佐藤昭人（三重） 西川莊吾（滋賀）

松井道宣（京都） 鏡山博行（大阪）

牧野 望（奈良） 阪口雅則（和歌山）

山中洋介（鳥取） 山本晋一郎（岡山）

野村満史（広島） 守田正史（山口）
平島一男（徳島） 大林達造（香川）
佐伯登志男（愛媛） 鶴 英樹（福岡）
小林信吾（佐賀） 松山度良（長崎）
河津修司（熊本） 本田潤一（宮崎）

山口良人（鹿児島） 渡慶次勝（沖縄）
監 事：
高田 勉（群馬） 大山圭子（神奈川・横浜）
（令和5年4月現在）

令和5年度常任理事会

日時 令和6年3月5日（火）午後2時より
場所 日本武道館大会議室

定刻、事務局が開会を宣し、規約に基づき川端達夫理事長が議長を行う旨を述べ、理事長に引き継いだ。

会議に先立ち、高村正彦会長が、「常日頃から各都道府県立武道館の運営を通して、武道の振興のためにご尽力いただいている皆さまに、心から感謝申し上げます。本日の常任理事会もよろしくお願いいたします」と挨拶を述べた。

議長は、挨拶のあと、本日の定足数を事務局に確認（14名中、出席者12名、委任状提出者2名、会議は成立）し、議事録署名人として、春藤（青森）・金津（鳥根）両常任理事を指名、出席者の同意が得られた。

次に、事務局より、以下の事項について報告がなされた。

■報告事項

(1)令和6年武道振興大会について

令和6年3月6日、衆議院第一議員会館1階多目的ホールにおいて、武道議員連盟・日本武道協議会・日本武道館の3者共催による武道振興大会を開催する。

(2)武道議員連盟・スポーツ庁・日本武道館 三者懇談会について

令和6年2月20日正午から、衆議院第二議員会館第2会議室において、武道議員連盟、スポーツ庁、日本武道館役員による三者懇談会を実施した。

(3)スポーツ庁幹部・日本武道協議会役員懇談会について

令和6年2月15日、日本武道協議会常任理事会の終了後、日本武道館大会議室において、スポーツ庁幹部と日本武道協議会役員による懇談会を実施した。

(4)本協議会加盟各ブロック活動報告について

全国9ブロック代表の常任理事から、令和5年

度の活動について報告がなされた。

○北海道ブロック

酒井隆常任理事（北海道立総合体育センター）



酒井常任理事より、配付資料に基づき、共催事業について報告があった。地域社会武道指導者研修会は、少林寺拳法と弓道の2種目を実施。少林寺拳法は札幌市（北海道立総合体育センター）

で参加者100名、弓道は北見市（北見市武道館）で参加者56名を得て実施した。地方青少年武道錬成大会は、空手道と銃剣道の2種目を実施。空手道は千歳市（千歳市スポーツセンター）で参加者149名、銃剣道は美瑛町（国立大雪青少年交流の家）で参加者8名を得て実施した。いずれも素晴らしい中央講師の派遣をいただき、参加者からも好評であった旨、説明した。

○東北ブロック

春藤英徳常任理事（青森県武道館）



春藤常任理事より、配付資料に基づき、共催事業及び自主事業について報告があった。地域社会武道指導者研修会・地方青少年武道錬成大会は、各県においてそれぞれ開催された。各県、自主事業に積極的に取り組んでおり、武道の振興に多大な成果を上げている。特に宮城県では、公立武道館協議会の共通事業として加盟館による10,000人寒稽古を実施し、約3,000人の参加者を得た。

課題として、宮城県では地方青少年武道錬成大会、地域社会武道指導者研修会の参加者減少が著しく、武道人口の減少が深刻である。また、岩手県、宮城県、山形県では施設の老朽化が進行している旨、説明した。

○関東ブロック

山崎成夫常任理事

(千葉県総合スポーツセンター武道館)



山崎常任理事より、配付資料に基づき共催事業及び自主事業について報告があった。関東ブロックは8都県11館で構成されている。さいたま市大宮武道館は1年間の改修工事を終えて令和5年

4月から供用を開始、千葉県総合スポーツセンターは半年間の改修工事を終えて同じく令和5年4月から供用を開始、神奈川県立武道館は現在も改修中で令和6年4月から供用開始予定である。茨城県武道館は令和5年4月から5年間のネーミングライツ契約により「東日本技術研究所武道館」となった。

共催事業について、地域社会武道指導者研修会は6種目16件、計946名が参加、地方青少年武道錬成大会は3種目6件、計489名が参加して実施された。地方青少年武道錬成大会については、件数、参加者数とも減少傾向にある。成果としては、知識や技術、実践的指導法の習得、また参加者相互の交流が上げられ、各県から継続の要望が寄せられている。課題としては、市町村の武道館等を利用する場合の会場確保について、種目が固定化する傾向がある。要望として、都市部の開催については派遣講師の宿泊料について上限の値上げを考えていただきたい。

各県の主催事業では、武道教室が7都県で実施され、延べ35,000人が参加した。初心者対象の体験型や多世代が合同で実施している傾向にある。武道祭（フェスティバル）は、5都県で実施され、延べ10,000人が参加した。

改修計画に関して、埼玉県立武道館が令和6年9月から令和7年7月まで全館改修予定である。さいたま市大宮武道館は、今年度は改修のため全館休止であった。なお、神奈川県立武道館は、弓道場の床暖房の設置、空調の改修がなされ、弓道教室の開催が夏季のみから通年開催になったと、説明した。

○北信越ブロック

木村正哉常任理事(謙信公武道館(新潟県立武道館))

木村常任理事より、配付資料に基づき、共催事業及び自主事業等について報告があった。新潟県は公立武道館協議会、県内武道協議会の設置がな



いため、現在準備を進めている。富山県では県営武道館新設が決定し、2027年に竣工の予定である。

共催事業について、地域社会武道指導者研修会は柔道、銃剣道、弓道、

合気道、少林寺拳法を実施し、参加者263名を得た。地方青少年武道錬成大会は少林寺拳法、なぎなた、柔道、剣道、銃剣道を実施し、参加者561名を得た。合計参加者数は824名となり、昨年に比べて倍増となった。共催事業に関する要望・意見として、富山県から、物価高騰等の影響もあり、宿泊費の上限や前日打ち合わせの単価等について見直しをお願いしたいという意見をいただいた。

自主事業について、5県すべての武道館で武道教室を実施しており、付随してスポーツイベントも開催している。新潟県では2月に行政と地元旅行会社の協力で武道ツーリズムを実施。ターゲットはスキー客として長期滞在している外国人で、柔道、空手道、なぎなたの体験会を開催し、各種目とも参加者5～6名を得た。来年度は日本の文化を紹介し、地域活性化を目指した事業を計画したいと考えている。

なお、石川県立武道館から、能登半島地震の影響により1週間臨時休館したが、現在は営業を再開していると報告があったと、説明した。

○東海ブロック

原 克彦常任理事(岐阜メモリアルセンター)



原常任理事より、配付資料に基づき、共催事業及び自主事業について報告があった。地方青少年武道錬成大会は2件で参加者67名を得て実施、地域社会武道指導者研修会は9件で参加者510名

を得て実施した。

共催事業について、毎年希望調査を行っているが、希望団体が多く調整に苦慮されている県もあれば、実施希望団体がいない県もある。共催事業は中央派遣講師から高いレベルの技術指導が受けられる場となっており、参加者から大変好評である。今後もこの共催事業を通じて、指導者や青少年の技術向上とともに武道の普及を図っていきたいと考えている。共催事業に関する要望・意見と

して、愛知県から会場使用料等を負担していただきたい、静岡県から準備があるためできるだけ早く経費を送金していただきたいとの要望があった。

主催事業について、各武道団体の協力のもと、東海ブロック全体で44件のスポーツ教室や各種大会が開催されている。新型コロナが五類に移行され、スポーツ界もコロナ前に戻ってきている。静岡県武道館では新たにジュニア部門の弓道教室を立ち上げ、学生への普及に取り組んでいる。三重武道館では、4名の外国人が武道教室に参加している。

なお、愛知県武道館では令和6年度から7年度にかけて施設の改修工事をするとの報告があったと、説明した。

○近畿ブロック

西茂樹常任理事（兵庫県立武道館）



西常任理事より、配付資料に基づき、共催事業及び自主事業について報告があった。共催事業について、地域社会武道指導者研修会は、大阪府、兵庫県、奈良県の3件で開催し、参加者277名を得た。昨年の7件開催、565名参加と比べて減少しているが、来年度は増加の予定である。地方青少年武道錬成大会は和歌山県で2件開催、参加者142名を得た。昨年の1件開催、32名参加と比べて増加している。いずれも派遣講師が素晴らしく、効率的で的確に指導していただけるため、参加者から好評を博しており、今後も継続をお願いしたい。

自主事業について、53件実施し、参加延べ人数21,045名であった。昨年に比べ事業数、参加延べ人数ともに増加している。新型コロナが五類に移行して以降、コロナ前の状況に徐々に戻ってきている。武道祭は兵庫県と和歌山県で開催している。多くの府県が武道の振興や健康の保持・増進を目的とした各種武道教室を数多く実施している。

要望・課題として、多くの施設に共通しているのが老朽化対策である。改修が進められている施設がある一方で、改修の目途が立っていない施設も見られ、運営に苦慮されている実態がある。最後にどの施設も利用者目線に立ち、安全・安心を最優先に館運営に取り組んでいると、説明した。

○中国ブロック

金津正彦（島根県立武道館）



金津常任理事より、配付資料に基づき、共催事業及び自主事業について報告があった。共催事業について、島根県6件、鳥取県6件、広島県3件、岡山県2件、山口県4件を開催している。久

しぶりに新型コロナによる影響が緩和され、共催事業が例年通り実施できたことを関係者一同喜んでおり、参加者数もコロナ前に戻ってきている。今後の取組みと課題について、岡山県より青少年普及振興だけではなく年長者の皆様にも体験できる教室を考えている、山口県より開園50周年記念事業として実施した武道体験教室で小学生から大人まで未経験の方々に武道への興味・関心を持たせることができたとの報告があったと、説明があった。

○四国ブロック

松田由紀常任理事（高知県立武道館）



松田常任理事より、配付資料に基づき、共催事業及び自主事業について報告があった。徳島県は地域社会武道指導者研修会で空手道と弓道を実施した。主催事業では徳島県立中央武道館で高齢剣

道教室とリスタート弓道教室を、むつみパーク蔵本相撲場で相撲教室を実施し、沢山の方に参加いただいた。香川県は地方青少年武道錬成大会で弓道を実施した。主催事業として、柔道、剣道、空手道、合気道、弓道、なぎなたの武道教室を実施し、参加者1,699名を得た。愛媛県は地方青少年武道錬成大会で銃剣道と柔道、地域社会武道指導者研修会で銃剣道、合気道、弓道を実施した。主催事業として、鏡開き式（参加者1,600名）、武道体験フェスタ（参加者500名）、親子武道体験教室（10種目）、一般向け武道体験教室（3種目）を実施した。高知県は地域社会武道指導者研修会で弓道を実施した。主催事業として、夏休み小学生武道入門教室（4種目）を4日間開催した他、太極拳の無料体験教室を実施した。弓道場では有料の弓道教室、弓道無料体験教室（3回）、小学生を対象とした夏休み弓道無料体験教室を実施し

た。また、新たに柔道フェスタを開催し井上康生さんにお越しいただき、小・中・高校生を指導いただいた。柔道教室の参加人数が減っていることもあり、今年初めて柔道フェスを実施したと、説明があった。

(5)令和5年度中学校武道必修化関連事業について

令和5年度は、地域社会武道指導者研修会の5カ所（3県）にて、中学校武道必修化に特化した内容で実施した。

その他、中学校武道授業指導法研究事業、全国武道指導者研修会が実施された。

(6)「都道府県武道協議会」への運営及び武道祭開催助成金交付について（日本武道協議会）

日本武道協議会は、全国の各都道府県武道協議会に対し、武道の普及振興をより徹底、推進するため、平成22年度より「都道府県武道協議会運営助成金支出規程」を定め、基準を満たした武道協議会に対し助成金を支出している。令和5年度は、秋田県、山形県、福島県、群馬県、埼玉県、東京都、富山県、滋賀県、山口県、愛媛県、大分県、沖縄県の12都県の武道協議会に対し、助成金を交付した。

また、令和元年度より支出規程が改定され、都道府県武道協議会が主催し、構成団体が出場する武道祭に対して助成金を支出している。令和5年度は、埼玉県、富山県、群馬県、山口県、大分県、秋田県、山形県、滋賀県、東京都の9都県にて開催された武道祭に対し、助成金を交付した。

(7)「都道府県公立武道館協議会」への運営助成金交付について（本協議会）

本協議会規約第4条第5項「公立武道館協議会設置促進及び運営助成金の交付」により「都道府県公立武道館協議会運営助成金支出規程」を定め、各加盟館を中心とした「都道府県公立武道館協議会」に対し、地方における武道の普及振興をより一層推進するため、助成金を交付している。令和5年度は、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、和歌山県、鳥取県、宮城県、鹿児島県の8県の各県公立武道館協議会に対して助成金を交付した。

(8)第47回日本古武道演武大会について

第47回日本古武道演武大会〔主催：（公財）日本武道館・日本古武道協会、協賛：本協議会〕は全国から35流派・総勢212名の演武者が出場し、日本武道館で観客を受け入れ、約1,700名の観客を得て開催された。

大会は、片岡正徳日本武道館事務次長の開会宣言に始まり、高村正彦日本武道館会長・日本古武

道協会会長、川端達夫日本武道館理事長・日本古武道協会理事長がそれぞれ主催者挨拶を述べた。

開会式終了後、古武道功労者表彰式が行われ、高村会長より長沼悟詮溝口派一刀流剣術代表、増本孝和円心流居合据物斬剣法五世宗家に表彰状と古武道功労章が授与された。

演武は、小笠原流弓馬術で幕を開け、各流派が次々と気迫あふれる演武を披露した。演武納めでは森重流砲術の祝砲が鳴り響き、閉会宣言は内田康介日本古武道協会理事・事務局長が述べて、大会は成功裡に終了した。

なお、演武大会当日、本協議会加盟館から久保木義明福島県武道協議会会長（福島県営あづま総合体育館）、大山圭子横浜武道館館長、佐藤昭人三重県武道振興会常任理事兼事務局長（三重武道館）、佐伯登志男愛媛県武道館館長、徳嶺亜矢乃沖縄県立武道館総務課長、瑞慶覧清香の6名が来賓として出席した。

演武大会の様子は、動画サイトYouTube「【公式】公益財団法人日本武道館」チャンネルにおいてアーカイブ動画を配信し、広く古武道の魅力を伝えた。

(9)「地方古武道大会」への開催助成金交付について（日本古武道協会）

日本古武道協会は、令和元年度より、加盟流派が主催する地方古武道大会に対し、大会を後援するとともに、「地方古武道大会開催助成金支出規程」に基づき助成金を支出している。令和5年度は、7箇所の古武道大会に対して、助成金を交付した。

(10)地方青少年武道錬成大会・地域社会武道指導者研修会古武道模範演武の実施について

令和5年度地方青少年武道錬成大会ならびに地域社会武道指導者研修会において、参加した青少年、武道指導者に武道の源流である古武道への理解を深めてもらうため、プログラムに模範演武披露や流派の解説・技の体験などを組み入れ、3カ所で開催したので報告する。

(11)会報第46号の発行について

本協議会の令和4年度の活動内容をまとめた会報第46号を発行し、役員、加盟館、スポーツ庁、武道議員連盟、各都道府県・政令指定都市教育委員会、各都道府県武道連盟、地域社会武道指導者研修会・地方青少年武道錬成大会の中央講師及び武道関係諸団体等に、合計約900冊を配布した。

(12)月刊「武道」誌上における活動報告・事業紹介について

令和5年度に月刊「武道」誌上に掲載した「全武協のひろば」の掲載内容を紹介した。

■議案

第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算見込の件

令和5年度事業報告として、①理事会の開催、②常任理事会の開催（本会）、③会報の発行、④月刊「武道」の配付、⑤各都道府県公立武道館協議会設置促進及び運営の協力、⑥日本武道館との共催・協賛・後援事業の計6件と、令和5年度収支決算案が承認された。

第2号議案 令和6年度事業計画書案及び収支予算書案の件

令和5年度事業計画として、①理事会の開催、②事務担当者会議の開催、③常任理事会の開催、④会報の作成、⑤月刊「武道」の配付、⑥各都道府県公立武道館協議会設置促進及び運営の協力、⑦日本武道館との共催・協賛・後援事業の計7件と、令和6年度収支予算書案が審議・承認された。

【全国都道府県立武道館協議会役員】

会 長：高村正彦（日本武道館）

理事長：川端達夫（日本武道館）

常任理事：

江渡聡徳（日本武道館） 森 英介（日本武道館）

吉川英夫（日本武道館）

酒井 隆（北海道） 春藤英徳（青森）

山崎成夫（千葉） 木村正哉（新潟）

原 克彦（岐阜） 西 茂樹（兵庫）

金津義彦（島根） 松田由紀（高知）

佐保宏二（大分）

（令和6年3月現在）

2 活 動 報 告

協賛・後援事業等報告



第 47 回日本古武道演武大会 開会式

■協賛事業

第 47 回日本古武道演武大会

日程 令和 6 年 2 月 4 日（日）

場所 日本武道館

主催 日本武道館、日本古武道協会

後援 スポーツ庁、日本放送協会、読売新聞社

協賛 日本武道協議会、全国都道府県立武道館協議会

第 47 回日本古武道演武大会は、2 月 4 日に日本武道館にて、全国から協会加盟 35 流派・総勢 212 名の演武者が参加し、約 1,500 名を超える観衆が熱心に見守る中、開催された。

令和 5 年度古武道功労者表彰では、溝口派一刀流剣術代表の長沼悟詮氏、円心流居合据物斬剣法五世宗家の増本孝和氏が表彰された。また、演武大会の様子を YouTube（ユーチューブ）のアーカイブ動画として配信した。

〔出場流派〕※演武順

- ①小笠原流弓馬術
- ②溝口派一刀流剣術
- ③澁川一流柔術
- ④兵法二天一剣術
- ⑤竹生島流棒術
- ⑥野太刀自顕流剣術
- ⑦沖繩剛柔流武術
- ⑧天真正伝香取神道流剣術

- ⑨佐分利流槍術
- ⑩関口新心流柔術
- ⑪心形刀流剣術
- ⑫肥後古流長刀
- ⑬鞍馬流剣術
- ⑭竹内流柔術 腰廻小具足
- ⑮初實剣理方一流甲冑拔刀術
- ⑯示現流兵法剣術
- ⑰諸賞流和
- ⑱根岸流手裏剣術
- ⑲円心流居合据物斬剣法
- ⑳楊心流薙刀術
- ㉑柳生新陰流兵法剣術
- ㉒伯耆居合術
- ㉓気楽流柔術
- ㉔柳生心眼流甲冑兵法
- ㉕本體楊心流柔術
- ㉖琉球王家秘伝本部御殿手
- ㉗無比無敵流杖術
- ㉘北辰一刀流剣術
- ㉙天神真楊流柔術
- ㉚荒木流拳法
- ㉛風傳流槍術
- ㉜大東流合気柔術
- ㉝田宮流居合術
- ㉞天然理心流剣術
- ㉟森重流砲術

■後援事業

第39回高円宮杯日本武道館書写書道大展覽会

日程 令和5年8月26日(土)
場所 日本武道館大道場
主催 日本武道館
後援 文部科学省、中国大使館、全国都道府県立武道館協議会ほか
※本協議会後援内容…名義使用、賞状・賞品の授与
出品点数 22,194点(毛筆の部14,765点、硬筆の部7,429点)

〔全国都道府県立武道館協議会賞受賞者〕

◇毛筆の部

森本季依奈(三重・四日市市立常磐西小学校4年)
大久保美咲(東京・青梅市立霞台中学校2年)
吉田 真依(岡山・明誠学院高等学校1年)
田島 桜花(東京・大東文化大学第一高等学校3年)

◇硬筆の部

徳富いち佳(東京・八王子市立城山小学校4年)
天野 奈々(山梨・笛吹市立御坂中学校1年)

第60回全日本書初め大展覽会

日程・場所
席書大会…令和6年1月5日(金)
日本武道館大道場
展覽会……令和6年2月25日(日)
日本武道館中道場
授賞式……令和6年2月25日(日)
日本武道館大道場
主催 日本武道館
後援 文部科学省、中国大使館、東京都、全国都道府県立武道館協議会ほか
※本協議会後援内容…名義使用、賞状・賞品の授与
出品点数 14,484点(席書の部3,271点、公募の部11,213点)

〔全国都道府県立武道館協議会賞受賞者〕

◇席書の部

加賀 夏樹(東京・杉並区立馬橋小学校3年)
丹内 心結(千葉・白子町立南白亀小学校5年)
生出 遥香(福島・南会津町立田島中学校2年)
瀬野尾実希(東京・大東文化大学第一高等学校2年)

◇公募の部

葛西 龍(青森・黒石市立黒石小学校6年)
山田梨々華(東京・豊島岡女子学園中学校1年)
滝澤 慶暉(東京・大東文化大学第一高等学校1年)
布目 華穂(埼玉・大東文化大学1年)



第60回全日本書初め大展覽会

令和6年宮城県公立武道館協議会

10,000人寒げい古

日程 令和6年1月1日(月)～31日(水)
場所 宮城県公立武道館協議会加盟館
主催 宮城県公立武道館協議会、開催市町村教育委員会ほか
後援 日本武道館、全国都道府県立武道館協議会、宮城県武道協議会
会場 宮城県公立武道館協議会加盟館17館
〔参加人数〕
全会場・全種目合計 延べ1,936人

■その他

月刊「武道」誌上での活動報告

日本武道館が発行する月刊「武道」のコーナー「全国都道府県立武道館協議会のひろば」において、本協議会の活動報告や加盟館の紹介を行った。

〔令和5年度掲載内容〕

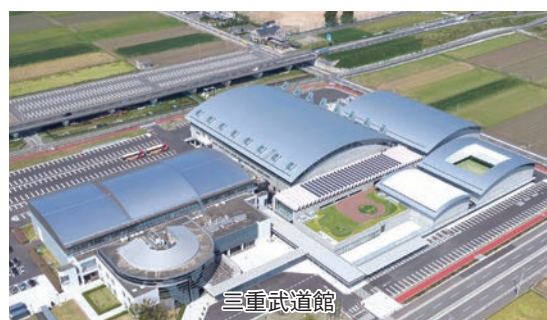
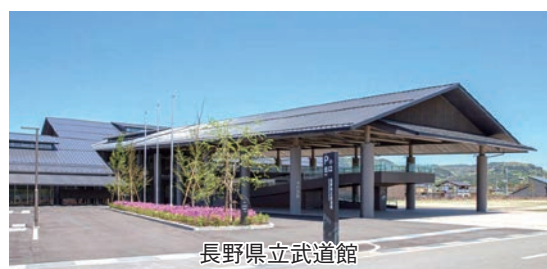
令和5年
4月号 令和4年度常任理事会
5月号 令和4年度共催事業 実施報告
6月号 令和5年度理事会
7月号 兵庫県立武道館
8月号 大阪市立修道館
9月号 長野県立武道館
10月号 三重武道館
11月号 奈良県立橿原公苑
12月号 和歌山県立武道館

令和6年

1月号 年頭挨拶 理事長 川端達夫

2月号 鳥取県立武道館

3月号 岡山県武道館



トピックス

令和6年武道振興大会

定刻、丹羽秀樹武道議員連盟・事務局長が開会を宣し、はじめに主催三団体を代表して江渡聡徳武道議員連盟会長と高村正彦日本武道協議会・日本武道館会長が挨拶を述べた。次に、高木陽介武道議員連盟副会長・理事長が決議を読み上げ、盛山正仁文部科学大臣へ決議文を手渡した。盛山大臣の祝辞の後、岸田文雄内閣総理大臣の祝辞を、司会の吉川英夫日本武道館常任理事・事務局長が代読した。その後、各武道団体代表者が挨拶を述べ、最後に高村正大武道議員連盟事務局次長が閉会を宣し、大会は盛会裡に終了した。

決議

我が国は、明治維新以来、驚異的な勢いで国力を増し、世界有数の経済大国となった。しかし、今は国際情勢が厳しさを増し、価値観の多様化も相俟って、行動規範や善悪の基準が揺らぎ、明るい国家、社会の将来を見通すことは難しくなっている。

このような中において、武技による心身の鍛錬を通じて人格を磨き、識見を高め、有為の人物を育成することを目的とする武道は、旺盛な活力と清新な気風の源泉として日本人の人格形成に少なからざる役割を果たしてきた。

我が国伝統の武道の普及奨励は、精神を高揚し、質実剛健の気風を育成するばかりでなく、国家・社会の発展に寄与し、広く世界の平和と福祉に貢献する人物を生み出すために必要不可欠である。これは、教育基本法に示される「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する」とともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う」という目的とも合致する。

よって、我々は武道のさらなる振興発展が図られるよう、ここに左記事項の早期実現を強く要望する。

記

- 一 必修化された中学校武道授業に関し、学習指導要領に並列明記された武道全九種目が幅広く実施されるよう、外部指導者を活用した複数種目実施のモデル事業を全国各ブロックで継続して行うこと。そのために必要な措置を講ずること。
- 二 中学校武道授業が充実、成功するよう、施設、用具、指導者の条件整備をより一層推進すること。特に、指導者については、教員養成大学で武道を必修化し、中学校教員採用試験に武道を試験科目として位置付けるとともに、武道有段者の学生を積極採用するよう各都道府県教育委員会に働きかけを行うこと。さらに、充実した授業が実施できるような優れた外部指導者を各中学校に配置し、処遇改善を図って、指導に万全を期すること。また、全国一万余校の中学校体育教員を対象とした武道指導者講習会を、関係武道団体の協力を得て、実施すること。授業に当たっては、時間数を増やし、複数種目の実施校拡大を図り、武道ならではの教育効果が高まる「一礼」を重視した指導を徹底すること。これに関わる武道九種目の指導者研修会や指導法研究、指導書作成等、関係団体の諸活動に必要な支援、助成を行うこと。
- 三 将来の小学校における武道授業の実施へ向け、実践校における実践研究をより積極的に展開し、発達段階に応じた武道九種目の指導法研究を行い、準備を推進すること。
- 四 武道の国際的普及振興のため、国内外における武道の国際大会や国際交流事業をより一層推進するとともに、海外日本人学校における武道授業の内容充実に向け、必要な支援、助成を行うこと。
- 五 全国的な武道の普及振興をより確かなものとするため、全国都道府県立武道館協議会の活動に対する支援と、各都道府県武道協議会の設置促進に必要な支援を行うこと。
- 六 武道の源流である一千数百年の歴史を有する古武道の保存・継承を図るため、伝統流派の活動の成果を認め、文化財保護法に、我が国が世界に誇る「古武道」の名称を明記し、全国各地の古武道の文化財指定が推進されるよう所要の措置を講ずるとともに、文化庁長官表彰の授与など必要な支援、助成を行うこと。
- 七 武道場の整備については、武道授業を含め、国の補助制度を拡充するとともに、必要な支援、助成を図ること。全国の武道館及び町道場については、維持存続のため、修繕・新築に関する助成金の支出、賃料・地代の援助、相続税・固定資産税の減免措置を講ずること。

以上、武道議員連盟・日本武道協議会・日本武道館三者によって共催する武道振興大会の名において決議する。

令和六年三月六日

3 地域社会武道指導者研修会・ 地方青少年武道錬成大会

令和5年度地域社会武道指導者研修会 開催一覧

※講師名は順不同

No.	開催地	会場	種目	期間	参加人数	派遣講師		
1	※山口県（山口市）	維新百年記念公園維新大見アリーナ武道館	柔道	令和5年5/17(水)～5/18(木)	15	木村昌彦	田中裕之	
2	※山口県（山口市）	維新百年記念公園維新大見アリーナ武道館	剣道	5/17(水)～5/18(木)	18	水田重則	小山正洋	
3	鳥根県（松江市）	鳥根県立武道館	相撲	5/20(土)～5/21(日)	27	浦嶋三郎	村上英昭	
4	愛媛県（松山市）	愛媛県武道館	銃剣道	5/25(木)～5/26(金)	79	佐藤亨	衛藤敬輔	
5	福岡県（福岡市）	博多の森弓道場	弓道	6/10(土)～6/11(日)	60	土佐正明	田中邦子	
6	宮城県（仙台市）	宮城県第二総合運動場	合気道	6/17(土)～6/18(日)	109	森智洋	梅津翔	
7	岩手県（盛岡市）	岩手県営武道館	少林寺拳法	7/1(土)～7/2(日)	32	井戸家正旺	谷聡士	
8	※静岡県（藤枝市）	静岡県武道館	なぎなた	7/1(土)～7/2(日)	36	与語 美恵	松井亮子	
9	大分県（玖珠郡）	九重文化センター	少林寺拳法	9/16(土)～9/17(日)	39	井上弘	渡辺待男	
10	茨城県（水戸市）	茨城県武道館	少林寺拳法	7/8(土)～7/9(日)	70	中島正樹	岩城潤也	
11	三重県（津市）	三重武道館	合気道	7/29(土)～7/30(日)	68	菅原繁	有馬隼人	
12	岩手県（盛岡市）	岩手県営武道館	弓道	8/26(土)～8/27(日)	30	飯島千代子	福地平	
13	青森県（弘前市）	青森県武道館	空手道	9/2(土)～9/3(日)	37	高橋和夫	桑本知幸	
14	秋田県（秋田市）	秋田県立武道館	少林寺拳法	9/9(土)～9/10(日)	29	秋吉好美	大内信弥	
15	千葉県（千葉市）	千葉県総合スポーツセンター武道館	合気道	9/9(土)～9/10(日)	173	関昭二	深浦徹也	
16	長野県（飯田市）	長野県飯田運動公園弓道場	弓道	9/16(土)～9/17(日)	32	近藤峯英	福地平	
17	秋田県（秋田市）	秋田県立武道館	合気道	9/23(土)～9/24(日)	41	入江嘉信	里館潤	
18	福島県（郡山市）	郡山市開成山弓道場	弓道	9/23(土)～9/24(日)	37	土佐正明	浅野有三	
19	※静岡県（藤枝市）	静岡県武道館	少林寺拳法	9/23(土)～9/24(日)	90	高坂正治	谷聡士	
20	奈良県（橿原市）	奈良県立橿原公苑	少林寺拳法	9/23(土)～9/24(日)	105	梅野清嗣	井上弘	川添 浩史
21	鳥取県（鳥取市）	鳥取市武道館	柔道	9/23(土)～9/24(日)	43	鎌塚智樹	森英也	
22	宮城県（仙台市）	宮城県第二総合運動場	少林寺拳法	9/30(土)～10/1(日)	46	志村力	村田素彦	
23	岐阜県（岐阜市）	岐阜メモリアルセンター	弓道	9/30(土)～10/1(日)	66	増渕敦人	白井修一	
24	鳥根県（松江市）	鳥根県立武道館	弓道	9/30(土)～10/1(日)	23	近藤峯英	野中秀治	
25	岡山県（玉野市）	玉野市営弓道場	弓道	9/23(土)～9/24(日)	27	及川好布	田中邦子	
26	広島県（広島市）	広島県立総合体育館	合気道	9/30(土)～10/1(日)	115	藤巻宏	深浦徹也	
27	広島県（広島市）	広島県立総合体育館	少林寺拳法	9/30(土)～10/1(日)	46	林正義	益永亮	
28	徳島県（徳島市）	徳島県立中央武道館	弓道	令和6年1/20(土)～1/21(日)	35	正法地清	齋藤往子	
29	宮城県（仙台市）	宮城県第二総合運動場	弓道	10/7(土)～10/8(日)	28	飯島千代子	福地平	
30	群馬県（前橋市）	群馬県総合スポーツセンターALSOKぐんま武道館	弓道	10/7(土)～10/8(日)	38	土佐正明	小田俊文	
31	※福島県（福島市）	福島県トラック協会レクリエーション施設	少林寺拳法	10/14(土)～10/15(日)	22	小井寿史	安田智幸	
32	群馬県（渋川市）	渋川市武道館	少林寺拳法	10/14(土)～10/15(日)	48	土佐久	夏川伸也	
33	山梨県（甲府市）	山梨県小瀬スポーツ公園武道館	少林寺拳法	10/14(土)～10/15(日)	68	伊東茂治	中森清徳	
34	石川県（金沢市）	石川県立武道館	弓道	10/7(土)～10/8(日)	39	近藤峯英	齋藤往子	
35	愛知県（名古屋市）	愛知県武道館	弓道	10/14(土)～10/15(日)	32	正法地清	野中秀治	
36	山口県（山口市）	維新百年記念公園維新大見アリーナ武道館	空手道	10/14(土)～10/15(日)	19	原口高司	佐藤重徳	
37	熊本県（熊本市）	熊本武道館	合気道	10/14(土)～10/15(日)	63	桂田英路	桑原将太	
38	沖縄県（那覇市）	沖縄県立武道館	剣道	10/14(土)～10/15(日)	30	吉田泰将	山口明生	
39	富山県（富山市）	県営富山武道館	合気道	10/14(土)～10/15(日)	62	入江嘉信	藤田すみれ	
40	静岡県（藤枝市）	静岡県武道館	弓道	10/21(土)～10/22(日)	42	及川好布	西田郁子	
41	愛媛県（松山市）	愛媛県武道館	合気道	10/21(土)～10/22(日)	155	栗林孝典	中村仁美	
42	長崎県（佐世保市）	長崎県立武道館	少林寺拳法	10/28(土)～10/29(日)	51	鈴鹿成正	勝田真也	
43	宮崎県（都城市）	都城市早水公園体育文化センター	弓道	10/21(土)～10/22(日)	48	増渕敦人	田中邦子	
44	沖縄県（那覇市）	沖縄県立武道館	少林寺拳法	10/21(土)～10/22(日)	14	藤井省吾	渡部晶彦	
45	宮城県（仙台市）	宮城県第二総合運動場	なぎなた	10/28(土)～10/29(日)	19	谷本 良子	高橋 登子	

No.	開催地	会場	種目	期間	参加人数	派遣講師		
46	栃木県（宇都宮市）	栃木県総合運動公園武道館 (ユウケイ武道館)	少林寺拳法	10/28(土)～10/29(日)	31	湯浅裕二	志村力	
47	長野県（佐久市）	長野県立武道館	少林寺拳法	10/28(土)～10/29(日)	34	荒井章士	森川弘仁	
48	三重県（津市）	三重武道館	弓道	10/28(土)～10/29(日)	38	土佐正明	野中秀治	
49	大阪府（大阪市）	大阪城弓道場	弓道	10/28(土)～10/29(日)	23	飯島千代子	小田俊文	
50	福井県（福井市）	福井県立武道館	柔道	11/4(土)～11/5(日)	57	向井幹博	金子将也	
51	広島県（広島市）	広島県立総合体育館	弓道	11/4(土)～11/5(日)	65	飯島千代子	白井修一	
52	鹿児島県（鹿児島市）	西原商会アリーナ弓道場	弓道	11/4(土)～11/5(日)	59	近藤峯英	安倍智	
53	宮城県（仙台市）	宮城県第二総合運動場	剣道	11/11(土)～11/12(日)	53	石田利也	土屋勝	
54	愛知県（名古屋市）	愛知県武道館	少林寺拳法	11/11(土)～11/12(日)	74	川島一浩	永安正樹	
55	兵庫県（姫路市）	兵庫県立武道館	少林寺拳法	11/11(土)～11/12(日)	38	宇都宮俊二	渡部晶彦	
56	埼玉県（上尾市）	埼玉県立武道館	空手道	11/18(土)～11/19(日)	31	西井美夏	井上良江	
57	埼玉県（上尾市）	埼玉県立武道館	少林寺拳法	11/18(土)～11/19(日)	67	松本好史	飯野貴嗣	
58	埼玉県（さいたま市）	さいたま市大宮武道館	弓道	11/18(土)～11/19(日)	27	及川好布	白井修一	
59	埼玉県（さいたま市）	さいたま市大宮武道館	合気道	11/18(土)～11/19(日)	89	横田愛明	中村仁美	
60	鳥取県（鳥取市）	鳥取市弓道場	弓道	11/18(土)～11/19(日)	34	増渕敦人	澁谷佳史	
61	大分県（大分市）	大洲運動公園大分弓道場	弓道	11/18(土)～11/19(日)	33	正法地清	田中邦子	
62	北海道（札幌市）	北海道立総合体育センター	少林寺拳法	11/25(土)～11/26(日)	100	井戸家正旺	村瀬晃啓	
63	栃木県（宇都宮市）	栃木県総合運動公園武道館 (ユウケイ武道館)	弓道	11/25(土)～11/26(日)	33	土佐正明	福地平	
64	新潟県（上越市）	謙信公武道館（新潟県立武道館）	少林寺拳法	11/25(土)～11/26(日)	37	荒井章士	谷聡士	
65	福井県（福井市）	福井県立武道館	銃剣道	11/25(土)～11/26(日)	14	小川功	相野照昭	
66	鳥取県（米子市）	鳥取県立武道館	剣道	11/25(土)～11/26(日)	76	山崎尚	宮戸伸之	
67	鳥取県（米子市）	鳥取県立武道館	銃剣道	11/25(土)～11/26(日)	22	浦部聖二	好中大哲	
68	愛媛県（松山市）	愛媛県総合運動公園	弓道	11/25(土)～11/26(日)	31	飯島千代子	野中秀治	
69	栃木県（宇都宮市）	栃木県総合運動公園武道館 (ユウケイ武道館)	合気道	12/2(土)～12/3(日)	42	金澤威	里館潤	
70	鳥根県（松江市）	鳥根県立武道館	柔道	12/2(土)～12/3(日)	41	竹澤稔裕	小野綾子	
71	山口県（山口市）	維新百年記念公園維新大見 アリーナ武道館	弓道	12/2(土)～12/3(日)	42	近藤峯英	澁谷佳史	
72	千葉県（千葉市）	千葉県総合スポーツセンター 武道館	なぎなた	12/9(土)～12/10(日)	49	鈴木 亘	廣岡奈緒美	
73	高知県（高知市）	高知県立弓道場	弓道	12/9(土)～12/10(日)	18	正法地清	澁谷佳史	
74	福島県（福島市）	福島市南体育館	銃剣道	12/26(火)～12/27(水)	70	衛藤敬輔	加藤久幸	
75	徳島県（徳島市）	徳島県立中央武道館	空手道	令和6年1/7(日)～1/8(月)	35	小松幸司	重久千明	
76	福岡県（福岡市）	福岡県立スポーツ科学情報 センター	少林寺拳法	1/20(土)～1/21(日)	150	川島 一浩	福家健司	夏川伸也
77	北海道（北見市）	北見市武道館	弓道	1/27(土)～1/28(日)	56	及川好布	齋藤往子	
78	愛知県（名古屋市）	愛知県武道館	空手道	1/27(土)～1/28(日)	62	樋川光司	斎藤一雄	
79	茨城県（水戸市）	茨城県武道館	剣道	2/3(土)～2/4(日)	53	山崎尚	関川忠誠	
80	静岡県（藤枝市）	静岡県武道館	合気道	2/10(土)～2/11(日)	82	森智洋	中村仁美	
81	愛知県（名古屋市）	愛知県武道館	合気道	2/10(土)～2/11(日)	149	大澤勇人	梅津翔	
82	群馬県（前橋市）	群馬県総合スポーツセンター ALSOK ぐんま武道館	なぎなた	2/17(土)～2/18(日)	15	芦川寿美	紫関譲子	
83	兵庫県（姫路市）	兵庫県立武道館	合気道	2/17(土)～2/18(日)	87	難波弘之	藤田すみれ	
84	大分県（大分市）	レゾナック武道スポーツセン ター	空手道	2/17(土)～2/18(日)	128	渡邊純一	岡部茂弘	
85	秋田県（秋田市）	秋田県立武道館	弓道	2/24(土)～2/25(日)	37	土佐正明	福地平	
86	岡山県（岡山市）	岡山武道館	柔道	2/24(土)～2/25(日)	84	鎌塚智樹	森英也	
87	東京都（足立区）	東京武道館	合気道	3/2(土)～3/3(日)	56	櫻井寛幸	深浦徹也	
					合計	4,628		

※中学校武道必修化対応

※¹ 5カ所（3県）にて、中学校武道必修化特化型研修会を実施。

令和5年度地方青少年武道錬成大会 開催一覧

※講師名は順不同

No.	開催地	会場	種目	期間	参加人数	派遣講師		
1	群馬県（前橋市）	群馬県総合スポーツセンター ALSOK ぐんま武道館	なぎなた	令和5年5/3(水)～5/4(木)	20	芦川寿美	安井みどり	
2	長崎県（諫早市）	諫早市中央体育館	銃剣道	5/5(金)～5/7(日)	22	松本栄一郎	渋谷一幸	
3	沖縄県（那覇市）	沖縄県立武道館	柔道	5/13(土)～5/14(日)	171	向井幹博	江種辰明	磯崎佑子
4	鳥取県（鳥取市）	鳥取城北高校相撲場	相撲	6/16(金)～6/18(日)	29	對馬英人	平野照二	
5	岩手県（盛岡市）	岩手県営武道館	なぎなた	6/17(土)～6/18(日)	58	徳地昌代	関祐介	
6	和歌山県（和歌山市）	和歌山県立武道館	合気道	6/17(土)～6/18(日)	121	植芝充央	桑原将太	藤田すみれ
7	鹿児島県（薩摩川内市）	サンアリーナせんだい武道場	剣道	6/17(土)～6/18(日)	74	大城戸功	寺地種寿	
8	青森県（弘前市）	青森県武道館	銃剣道	7/1(土)～7/2(日)	36	佐藤亨	大野裕美	
9	富山県（富山市）	富山県総合体育センター	銃剣道	7/1(土)～7/2(日)	18	松田千真男	北村義宏	
10	長野県（佐久市）	長野県立武道館	なぎなた	7/1(土)～7/2(日)	10	増田桂子	嶋田信子	
11	青森県（弘前市）	青森県武道館	なぎなた	7/8(土)～7/9(日)	42	大野京子	濱岡紀久子	
12	宮城県（仙台市）	宮城県第二総合運動場	なぎなた	7/8(土)～7/9(日)	28	徳地昌代	横山良子	
13	岩手県（花巻市）	武徳殿	弓道	7/15(土)～7/17(月)	83	齋藤往子	福地平	
14	福島県（会津若松市）	河東総合体育館	なぎなた	7/15(土)～7/16(日)	97	吉井美恵子	安井みどり	
15	鳥取県（米子市）	鳥取県立武道館	銃剣道	7/15(土)～7/17(月)	19	井澤継男	松本栄一郎	
16	愛媛県（松山市）	愛媛県武道館	銃剣道	7/15(土)～7/17(月)	24	佐藤亨	加藤久幸	
17	石川県（金沢市）	石川県立武道館	柔道	7/24(月)～7/26(水)	157	鎌塚智樹	菅太誠	佐藤正大
18	石川県（金沢市）	石川県立武道館	剣道	7/24(月)～7/26(水)	98	笠村浩二	井上孝	
19	鳥根県（松江市）	鳥根県立武道館	弓道	7/28(金)～7/30(日)	26	澁谷佳史	小田俊文	
20	愛媛県（松山市）	愛媛県武道館	柔道	7/28(金)～7/30(日)	132	向井幹博	中井貴裕	渡邊一貴
21	東京都（足立区）	東京武道館	なぎなた	7/31(月)～8/1(火)	105	成田登代子	濱岡紀久子	
22	石川県（金沢市）	石川県立武道館	なぎなた	7/31(月)～8/2(水)	21	吉井美恵子	芦川寿美	
23	山口県（山口市）	維新百年記念公園維新大見 アリーナ武道館	柔道	8/8(火)～8/10(木)	中止			
24	山口県（山口市）	維新百年記念公園維新大見 アリーナ武道館	剣道	8/8(火)～8/10(木)	中止			
25	山口県（山口市）	維新百年記念公園維新大見 アリーナ武道館	弓道	8/8(火)～8/10(木)	中止			
26	香川県（高松市）	香川県立武道館	弓道	8/11(金)～8/13(日)	31	安倍智	野中秀治	
27	山形県（山形市）	山形市総合スポーツセンター	柔道	8/12(土)～8/13(日)	225	手塚勝彦	園田悠二	曾我部晋哉
28	岐阜県（岐阜市）	岐阜メモリアルセンター	銃剣道	8/19(土)～8/20(日)	17	矢野満	山口輝	
29	北海道（千歳市）	千歳市スポーツセンター	空手道	8/19(土)～8/20(日)	149	崎山幸一	染谷香予	本龍二
30	青森県（弘前市）	青森県武道館	弓道	8/19(土)～8/20(日)	66	浅野有三	齋藤往子	
31	宮崎県（宮崎市）	ひなた武道館（宮崎県武道館）	少林寺拳法	8/26(土)～8/27(日)	107	永安正樹	伊藤修平	本間慎太郎
32	岡山県（岡山市）	岡山武道館	剣道	9/2(土)～9/3(日)	中止			
33	沖縄県（那覇市）	沖縄県立武道館	剣道	9/9(土)～9/10(日)	236	下島貴代一	浦和人	田中宏明
34	茨城県（水戸市）	茨城県武道館	柔道	9/16(土)～9/17(日)	126	有川勇貴	中井貴裕	手島桂子
35	鳥根県（松江市）	鳥根県立武道館	剣道	9/16(土)～9/17(日)	31	横尾英治	吉田博光	
36	富山県（富山市）	県営富山武道館	剣道	9/23(土)～9/24(日)	80	栗田和市郎	阿部昭彦	

No.	開催地	会場	種目	期間		参加人数	派遣講師		
37	山梨県（甲府市）	山梨県小瀬スポーツ公園 武道館	弓道	9/30(土)～10/1(日)		96	西田郁子	小田俊文	齋藤往子
38	秋田県（秋田市）	秋田県立武道館	剣道	10/14(土)～10/15(日)		179	佐藤勝信	関川忠誠	重松公明
39	北海道（美瑛町）	国立大雪青少年交流の家	銃剣道	10/21(土)～10/22(日)		8	中島克直	工藤幸徳	
40	福井県（福井市）	福井県立武道館	少林寺拳法	10/21(土)～10/22(日)		43	松田和子	三井純一	
41	岐阜県（岐阜市）	岐阜メモリアルセンター	なぎなた	10/21(土)～10/22(日)		49	角薫	関祐介	
42	和歌山県（和歌山市）	和歌山県立武道館	銃剣道	11/4(土)～11/5(日)		21	津田昌泰	竹田成彦	
43	埼玉県（上尾市）	埼玉県立武道館	なぎなた	11/18(土)～11/19(日)		62	泉水孝子	笠原松美	
44	福井県（福井市）	福井県立武道館	なぎなた	11/18(土)～11/19(日)		41	安井みどり	廣岡奈緒美	
45	新潟県（上越市）	謙信公武道館 (新潟県立武道館)	剣道	12/9(土)～12/10(日)		90	大澤規男	軽米良臣	
46	鹿児島県（鹿児島市）	鹿児島県総合体育センター 武道館	なぎなた	12/16(土)～12/17(日)		30	中村ゆり子	笠原松美	
47	栃木県（宇都宮市）	栃木県総合運動公園武道館 (ユウケイ武道館)	なぎなた	令和6年1/27(土)～1/28(日)		36	大野京子	佐藤静子	
48	島根県（松江市）	島根県立武道館	なぎなた	1/27(土)～1/28(日)		22	廣瀬幸子	吉井和代	
49	福岡県（福岡市）	福岡県立スポーツ科学情報 センター	なぎなた	1/27(土)～1/28(日)		86	高橋登子	徳地昌代	
50	宮崎県（宮崎市）	ひなた武道館（宮崎県武道館）	空手道	令和5年12/23(土)～12/24(日)		167	佐藤重徳	相原智之	加藤英夫
51	沖縄県（那覇市）	沖縄県立武道館	なぎなた	1/27(土)～1/28(日)		68	中村ゆり子	佐藤あき子	
52	茨城県（水戸市）	茨城県武道館	なぎなた	2/10(土)～2/11(日)		38	廣瀬幸子	鈴木亘	
					合計	3,495			

※古武道模範演武実施

※¹ 年度当初計画より、4カ所が中止。

※² 1カ所にて、古武道模範演武を実施。

中学校武道必修化「特化型」 地域社会武道指導者研修会実施内容報告

No	種目	開催地	会場	期間	参加者
1	柔道	山口県(山口市)	維新百年記念公園	令和5年5月17日(水)～18日(木)	15
2	剣道		維新大晃アリーナ武道館		18
3	なぎなた	静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	7月1日(土)～2日(日)	36
4	少林寺拳法	静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	9月23日(土)～24日(日)	90
5	少林寺拳法	福島県(福島市)	(公社)福島県トラック協会 レクリエーション施設	10月14日(土)～15日(日)	22

①柔道 山口県(山口市)

派遣講師 木村昌彦 八段、田中 裕之 七段
参加者 15名

【5月17日(1日目)】

始めに田中裕之講師による柔道指導の概論講義『教育に生かす武道の心』が行われた。「生徒たちに柔道を通して何を伝え、何を学ばせたいのが大切である」と、授業の在り方について説明。また、『精力善用・自他共栄』と学習指導要領の3観点(『知識・技能』『思考力、判断力、表現力』『学びに向かう力、人間性』)を結びつけ、「授業では柔道を通して人間性を養うことが重要」であり、「柔道に限らず生涯をかけて学び続けることが大切である」とした。続いて行われた木村昌彦講師による『基本動作・受け身』では、礼、正座の仕方から始まり、組み方、受け身の实技指導が行われた。木村講師は受け身の前提として「後頭部を打たないようにするためには首の筋肉の使い方が大切。首の筋収縮を意識させる」と説明した。

午後からは田中講師の指導による『固め技(袈裟固め、横四方固め、上四方固め)』、木村講師の指導による『受け身(後ろ受け身、横受け身)、組み方、崩し方、投げ技(膝車)』が行われた。田中講師からは「単に抑え方、逃れ方を教えるのではなく、どのように抑え、どのように逃れるかを生徒に考えさせることもできる」と、授業の進



ホワイトボードを使って膝車について説明する木村講師

め方についてのアドバイスがあった。また、「柔道の授業では秩序が絶対に必要。特に狭い場所での授業となれば、秩序がないと怪我をする」と安全管理についての注意喚起があった。木村講師からは、膝車をかける際のポイントとして「慣性の法則を利用しつつ、相手が出ようとする所で足を当てるように」と説明があった。

【5月18日(2日目)】

始めに田中講師による『固め技(袈裟固め、横四方固め、上四方固め)』についての講義と実技指導が行われた。攻防の楽しさを味わうため、固め技での試合(20秒)を実施。受講生は4人一組となり選手、審判、時計係を順番に実践・体験した。休憩後、木村講師による『投げ技(膝車、支え釣り込み足、体落とし、大外刈り)』の実技指導が行われた。2人一組で技の掛け方を確認した後、互いに技を掛け合った。最後に互いに技を掛け合う簡易なゲーム(技はかけ切らない)を行い、攻防の楽しさを味わった。

午後からは、田中講師による『評価』についての講義と実技指導と木村講師による『総括』の講義が行われた。田中講師は「私は教えるとは自分の希望を語ること、学ぶとは誠実を胸に刻むことだと思う。教員になった時の気持ちを忘れずに頑張っていたきたい」と教員としての心構えを述べた。



田中講師による概論の講義



田中講師による固め技の試合方法の指導

②剣道 山口県（山口市）

派遣講師 水田重則 範士八段
 小山正洋 教士八段
 参加者 18名

【5月17日（1日目）】

初日、まずはじめに、水田講師より武道（剣道）の指導にあたって、剣道衣の着装について、正しく着ることの大切さと、立礼と座礼の姿勢についての講義があった。

次に竹刀の持ち方と構え方、正しい振り方の説明や指導法について講義があり、午前中は終了した。

午後は、剣道具の付け方についての説明があり、実際に面以外の胴と垂と小手をつけて、特に胴を付けるとき紐を結ぶやり方は授業でどうやって生



竹刀を置き、手刀で振り方を練習



剣道具をつけての実践練習

徒に指導をするかを念頭に置きながら装着した。

剣道具装着後に竹刀を持って実際に振り、正面打ちや左右面の打ち方、その指導法についての説明があった。

次にお互いに向き合って、小手と胴を実際に打ち、連続技の面、小手、胴を交互に打った。その際の運足や踏み込み方の説明がなされた。

面の装着について、まずは面をつけるために手ぬぐいで帽子を作りそれを被り面をつける。装着後にお互いに面、小手、胴を打ち合い、初日の研修が終了した。

【5月18日（2日目）】

2日目の研修では、最初に「日本武道協議会設立40周年記念中学校武道必修化指導書」のDVDを鑑賞した。鑑賞後は水田講師による質疑応答が行われ、受講生からの質問に返答した。また、小山講師からは「昨日の研修内容が再確認できてよかったと思う」との感想があった。

引き続き実技に入り、昨日の研修の復習をした後、剣道具を付けて面、小手、胴の連続技を行い午前の研修は終了した。午後は、剣道具を付けて実戦練習を行い、仕上げに切り返しをして研修を終えた。

③なぎなた 静岡県（藤枝市）

派遣講師 与語美恵 教士、松井亮子 教士
 参加者 36名

【7月1日（1日目）】

開会式の後、全体の間隔をとって整列し、八方振り・しかけ応じ（1本目～8本目）を行った。与語講師は「角度・打突部位を意識してできているか」と受講生らに問いかけながら指導にあたった。また、しかけ応じの練習では、互いに動作や



グループに分かれてリズムなぎなたの創作

振り下ろしの角度を確認し合った。松井亮子講師は、構えや構える際の手の握り方が重要であると説明。中学校武道必修化指導書に構えの内容が記載してあるので確認をしてほしいとし、質疑応答を行い午前は終了した。

午後は、会議室Cにて松井講師による講義「中学校武道必修化に伴う『なぎなた』授業の推進」から始まった。武道必修化の経緯について説明やなぎなた授業の実施状況を示した。なぎなた授業の採用校を増やすために、全日本なぎなた連盟が用具の貸し出し（送料無料・費用なし）・各校の実情に応じた指導案の提示等を紹介した。また、他武道と比較したなぎなたのメリットである「男女共修が可能・直接のボディ接触がない・運動着でできる等」を説明した。

なぎなたは各県を担当するコーディネーターがいる。静岡県なぎなた授業の現状について受講生の太田氏は、「学校に『指導ノート』を紹介すると授業計画がしっかりしていて評判がよい。大規模校での採用は課題の1つであるが、体育教員が1、2名の学校は興味をもってもらいやすい」と紹介した。

講義の後、道場に移動し、「崖の上のポニョ」の楽曲に合わせて、リズムなぎなたを練習。5～6人一組で、演技・体さばき・上下振り・打ち返し等の基本技を盛り込み、各グループが工夫してリズムなぎなたを演武発表した。その後、しかけ応じの練習をして締めくくった。

【7月2日（2日目）】

準備運動を兼ねて体さばきを行った後、授業を想定した声出しの練習を行った。声を出すのが恥ずかしい生徒がいるので、改善策として、号令者の発声の後に皆で発声をして動くという方法を試した。次に全体でしかけ応じの練習をした後、2つのグループ（「打ち返し選手権」と題した競技会・しかけ応じや全日本なぎなた形の練習）に分かれて練習した。「打ち返し選手権」では、参加者らが選手・審判・監督・呼び出しの役をそれぞれ担っ

た。午後はグループを交代して、同様の練習が行われた。最後は、自由稽古を行い、派遣講師は巡回指導にあたり、研修会の全日程を終えた。

④少林寺拳法 静岡県（藤枝市）

派遣講師 高坂正治 准範士七段

谷 聡士 大拳士六段

参加者 90名

【9月23日（1日目）】

開会式後、鎮魂行、準備運動を行い、谷聡士講師による全体基本を行った。初めに開足中段構からの振り突、蹴上、上中連突を行った。谷講師から「拳をしっかりとにぎることや突きの軌道の確認をすること」などの指導があった。その後、天地拳第一系、二系、義和拳第一系を行った。谷講師は「基本においては、決められたことを守ることが大切である」と述べた。次に高坂正治講師が講義と実技指導を行った。高坂講師は授業と道場での指導の違いについて「拳士と生徒の意識の違いや『少林寺拳法を教えるのが』道場指導である。授業では『少林寺拳法で教える』ことが大切」と説明。また、指導者は「少林寺拳法を通して伝えたいことを明確にしておく必要がある」と述べた。その後、相対になり調息法を意識しながらの受突の練習を行った。「学校の授業では、調息を指導することにより、生徒の気持ちを落ち着かせることができる。また、技の指導では、痛みを伴わない内容で指導することが大切である」と述べた。

午後は谷講師による法形と演武の指導を行った。「幼少期の運動機会の減少により、手足のコントロールが上手くいかない生徒もいるので、授業指導では全ての生徒が同じ動きができるとは限らないことに留意すること」と述べた。その後、高坂講師の講義では、内容を変更して授業スキル（指導スキル）について解説を行った。高坂講師は「『一時に一事』の原則を意識して指導すると良い」と述べ、「指導者は情報を与えすぎてはいけない。ポイントを三つぐらいにまとめるほうが



高坂講師の講義

良い。そのポイントが授業では評価のポイントとなる。これは、道場での指導でも同様。無駄に教え込む必要がなくなる」と述べた。その後は竜王拳第一系、燕返を相対で行った。最後の「質疑応答」の時間では、参加者から積極的に講師へ質問が寄せられ、高坂、谷講師が示範しながら具体的に回答した。

【9月24日（2日目）】

9時開始。鎮魂行の後、準備体操を行い高坂講師の講義「授業のネタ、指導のネタを見つけよう」が行われた。高坂講師は「少林寺拳法の授業では運動量の確保が難しいと言われるが、内容次第で運動量は確保できる」と説明。その後、相対になり体ほぐし運動の実践が行われた。「この運動は授業でも道場でも使える運動である」と述べた。谷講師の講義では、少林寺拳法連盟の方向性や、自身が部活動の指導を行っている多度津中学校の現状報告を行った。谷講師は「連盟は内閣府に対して9月4日に公益財団法人の認可申請書を提出した」と述べた。その後は段位ごとに三つのグループにわかれて実技指導・実技研修が行われた。

午後も引き続き三つのグループに分かれて技術指導・実技研修を行い、最後に質疑応答を行った。

閉会式では、高坂講師、谷講師が講評を述べ、2日間の日程を終了した。



谷講師の講義

⑤少林寺拳法 福島県（福島市）

派遣講師 小井寿史 大拳士五段

安田智幸 准範士六段

参加者 22名

【10月14日（1日目）】

開講式に続いて鎮魂行が行われた。はじめに安田智幸講師による「少林寺拳法連盟における中学校武道必修化」についての講義が行われ、少林寺拳法連盟の必修化対策を説明した。静的なストレッチ・歩きながらのウォーミングアップ・ゲー

ム性を交えたものを行い、股関節の可動域を広げるようにした。安田講師からは「ストレッチされているところを意識するとより効果的である」と受講生らに伝えた。

その後、礼法に移った。中学生が苦戦する「着座」「安座」を、二人一組になって、動きを6つに区切り、号令をかけて練習をして「教える・教えられる」を体験した。基本となる技（内受突・下受蹴・上受突など）を中学生に教える想定をしながら、より効果的な指導方法を考えながら練習をした。

午後は、小井寿史講師による「非認知能力を高める少林寺拳法授業」と題して講義を行った。非認知能力は、アメリカの経済学者ジェームズ・ヘックマンが提案。いわゆる見えない学力・点数にできない学力。講義では、自己チェック・小テストを交えながら、受講生らに非認知能力（人格・人間力）の重要性を説明した。その後、グループに分かれて、基本となる技をどのように教えるかの教材研究・演武発表作りを行い、翌日の演武発表へとつなげた。

【10月15日（2日目）】

午前は、1日目同様に鎮魂行の後、準備体操を行った。次に、小井講師による演武発表（龍王拳第一系 相対演武）における評価表の作成の仕方について、講義があった。「ゴールを設定・共有することで、生徒も教師もビジョンを持って授業に臨める」と説明があった。受講生らはグループに分かれて、評価表の作成・演武発表の練習を行った。

午後は、3グループがそれぞれ考えた演武を発表した。見ているグループは、演武発表グループが作成した評価表をもとに、評価をした。講師・受講生らで評価について意見交換・発表をした。評価表の作成では、評価をすることの難しさが見受けられた。

閉会式では、小井講師、安田講師が講評を述べ、全日程が終了した。



グループに分かれて、評価表・演武発表の準備

柔道 指導者研修会・青少年錬成大会 実施報告・参加者感想文

【指導者】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
1	※山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大見アリーナ武道館	5/17(水)～5/18(木)	15	木村昌彦、田中裕之
21	鳥取県(鳥取市)	鳥取市武道館	9/23(土)～9/24(日)	43	鎌塚智樹、森英也
50	福井県(福井市)	福井県立武道館	11/4(土)～11/5(日)	57	向井幹博、金子将也
70	鳥根県(松江市)	鳥根県立武道館	12/2(土)～12/3(日)	41	竹澤稔裕、小野綾子
86	岡山県(岡山市)	岡山武道館	R6/2/24(土)～2/25(日)	84	鎌塚智樹、森英也
※中学校武道必修化特化型				計	240

【青少年】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
3	沖縄県(那覇市)	沖縄県立武道館	5/13(土)～5/14(日)	171	向井幹博、江種辰明、磯崎佑子
17	石川県(金沢市)	石川県立武道館	7/24(月)～7/26(水)	157	鎌塚智樹、菅太誠、佐藤正大
20	愛媛県(松山市)	愛媛県武道館	7/28(金)～7/30(日)	132	向井幹博、中井貴裕、渡邊一貴
23	山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大見アリーナ武道館	8/8(火)～8/10(木)	中止	
27	山形県(山形市)	山形市総合スポーツセンター	8/12(土)～8/13(日)	225	手塚勝彦、園田悠二、曾我部晋哉
34	茨城県(水戸市)	茨城県武道館	9/16(土)～9/17(日)	126	有川勇貴、中井貴裕、手島桂子
				計	811



鳥取県（鳥取市）地域社会柔道指導者研修会

指導者研修会

□鳥取県（鳥取市）

▽加茂中学校 教諭 日澤史輝

「柔道は柔道のためだけのものではなく、全ての段階の教育、スポーツのためのもの」という視点が、私にとっては印象的だった部分である。私自身恥ずかしいことに柔道を指導しているといふ、「試合で勝つため」という視点に傾倒してしまう。「柔道を通した人間教育」という視点は常にもっていなければならないが、今回の研修では改めて「教育」という視点を忘れないようにしようと強く誓うきっかけとなった。私は「人を大切にする」ということを柔道の指導を通して子どもたちに伝えていきたいと思っている。日頃の挨拶や感謝の気持ちを伝えること、仲間の頑張りに気づき

応援すること、他者を尊重する気持ちなどはこれから社会がどのように発展しても必要な要素だと考えているからである。今回の研修で話しにあった「受けの重要性」でも相手を大切にするという点で大切なことである。このような一人の人間として大切なことを育める柔道の競技人口がどんどん減っているのはとても残念である。そこで、「日本国内における柔道からJUDOへの意識の転換」これが、柔道人口を増やすためには大切ではないかと今回の研修を経て感じたところである。海外では他のスポーツのトレーニングプログラムに柔道が取り入れられているという事例を扱った。柔道という競技の特性を分析し、自分の生活や他の競技に取り入れるという視点が大切であるということがわかった。日本に古くから伝わる「武道」

の側面と、海外で発展していった「生活の中でも活かす」という側面を大切にしながらこれから柔道の指導にあたっていき、競技人口を少しでも増やす努力をしていきたい。

審判については、私自身勉強中である。競技をみることに加え、審判の動きをこれから注意深く見ていきたいと思った。審判としての技量も高めていけるよう、今後も研修会等に積極的に参加し、最新の情報に触れられるよう努めていきたい。

青少年錬成大会

□山形県

▽小松剛大

僕は、今回の山形県地方青少年柔道錬成大会に参加してとても良い勉強になりました。その中でも心に残った事が二つあります。

一つ目は、なぜ柔道をしているのかです。僕は、今まで県で優勝するためにがんばってきました。

でも、今回の錬成大会で勝つことより、人の役に立つ人間になる事が目的でありそれが自他共栄の精神だとわかりました。

これからは礼節、自立、高潔、品格を意識して柔道に取り組みたいと思います。

二つ目は、実技講習の中で園田先生に教えていただいた釣手の手首の使い方です。僕は強引に釣手を上から持って技を掛けることがありましたが、先生に手首の使い方を教えていただきその後の乱取りで実践してみたら思うように技を掛けることができました。今回の錬成大会は自分のこれからにつながる事ばかりでした。二日間講師の先生方本当にありがとうございました。

□茨城県（水戸市）

▽岩永妃夏

今回は、5年に1度の錬成大会に参加させていただきありがとうございます。



山形県（山形市）地方青少年柔道錬成大会



9月16日～17日という短い期間でしたが、とても貴重な2日間となりました。ありがとうございます。そして1日目の午前では、寝技の技術を教わりました。相手からにげたり、相手の力を利用して攻める技などを教えてくださいました。後は、立技で講師である有川先生から教わった技術や中井先生・手島先生の得意技の大外刈り・背負い投げなどを教わりました。手島先生が教えてくれた背負い投げは、喧嘩四つの場合に突っ張ってくる相手に対して、その方がやりやすいとおっしゃっていました。不思議に思ったのですが、それはひじをわきの下に入れる人じゃなくて、もう少し手前に入れると相手も引き出せて低く入れるので背負いも入りやすくなることがわかりました。参考にします、ありがとうございました。そして最終日の2日目は、1日目と同様午前中では寝技の技術や立技の技術を教わりました。寝技で

は、相手が上から攻めてきた時に使える技など立技では、組み手や足技を教わりました。そして最後に先生方に質問をしていいとのことでしたので、他の人はどのような質問をするのかなと思い、見ていたらこんな人がいました。「先生方は、日ごろからどのようなトレーニングをしていたのですか？」と質問している人がいました。それに対して先生方は、「走りこみですね、それに走りこみの時は相手はこのぐらい走るだろうとそうていして、自分はそれよりもっと走るようにしていました。」とのことをおっしゃっていました。私も相手に負けないという気持ちを宿し、トレーニングを頑張りたいです。そして教えてくださった講師の先生方や送り迎えしてくださったお父さんお母さんありがとうございます。けがなく頑張ります。



茨城県（水戸市）地方青少年柔道錬成大会



乱取り（寝技）



乱取り（立ち技）

剣道 青少年錬成大会 実施報告・参加者感想文

【指導者】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
2	※山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大見アリーナ武道館	5/17(水)～5/18(木)	18	水田重則、小山正洋
38	沖縄県(那覇市)	沖縄県立武道館	10/14(土)～10/15(日)	30	吉田泰将、山口明生
53	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	11/11(土)～11/12(日)	53	石田利也、土屋勝
66	鳥取県(米子市)	鳥取県立武道館	11/25(土)～11/26(日)	76	山崎尚、宮戸伸之
79	茨城県(水戸市)	茨城県武道館	R6/2/3(土)～2/4(日)	53	山崎尚、関川忠誠
※中学校武道必修化特化型				計	230

【青少年】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
7	鹿児島県(薩摩川内市)	サンアリーナせんだい武道場	6/17(土)～6/18(日)	74	大城戸功、寺地種寿
18	石川県(金沢市)	石川県立武道館	7/24(月)～7/26(水)	98	笠村浩二、井上孝
24	山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大見アリーナ武道館	8/8(火)～8/10(木)	中止	
32	岡山県(岡山市)	岡山武道館	9/2(土)～9/3(日)	中止	
33	沖縄県(那覇市)	沖縄県立武道館	9/9(土)～9/10(日)	236	下島貴代一、浦和人、田中宏明
35	鳥根県(松江市)	鳥根県立武道館	9/16(土)～9/17(日)	31	横尾英治、吉田博光
36	富山県(富山市)	県営富山武道館	9/23(土)～9/24(日)	80	栗田和市郎、阿部昭彦
38	秋田県(秋田市)	秋田県立武道館	10/14(土)～10/15(日)	179	佐藤勝信、関川忠誠、重松公明
45	新潟県(上越市)	謙信公武道館(新潟県立武道館)	12/9(土)～12/10(日)	90	大澤規男、軽米良臣
※古武道模範演武実施				計	788



鳥取県(米子市)地域社会剣道指導者研修会

指導者研修会

□鳥取県(米子市)

▽秋田裕太

令和5年11月25(土)及び26(日)に鳥取県立武道館にて開催されました。剣道の中央講師には山崎尚範士八段ならびに宮戸伸之教士八段をお招きし、地元講師として山中洋介範士八段、阿部正美教士八段による指導が展開されました。受講生は地域の剣道指導者およそ80名が参加し、講師陣の一举手一投足を注視する姿勢が印象的でした。

本研修1日目の剣道講話について、山崎範士八段の「人生を変えたいと思うなら心を変えてください」という言葉が強く印象に残ります。一方、受講生の中には令和6年に鳥取県で開催されるね



りんピックの強化選手も出席し、その先生方にとっては今がまさに佳境であり、今後に余念が許されないのは言うまでもありません。

本研修会を通して、私が学んだことを真摯に受け止め、素直な気持ちでこれからの稽古に取り組みたいと思います。このような機会を与えて頂き心より感謝申し上げます。

青少年錬成大会

□富山県（富山市）

▽砺波市立庄西中学校 二上陽光

栗田先生、阿部先生、二日間ありがとうございました。剣道の基礎から教えていただき、自分の悪い癖を見つけることができました。特に、足さばきが本当に大切であることに気付くことができました。

阿部先生のご指導では、遊びを取り入れた稽古でした。一日目ということもあり、最初は自分も周りの皆も緊張していたと思います。しかし、稽古が始まると皆が笑顔になっていました。僕も楽しく稽古ができ、最後まで頑張り抜くことができました。

二日目の栗田先生のご指導では、一日目の振り返りから始まりました。稽古の中で足の引きつけ等の足さばきについて細かく丁寧に教えていただきました。教えていただいたことを意識して最後の地稽古に臨みました。その結果、いつもより速く打突することができ、連続技を打てるようになりました。

今回、参加できなかった後輩もいるので、教えていただいたことを後輩にも伝えていきたいです。二日間ありがとうございました。

□富山県（富山市）

▽小矢部市立津沢中学校 川原堅心

錬成大会で、剣道だけでなく、日常で意識することを学びました。着装や素振りなど、基本について改めて学んだことが印象に残っています。着装では、正しい着付け形や見た目の整え方を教えていただきました。素振りでは、竹刀の持ち方、正しい振り方を知りました。さらに、切り返しや返し技、応じ技の正しい打ち方、素早い打ち方を学びました。

しかし、何事も「やりっぱなしはいけない」と言われたこと、このことが何より心に残りました。僕は残心を怠ってしまうことがあります。それが原因で一本にならなかったと言われたことも一度や二度ではありません。これは剣道だけでなく日常生活でも同じで、やり始めたことを途中でやめてしまい、最後まで責任感を持ち続けられていませんでした。これからは、最後まで自分の責任と心して取り組もうと思います。

今回の錬成大会から帰るとき、自分も、後輩も、とても強くなった気持ちになっていました。それが人間として強くなったということであつたらいなと思います。今回学んだことを、来られなかった仲間や後輩にしっかり伝えていきたいと思います。



富山県（富山市）地方青少年剣道錬成大会

□秋田県

▽秋田北中学校 高橋 一平

私は、この地方青少年剣道錬成大会を通して改めて感じたことは、将来のことを見据えて日々の稽古に取り組むということです。今回の講習会に来てくださった先生方も、将来何をするために剣道をしているのかと問いかけている場面がありました。私も将来なりたいものがあります。それを叶えるために、剣道だけではなく日々の生活、学習に積極的に取り組んでいけるようにしたいです。

先生方の細かくて丁寧な指導のおかげで、足捌きから面小手に対する応じ技等でレベルアップできたと思っています。稽古会では講習会で学んだことを意識して自分の剣道を先生方につけることができました。講習会のあとに動画サイトで佐藤勝信先生の試合や立ち合いの動画を見ましたが、崩れない構えと多彩な技に驚きました。「こんな凄い先生に教えていただいたんだな。」と嬉しくなりました。

二日間という短い時間でしたが、剣道以外のことも学べて良い経験となりました。現在の自分と将来の自分を照らし合わせ、これからの稽古に励んでいきたいと思っています。

貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

□秋田県

▽城南中学校 川邊萌々香

私は、この講習会でたくさんしたこと学びました。その中でも心に残ったことは三つあります。一つ目は、剣道の剣は「道場で稽古すること」道は「普段の生活」ということです。例えば、食事が終わってから自分の食器を台所にさげる、これは剣道の残心に繋がっていることを教えていただきました。普段の生活が剣道に繋がっていることは多くあることを学び、それらに意識して剣と道のバランスをとりながら良い生活をしていきたいと思いました。

二つ目は、最後まで諦めないで続けることです。私は、できない技を後まわしにして、できる技の練習をし、できない技から逃げてきました。でも、今回の講習会で講師の先生方が「最後まで最後まで！」と励ましの声掛けをしてくださり、やってみようとスイッチが入り、前よりも自信を持つことができました。この気持ちを忘れずに学校の練習でもスイッチを入れて練習していきたい

です。

三つ目は、努力です。優勝したい。でもその願いをかなえられるのは1つの大会で1人だけです。その目標に向かってひたむきに練習を重ねても必ずしも優勝できるとは限りません。ただ私は、努力は無駄だった。ではなく、努力は無駄じゃなかったと言えるように自分の練習に全力を尽くします。講師の先生が苦しいことに耐えることを辛抱といい、苦しい練習に辛抱すると、辛抱の「抱」の先に花が咲く、そう教えてもらいました。「努力は裏切らない」という言葉を信じこれからも高い目標に向かって努力していきます。

□秋田県

▽秋田南高校中等部 柳田 瑚太郎

私は、秋田県地方青少年剣道錬成大会に2日間参加して、自身の剣道の知識、技術の幅を広げることができました。県外から来られた先生方による練習方法や打ち方、考え方などは、どれも今まで経験したことが無いもので、新しい自分の剣道を発見できた様な気がします。また、いつもの練習仲間とは違う、県内の沢山の剣士と一緒に稽古することができ、改めて剣道の楽しさや面白さを実感することができました。今回の2日間で習ったことを活かして、更なる高みを目指して精進していきたいと思います。またこの様な期会があったら参加させていただきたいと思います。先生方、ご指導ありがとうございました。



秋田県（秋田市）地方青少年剣道錬成大会

弓道 指導者研修会・青少年錬成大会 実施報告・参加者感想文

【指導者】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
5	福岡県(福岡市)	博多の森弓道場	6/10(土)～6/11(日)	60	土佐正明、田中邦子
12	岩手県(盛岡市)	岩手県営武道館	8/26(土)～8/27(日)	30	飯島千代子、福地平
16	長野県(飯田市)	長野県飯田運動公園弓道場	9/16(土)～9/17(日)	32	近藤峯英、福地平
18	福島県(郡山市)	郡山市開成山弓道場	9/23(土)～9/24(日)	37	土佐正明、浅野有三
23	岐阜県(岐阜市)	岐阜メモリアルセンター	9/30(土)～10/1(日)	66	増渕敦人、白井修一
24	鳥根県(松江市)	鳥根県立武道館	9/30(土)～10/1(日)	23	近藤峯英、野中秀治
25	岡山県(玉野市)	玉野市営弓道場	9/23(土)～9/24(日)	27	及川好布、田中邦子
29	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	10/7(土)～10/8(日)	28	飯島千代子、福地平
30	群馬県(前橋市)	群馬県総合スポーツセンター ALSOKぐんま武道館	10/7(土)～10/8(日)	38	土佐正明、小田俊文
34	石川県(金沢市)	石川県立武道館	10/7(土)～10/8(日)	39	近藤峯英、齋藤往子
35	愛知県(名古屋)	愛知県武道館	10/14(土)～10/15(日)	32	正法地清、野中秀治
40	静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	10/21(土)～10/22(日)	42	及川好布、西田郁子
43	宮崎県(都城市)	都城市早水公園体育文化センター	10/21(土)～10/22(日)	48	増渕敦人、田中邦子
48	三重県(津市)	三重武道館	10/28(土)～10/29(日)	38	土佐正明、野中秀治
49	大阪府(大阪市)	大阪城弓道場	10/28(土)～10/29(日)	23	飯島千代子、小田俊文
51	広島県(広島市)	広島県立総合体育館	11/4(土)～11/5(日)	65	飯島千代子、白井修一
52	鹿児島県(鹿児島市)	西原商会アリーナ弓道場	11/4(土)～11/5(日)	59	近藤峯英、安倍智
60	鳥取県(鳥取市)	鳥取市弓道場	11/18(土)～11/19(日)	34	増渕敦人、澁谷佳史
61	大分県(大分市)	大洲運動公園大分弓道場	11/18(土)～11/19(日)	33	正法地清、田中邦子
63	栃木県(宇都宮市)	栃木県総合運動公園武道館(ユウケイ武道館)	11/25(土)～11/26(日)	33	土佐正明、福地平
68	愛媛県(松山市)	愛媛県総合運動公園	11/25(土)～11/26(日)	31	飯島千代子、野中秀治
71	山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大見アリーナ武道館	12/2(土)～12/3(日)	42	近藤峯英、澁谷佳史
73	高知県(高知市)	高知県立弓道場	12/9(土)～12/10(日)	18	正法地清、澁谷佳史
28	徳島県(徳島市)	徳島県立中央武道館	R6/1/20(土)～1/21(日)	35	正法地清、齋藤往子
77	北海道(北見市)	北見市武道館	1/27(土)～1/28(日)	56	及川好布、齋藤往子
85	秋田県(秋田市)	秋田県立武道館	2/24(土)～2/25(日)	37	土佐正明、福地平
計				1,006	

【青少年】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
13	岩手県(花巻市)	武徳殿	7/15(土)～7/17(日)	83	齋藤往子、福地平
19	鳥根県(松江市)	鳥根県立武道館	7/28(金)～7/30(日)	26	澁谷佳史、小田俊文
25	山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大見アリーナ武道館	8/8(火)～8/10(木)	中止	
26	香川県(高松市)	香川県立武道館	8/11(金)～8/13(日)	31	安倍智、野中秀治
30	青森県(弘前市)	青森県武道館	8/19(土)～8/20(日)	66	浅野有三、齋藤往子
37	山梨県(甲府市)	山梨県小瀬スポーツ公園武道館	9/30(土)～10/1(日)	96	西田郁子、小田俊文、齋藤往子
計				302	



福岡県（福岡市）地域社会弓道指導者研修会

指導者研修会

□福岡県

▽塘 理奈

令和5年6月10日、11日の二日間に亘り、土佐正明先生、田中邦子先生お二人を外部講師に、永吉加代子先生、長尾弘文先生を地元講師としてお迎えして行われました。

一日目は土佐先生による矢渡しの後、一手射礼と持的射礼。二日目は田中先生と永吉先生お二人による一つの射礼の演武と、一日目の続きで持的射礼と一つの射礼の研修。襷がけと肌脱ぎの指導と射技研修の後、仕上げの一手射礼を行いました。襷がけの研修では様々な質問が飛び交い、間違えな研修となりました。また、射礼研修や射技研修では、四人の先生方大変熱のこもった且つ細やかなご指導を受け、心に響くお話や気付き等があり、私にとっても大変有意義な研修会となりました。

講話では、弓道教本をよく読んで理解を深め、縦横十文字の規矩と五重十文字の重要性を繰り返しながら、基本に忠実にお稽古を重ねていくことが大切であるというお話があり自分が指導者の立場においても十分繰り返し教本を学んでおくことが大事であると感じました。また、体配においても、細かい心がけ一つで美しい動きを身につけていくことが、品格を上げる大切な心掛けであることを学びました。

二日間で多くのことを学ぶことができた、大変中身の濃い研修会になり、今後の自分の修練に役立て、更なる射法射技の研修と射品射格の向上を目指し、自己研鑽してまいりたいと思います。

□岩手県（盛岡市）

▽高橋眞理

飯島先生の講話では体配と動作の持つ意味を話され、忘れていたことを思い出して、ああそうだったと改めて心に刻みました。

その後、射技指導では、福地先生の独特の理論に基づく射法は初めてうかがうもので、皆さん妻手の収まりに苦勞されていましたが、私はいつもの課題である手の内と弓手の弱さを指摘されました。

難しい課題よりもっと基本的なところから正せということでしょうか。

教士の方々による一つの射礼の模範演技は三人の息がぴたりと合っていて、飯島先生が一つの三人で芸術品を作る気持ちで、とおっしゃいましたが、まさにその通りでした。

その後の射技指導で飯島先生から「ようやく慣れてきたみたいね、楽しく引きましょうね」と声をかけていただき、射技指導の甲斐もなく2日間で2本しか的に当たらなかったにもかかわらず、弓はいいな、続けようと思えた2日間でした。



岩手県（盛岡市）地域社会弓道指導者研修会

□鹿児島県（鹿児島市）

▽鹿児島市立松元中学校 永田博美

普段は部活の顧問という立場から生徒たちと接していますが、いざ自分が弓を引いてみると緊張して思うようにいかなかったり、やっているつもりでも、御指導頂く中で全然できていない自分を実感したりと、生徒もこんなのかなかもしれないと思うことができました。御指導頂いた言葉も普段生徒に声をかける時のポイントやヒントを頂くことができましたように思います。自分自身が引いて指導頂くことはとても大切な機会であると実感しました。

▽鹿児島県弓道連盟鹿児島支部 椎原幸喜

2日間の研修で感じたことは、弓道指導者として一番大切なものは、人柄、人間性であると感じました。一人一人の指導に、その人の射技向上のため誠心誠意指導されておりました。国体も終わったばかりでお疲れの中、ただ感謝するばかりです。今後の弓道人生に役立てたいと思います。

▽鹿児島市立伊敷台中学校 石原明子

本研修会に参加して改めて基礎、基本の大切さを実感しました。常日頃から生徒にも斜方八節図解に載っているとおりに射を練習するように言っていますが、自分だけだと弓（弦）を真っ直ぐ打起することや矢播えから離れるまで矢を常に平行にするなど意識すればできることですらおろそかになっていることに気付かされました。また、他人の射を見ることで自分の射を振り返り、理想とする射を具体的にイメージすることもできました。今回の研修会で先生方から学んだことを今後しっかりと練習に生かし、理想である真善美を体

現できる射の追求をしていきたいと考えます。

▽鹿児島県弓道連盟鹿児島支部 田中耕次

充実したカリキュラムで、中央の範士の指導を受けられる機会が少なく大変に参考になりました。個別の対応まで聞けた点は助かりました。参加者のレベルを分けた進め方も効果的でした。また、非日常の時間を過ごすことができました。自己練習、中学生への指導それぞれがマンネリ化していましたが、このような特別な時間は、それを再考させる良い機会となり、同様の感想をもつ人々との交流もできて、お互いの考え方にも触れることができました。

▽鹿児島県弓道連盟鹿児島支部 福井美恵

先生方の熱意溢れる御指導で受講生たちの熱量も向上しました。先生方の励ましを糧として安易な射や体配に寄りがちである自己を律して、少しでも良い射をすることができるよう努力していきたいと決心しました。「体配は自分を高めるために絶対必要」「見る目を育てることができる指導者を目指せ」を心します。

▽鹿児島県弓道連盟鹿児島支部 森園直実

日頃指導する場合、「こう直してあげたい」と思っている表現の仕方が稚拙で伝わらないことも多々ありますが、今回の研修会で体の使い方であったり筋肉の使い方の方法を「そういった表現の仕方もあるのか」と目から鱗がたくさんありました。今回の指導を自分のものとし、次の世代に伝えてともに成長していけるよう精進していきたいと思います。



鹿児島県（鹿児島市）地域社会弓道指導者研修会

青少年錬成大会

□青森県

▽弘前工業高校1年 三上夢翔

錬成会で僕が最も驚いたことは、先生方の射法八節などの美しさです。今の自分は、一つ一つの動作がバラバラで「美しい」とは程遠いものです。しかし先生方は、動作のタイミングや形がとてもきれいで、洗練されていると感じました。講話でおっしゃられていた「弓道は体を合わせるものではなく、息合いを合わせる」ということに強く共感しました。先生方の矢渡しで、歩幅や歩いているときの足が揃っているのを見て一体感を感じ、

これが息合いを合わせるということかと納得しました。

坐射の練習の際、初めての挑戦ということもあり、もたついていたり、先生や他校の先輩方が教えてくださり、人並み程度に覚えることが出来ました。的には中らなかったものの、手の内をほめられてうれしかったです。

初めて触れることが多く、とても有意義な錬成大会となりました。今回学んだことを活かして、自分の能力の向上に努めたいと思います。



青森県（弘前市）地方青少年弓道錬成大会

相撲 指導者研修会・青少年錬成大会 実施報告・参加者感想文

【指導者】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
3	鳥根県(松江市)	鳥根県立武道館	5/20(土)～5/21(日)	27	浦嶋三郎、村上英昭
計				27	

【青少年】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
4	鳥取県(鳥取市)	鳥取城北高校相撲場	6/16(金)～6/18(日)	29	對馬英人、平野照二
計				29	



鳥取県（鳥取市）地方青少年相撲錬成大会

青少年錬成大会

□鳥取県（鳥取市）

▽鳥取城北高等学校相撲部 松田天

今年の錬成大会はコロナが明けたという事もあり、実戦的な稽古を重点的に行うことができた大会でした。

今回の大会では技術的なご指導もそうですが、稽古に向かう心構えの重要性を教えていただいたことが一番印象に残っています。いつもあたりまえのように稽古に臨むのではなく、一日一日の稽古に対し目標を持ち稽古することで、充実した稽古になることを実感しました。

稽古の内容は前半に四股、摺り足などの基礎を中心とし、後半に申し合いなど実戦形式の稽古を行いました。改めて基礎、基本を丁寧に正確に行っていくこと、地道な基本を着実に積み上げていくことが大切だと感じました。

これからインターハイ、国民体育大会と全国大会が続きます。この錬成大会を通して学んだこと、講師の先生方からご教授いただいた内容を大切にして、チームと自身の課題に向き合い、必ずインターハイと国体で団体優勝し、チームの目標である「日本一」を達成したいです。



空手道 指導者研修会・青少年錬成大会 実施報告・参加者感想文

【指導者】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
13	青森県(弘前市)	青森県武道館	9/2(土)～9/3(日)	37	高橋和夫、桑本知幸
36	山口県(山口市)	維新百年記念公園維新大見アリーナ武道館	10/14(土)～10/15(日)	19	原口高司、佐藤重徳
56	埼玉県(上尾市)	埼玉県立武道館	11/18(土)～11/19(日)	31	西井美夏、井上良江
75	徳島県(徳島市)	徳島県立中央武道館	R6/1/7(日)～1/8(月)	35	小松幸司、重久千明
78	愛知県(名古屋市)	愛知県武道館	1/27(土)～1/28(日)	62	樋川光司、斎藤一雄
84	大分県(大分市)	レゾナック武道スポーツセンター	2/17(土)～2/18(日)	128	渡邊純一、岡部茂弘
計				312	

【青少年】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
29	北海道(千歳市)	千歳市スポーツセンター	8/19(土)～8/20(日)	149	崎山幸一、柴谷香子、本龍二
50	宮崎県(宮崎市)	ひなた武道館(宮崎県武道館)	12/23(土)～12/24(日)	167	佐藤重徳、相原智之、加藤英夫
計				316	



青森県（弘前市）地域社会空手道指導者研修会

指導者研修会

□青森県

▽岩崎雄太

2023年1月にギリシャで開催されたKARATE1シリーズAより、新ルールが採用され、試合動画を視聴した私は、あまりの変化に驚きを隠せませんでした。今後、正確なレフェリーが出来るか心配になりましたが、今回の指導者研修会を通じて、その不安を軽減させることが出来ました。10月より国内で採用される新ルールを、既に国際大会で経験されている講師によるご指導は、大変貴重であったと感じております。

一人一人丁寧なご指導や、的確なアドバイスを頂きながら学ぶ事も多く、自分自身の癖など普段気づく事が出来ない点にもご指導頂きとても勉強になりました。今後、青森県でも全国審判、ランク付け受審者が数名おります。今回の講習を受け、受審する者にとってもレベルアップできたのではないかと感じております。まだ新ルールを全



て理解できた訳ではありません。今後も指導頂いた事を活かしていけるよう、精進して参りたいと思います。

遠方よりお越し頂いた高橋和夫先生、桑本知幸先生、地元講師の加福明浩先生、中畑桂先生に、心より感謝申し上げます。



山口県（山口市）地域社会空手道指導者研修会



□山口県

▽山口県空手道連盟 塩川尚成

この度、山口県地域社会指導者研修会に参加し、大変有意義な講習をして頂いたと感じております。

佐藤重徳先生におかれましては、剛柔流の形の技法を通して、武術的な体の使い方をご指導いただきました。勿論、これまでも空手が武術であることを意識してやっておりましたが、力の抜き方や肩甲骨や体全体の使い方、さらに意識の持ち方によって大きな効果が出せる事について身をもって体験できたことは本当に勉強になりました。「スポーツは武術に応用できないが武術はスポーツに応用できる」という言葉も印象的でした。

原口高司先生には、糸東流の基本形・指定形の立ち方や手の使い方のみならず、技の持つ意味(分解)について丁寧にご指導頂きました。先生のご経験から出るお話は新鮮で楽しくあつという間の講習時間でした。「百錬自得」の精神でこれからの稽古や指導に取り組んでいきたいと考えます。

また、本年度より新しくなった新ルール of 最新改正点について沖野義次先生にお話し頂いたことも大きな収穫でありました。

最後に、このように貴重な内容の研修会を実施して頂いた事について、山口県施設管理財団様に心よりお礼申し上げます。この二日間で学んだことを地域に持ち帰り、空手道の研究と指導に役立てていく所存です。

□徳島県

▽上本 由香

令和6年1月9日、10日の二日間、徳島県立中央武道館に於いて、徳島県地域社会空手道指導者研修会が行われたので参加してまいりました。

中央講師として、公益財団法人全日本空手道連盟から、小松幸司範士八段と重久千秋錬士六段をお招きし、一日目は組手審判の実技の指導をしていただきました。ケースごとに、具体的なアドバイスをいただき、組手審判員として留意すべき事が明確になった講習でした。二日目は、指導者及び選手を対象に、形の実技指導をしていただきました。それぞれの形の要点、注意すべき事を助言していただき、大変勉強になった講習でした。

今後は本研修会で学んだ知識を活用し、研鑽を重ねて指導力向上に努めてまいります。両先生方、ありがとうございました。



徳島県（徳島市）地域社会空手道指導者研修会



合気道 指導者研修会 実施報告・参加者感想文

【指導者】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
6	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	6/17(土)～6/18(日)	109	森智洋、梅津翔
11	三重県(津市)	三重武道館	7/29(土)～7/30(日)	68	菅原繁、有馬隼人
15	千葉県(千葉市)	千葉県総合スポーツセンター 武道館	9/9(土)～9/10(日)	173	関昭二、深浦徹也
17	秋田県(秋田市)	秋田県立武道館	9/23(土)～9/24(日)	41	入江嘉信、里館潤
26	広島県(広島市)	広島県立総合体育館	9/30(土)～10/1(日)	115	藤巻宏、深浦徹也
37	熊本県(熊本市)	熊本武道館	10/14(土)～10/15(日)	63	桂田英路、桑原将太
39	富山県(富山市)	県営富山武道館	10/14(土)～10/15(日)	62	入江嘉信、藤田すみれ
41	愛媛県(松山市)	愛媛県武道館	10/21(土)～10/22(日)	155	栗林孝典、中村仁美
59	埼玉県(さいたま市)	さいたま市大宮武道館	11/18(土)～11/19(日)	89	横田愛明、中村仁美
69	栃木県(宇都宮市)	栃木県総合運動公園武道館(ユウケイ武道館)	12/2(土)～12/3(日)	42	金澤威、里館潤
80	静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	R6/2/10(土)～2/11(日)	82	森智洋、中村仁美
81	愛知県(名古屋市)	愛知県武道館	2/10(土)～2/11(日)	149	大澤勇人、梅津翔
83	兵庫県(姫路市)	兵庫県立武道館	2/17(土)～2/18(日)	87	難波弘之、藤田すみれ
87	東京都(足立区)	東京武道館	3/2(土)～3/3(日)	56	櫻井寛幸、深浦徹也
計				1,291	

【青少年】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
6	和歌山県(和歌山市)	和歌山県立武道館	6/17(土)～6/18(日)	121	植芝充央、桑原将太、藤田すみれ
計				121	



秋田県（秋田市）地域社会合気道指導者研修会

指導者研修会

□秋田県

▽秋田県合気道連盟秋田カルチャー合気道教室 須田寛大

この度、合気会本部道場指導部の入江嘉信師範、里館潤指導員と秋田県合気道連盟の松田健一会長、北嶋貞好理事長のご指導による指導者研究会に参加させていただきました。

入江師範による開祖の技への原点回帰と新しい身体操作の両方を織り交ぜたご指導には参加者全員が新鮮な刺激を受けたと思います。

秋田県の松田会長による合わせと呼吸法、北嶋理事長による新規考案も含めた剣杖の理合いを若い里館指導員が真摯に学ぶ姿には次世代の指導的立場になる人の探究心を感じました。

研修会で学んだことは、各自の道場に持ち帰り精度を上げるべく稽古をしたいと思います。

質疑応答の際にアメノミナカヌシの話が出るなど武術の技法だけではなく、神話など日本文化の根源の探究や言霊、意識の具現化を身体を使って研鑽をするという要素も含む合気道への興味が深まった貴重な2日間だったと感じました。

▽秋田県立武道館道場 進藤益美

今回、本部道場指導部の先生方や他道場の先生方の指導を頂き、貴重な時間をありがとうございました。準備運動から技へと続く体の動かし方・呼吸法等、日頃の自身の運動とは違い、理に則した動きと感じました。

基本技指導時には、開祖がいらした当時の教本等を示され、当時と現時点の技の違い理合い・変遷等を説明頂き、基本技と武器技との共通性や、相手との繋がりを切らさない等、技の奥深さ・広がりを感じました。日々の稽古では、覚えたいと

いう気持ち強く、目の前の手・足・体の動きを追っている

- ・相手との繋がり
- ・呼吸のタイミング
- ・重心の置き所等、忘れがちな事に気付かされました。

個体差（性別・体格・年齢）の違いによる自身のできない事も自覚した上で※手の振り※腰を利かす※足運びの向き・歩幅等、基本を体得する事で克服できる部分もある事を教わりました。先生方の言われた事を少しでも体現できるよう、今後楽しく稽古を続けていきたいと思っています。

▽男鹿合気会 天野康誠

秋田県立武道館に於いて 2023 年 9 月 23 日～24 日に行われた『合気道指導者講習会』に参加した感想を申し述べます。

まずは主催頂いた（公財）日本武道館、全国都道府県立武道館協議会、秋田県公立武道館協議会、（公財）合気会に感謝申し上げます。

この手の指導者講習会はとても有意義で、本来であれば秋田県合気道連盟として定期的に開催すべきと思いますが、本部師範招聘等は費用の面でも中々難しいと感じます。

国庫補助対象事業として武道に助成頂きありがたく感じます。

私が合気道を始めたのは今から 5 2 年前、高校 3 年間無中で稽古しました。

当時『合気道修行者心得』が道場の壁に張られており、毎日唱和させられました。

私のその後の人生に於いて、この教えは非常に役立ち、自分のバックボーンになったと思っています。

仕事をリタイヤした数年前から合気道を再開しましたが、若いときは気付くことができなかった理にかなった動きで相手を制する意味を少しずつ理解できるようになりました。

今は楽しくて、体力維持もかねて週 4 日稽古しています。

さて今回、合気会・本部道場指導部師範・入江嘉信七段及び里館潤五段をお迎えして合気道指導者講習会が行われました。

私も二日間受講させて頂きました、今回は風変わりな講習会と感じています。

といいますのも、昭和 8 年～12 年に発行された、合気道開祖・植芝盛平翁の図解入りの教本を基に技の解説を頂きました。

指導者としての注意点や技の修練も勿論大切ですが、入江師範は合気道の原点である植芝盛平翁の当時の技を探求するという切り口を提示してくれた様に思います。

現在と微妙に違う当時の技にも興味が湧きました。

最後になりますが、秋田県内の各道場の有段者が一緒に稽古できる機会は多くないので、とても楽しく有意義な時間となりました。

開催頂きありがとうございました。

□静岡県（藤枝市）

▽阿形 麻紀

今回、初めての参加です。しかし、申し込みしたものの、日が近くなるにつれ、「私なんかに参加しても良かったのだろうか？」と不安になっていましたが、いざ当日始まってみると、講師の先生方がとても気さくにリラックスした雰囲気を作って下さり、楽しく稽古させて頂きました。静岡県合気道連盟理事長の石原先生は、とてもわかりやすく、指導者としての心得のみならず、いち稽古人としての心得も稽古の中で説明下さいました。本部道場からいらして下さい森先生も終始にこやかに私たち皆に伝わる様に丁寧に説明をして下さいました。また、中村先生のしなやかな受け身は大変勉強になりました。森先生からの姿勢のつくり方、体の調整法についてのお話もとても丁寧に教えて下さり、実際に参加者全員で実践させて頂き、体が整ってから広範の稽古に臨めました。また、体術に関しても手先の力で相手を崩そうとせず、全身を連動させた重さの伝え方を呼吸法や天地投げでわかりやすく教えて下さいました。今回の研修会で先生方が指導下さった事を 1 人でも多くの人に伝えられるよう、また自身においても日々楽しく稽古が積めるよう精進していきたいと思いを強くしました。

▽野村久司

今日の研修でまず第一に感じたのは楽しいでした。石原・森両師範の講習・懇親会全てを通じて心から楽しむことが出来ました。

両師範のご指導で印象深かったのは、石原師範：相手を認める稽古をしましょう。指導される師範・道場で違いがあっても、それを取り・受け共に認め合い、しっかり合わせた品格のある合気道をしませんか。



静岡県（藤枝市）地域社会合気道指導者研修会

森師範：中心軸を高識し十分に柔らかく、互いにコンタクトの取れた、四肢を強張らせない捌き（受けも）をしましょう。自分の重さを相手の中心に伝ええる為に、例えば手（腕）の重さをしっかり伝える。その為には芯の柔らかさが求められていると感じた。最後に自分がお2人に共通した教えだと感じたのは、中心軸そしてその軸は常に動きがぶれない、そんな捌きをすることだと。難しいけど、少しずつ稽古で獲得することなんだと感じました。

石原・森両師範・中村指導員・準備運営の方を労をおしماずしていただいた皆さん有題うございました。

▽石川 俊

私個人的には2015年に宮城県で参加して以来、約10年ぶりの合気道指導者研修会であり、始まる前は非常に楽しみであったと共に、長丁場で非常に疲れた思い出もあり緊張もあつての参加でした。

初日の午前の稽古より、初めの礼の仕方の指導から石原先生、森先生の指導まで一貫して、姿勢の重要さに気づかせて下さる稽古でした。

また一時間毎に先生が入れ替わるというプログラムであったので、入れ替わっても常に教わったポイント（基礎）が意識できて応用して別の技へと活かせることが出来ました。

非常に有意義で楽しく学ぶことが出来たので次回の講習会も楽しみでなりません。

□東京都

▽波木居恵一

櫻井師範の稽古は、中心を軸にした体の動きが非常にためになりました。大田師範の稽古は、基礎中の基礎と言う点、特に非常に単純ながら、足

を動かすというできそうでできないことにとても興味を感じました。いずれも、単純な動きが非常に大事であり、単純とは言え、実はものすごく奥の深いことと改めて実感することができる内容でした。

総合的に、非常に充実した内容であったと思います。大田講師の稽古は、どうやって受け取れない生徒に指導するかと言う課題でしたが、そもそも指導する側が1番単純な動きを自らできるかできないかと言う重要なポイントを実感しました。学ぶということは、いかに素直に真似ができるかということ、本当に大事だと思います。できるかできないかじゃなくて、トライするというのが本当に大事ですね。

また、来年、タイミングが合えば参加したいと思います。また、日々の自分の稽古で、今回学んだことを日々の稽古で、実践実行しようと思います。

非常に有意義な稽古を提供して下さったことに感謝いたします。

▽岩本典史

中心の大切さ、合気道の技に通底するものであることを、いろいろな技を通して分かり易くお教えいただきました。その考え方、指導内容を日頃一緒に稽古している方々と共有したいと思います。

「インテグリティ」という言葉を初めて知りました。国内においてはスポーツ庁が使い始めたのでしょうか。言葉だけが上滑りしてしまうようで違和感を覚えます。武士道とは何ぞやということを改めて学び直すならば、スポーツにあるべき高潔性・健全性にも役立てられるのではないかと考えました。無理に海外の言葉と概念を持ち込む必要はないと思いました。

実技に体力面でついていくことができず、日ご



東京都（足立区）地域社会合気道指導者研修会



ろの鍛錬不足を痛感させられました。改めます。

青少年錬成大会

□和歌山県（和歌山市）

▽米倉啓視

この度、標記錬成大会がコロナ渦を乗り越え、和歌山県で四年ぶりに盛大に開催されましたこと大変嬉しく思います。

二日間にわたり県下各地より合気道を志す青少年が一堂に会し、派遣講師先生の熱心なご指導のもと、充実した実りある錬成大会となりました。また今回、（公財）合気会様からの派遣講師の一人として、合気道本部道場長様が来館されることとなり、コロナ渦で制限してきた稽古方法が緩和

されて、本部道場長自ら指導方針を示されることで、参加した青少年だけでなく、引率の各指導者が指導方法の再確認ができる良い機会となりましたことを施設として、喜ばしく思います。

開催準備段階から日本武道館振興部様のご指導、ご助言により事務作業等も滞りなく行うことができ、今後もこの経験を活かし、武道連盟様と連携して、さらに内容を充実させた研修会、錬成大会を開催できればと考えます。

今回このような機会を与えて頂いたことに改めて感謝し、本事業の目的である武道の普及、振興と青少年の健全育成のため取り組んでゆきたいと思えます。



和歌山県（和歌山市）地方青少年合気道錬成大会



少林寺拳法 指導者研修会・青少年錬成大会 実施報告・参加者感想文

【指導者】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
7	岩手県(盛岡市)	岩手県営武道館	7/1(土)～7/2(日)	32	井戸家正旺、谷聡士
9	大分県(玖珠郡)	九重文化センター	9/16(土)～9/17(日)	39	井上弘、渡辺待男
10	茨城県(水戸市)	茨城県武道館	7/8(土)～7/9(日)	70	中島正樹、岩城潤也
14	秋田県(秋田市)	秋田県立武道館	9/9(土)～9/10(日)	29	秋吉好美、大内信弥
19	※静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	9/23(土)～9/24(日)	90	高坂正治、谷聡士
20	奈良県(橿原市)	奈良県立橿原公苑	9/23(土)～9/24(日)	105	梅野清嗣、井上弘、川添浩史
22	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	9/30(土)～10/1(日)	46	志村力、村田素彦
27	広島県(広島市)	広島県立総合体育館	9/30(土)～10/1(日)	46	林正義、益永亮
31	※福島県(福島市)	福島県トラック協会レクリエーション施設	10/14(土)～10/15(日)	22	小井寿史、安田智幸
32	群馬県(渋川市)	渋川市武道館	10/14(土)～10/15(日)	48	土佐久、夏川伸也
33	山梨県(甲府市)	山梨県小瀬スポーツ公園武道館	10/14(土)～10/15(日)	68	伊東茂治、中森清徳
42	長崎県(佐世保市)	長崎県立武道館	10/28(土)～10/29(日)	51	鈴鹿成正、勝田真也
44	沖縄県(那覇市)	沖縄県立武道館	10/21(土)～10/22(日)	14	藤井省吾、渡部晶彦
46	栃木県(宇都宮市)	栃木県総合運動公園武道館(ユウケイ武道館)	10/28(土)～10/29(日)	31	湯浅裕二、志村力
47	長野県(佐久市)	長野県立武道館	10/28(土)～10/29(日)	34	荒井章士、森川弘仁
54	愛知県(名古屋市中区)	愛知県武道館	11/11(土)～11/12(日)	74	川島一浩、永安正樹
55	兵庫県(姫路市)	兵庫県立武道館	11/11(土)～11/12(日)	38	宇都宮俊二、渡部晶彦
57	埼玉県(上尾市)	埼玉県立武道館	11/18(土)～11/19(日)	67	松本好史、飯野貴嗣
62	北海道(札幌市)	北海道立総合体育センター	11/25(土)～11/26(日)	100	井戸家正旺、村瀬晃啓
64	新潟県(上越市)	謙信公武道館(新潟県立武道館)	11/25(土)～11/26(日)	37	荒井章士、谷聡士
76	福岡県(福岡市)	福岡県立スポーツ科学情報センター	R6/1/20(土)～1/21(日)	150	川島一浩、福家健司、夏川伸也
計				1,191	

【青少年】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
31	宮崎県(宮崎市)	ひなた武道館 (宮崎県武道館)	8/26(土)～8/27(日)	107	永安正樹、伊藤修平、本間慎太郎
40	福井県(福井市)	福井県立武道館	10/21(土)～10/22(日)	43	松田和子、三井純一
計				150	

指導者研修会

□岩手県 (盛岡市)

▽小岩裕基

全国でも高名な指導者においでいただき、教え、技術とも多くの気づきをいただくことができました。井戸家先生のお話を伺う中に、本やビデオでしか見ることができない開祖のお言葉の神髄を感じました。谷先生からは少林寺拳法グループの進む方向性について、本部の考えを直接聞くことができました。これからの修練に向けたエネルギーをたくさんいただけた研修会となっておりがたかったです。

▽重茂雅宏

6年ぶりの井戸家先生のご指導は、やっぱり「凄

い」のひと言しか出てこない感想です。初めてご指導いただいた谷先生も、負けず劣らずの熱血指導でした。この行事は、やはりいいなあと思いました。中学校の「部活移行問題」も地域によって取り組むべき課題も様々ななあと思います。「地殻変動的な時代」に入った感を受けました。「不易流行」の本質的な部分は少林寺拳法の「人づくり」です。これからはその本質的なところを忘れず邁進していきたいと思います。

▽松田拓実

なぜ振り突きが必要なのかを教えていただいたことが印象に残っています。基本に立ち返り、今一度原理を学び直すことができた素晴らしい機会でした。柔法ではかけ方は一つではなく、様々な



岩手県 (盛岡市) 地域社会少林寺拳法指導者研修会

やり方があると知りました。その中で自分がやりやすい形を見つけていこうと考えます。

▽中村彪雅

「武的要素」について、今まで言葉で聞いてもよく分からず演武を行っていたのですが、今回でなぜ「武的要素」が重要視されるのかとてもよくわかりました。当身の効果を最大限発揮するために、どのように連反功をすればよいのか、演武をどのように組み込むのがいいのか、段位に上がったからとても悩んでいましたが、身をもって理解できたと思います。今後は特に当て身を意識して演武を構成します。

▽杉崎弘基

柔法、剛法ともに相手を意識した練習を行えました。特に柔法では急所の位置を日頃の練習よりも意識し、より効果的に技をかける練習ができました。基本練習では、単演の法形の中でも、武的要素を忘れず、意味のある身体の使い方を学ぶことができました。チームの課題として武的要素を出すことを目指して練習しているので、今日学んだことを忘れず明日からの練習に活かしていきたいと思います。

▽吉田善雄

井戸家先生からは当身の5要素をしっかり考えた演武、武の要素がなければいけない点などを学ばせていただきました。そして谷先生からは法形を間合いに応じ、瞬時に判断してつないでいく、変化させていく点を学ばせていただきました。両先生ともに、わかりやすく親身におしえてくださり、本当にありがとうございました。一日一日を大切に、これからも精進していきたいです。

▽松浦俊也

中央講師の井戸家先生、谷先生、コロナ明けで岩手県少林寺拳法連盟の「新たな再スタート」の時に、正に少林寺拳法の技術の面白さ、教えの深さ尊さを体感させていただき、参加拳士ともども感激しております。特に左法・整法、急所を用いた護身の術としての技法の奥深さに、武術として少林寺拳法は最高のものと再確認しました。今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

▽川崎義晴

中央講師の先生方におかれましては、井戸家先生は60半ばを過ぎても力強く、武的要素を感じられる動きを体験させていただき、谷先生には若くして中央講師をされることで難しいこともあるのではとも思いましたが、エネルギーさ、少林寺拳法の普及に関する熱意を感じさせていただきました。今回の経験を活かして今後も自身の修行と指導に努めていきたいと思っています。

▽吉田浩士

コロナ禍による休止期間を経て、岩手県でこの研修会が開催されたことを喜びたいと思います。実施に向けてご尽力をいただいた関係各位に感謝申し上げます。この間、武道団体においても修練環境の制約などにより、活動の停滞があったことは否めません。今回の研修会は、これからの再始動への確かな足がかりとなったと感じます。中学校の少林寺拳法部を指導され、少林寺拳法連盟の振興普及の仕事をしておられる谷聡士先生からは、基本法形の注意すべき点、組織の現状分析と大局的な方向性を解説して頂きました。長年にわたり第一線で実技の指導と連盟本部審査員を統括されている井戸家正旺先生からは、急所や経絡を技に活かす技術と共に、熱血指導を通してまた体験談のなかから、我々がこれから先も忘れてはならない、修練することの原点を感じ取ることができました。講師としての、両先生の選任はベストマッチであったと思います。

□秋田県（秋田市）

▽少林寺拳法秋田県スポーツ少年団 佐々木葵衣

指導者研究会に参加し、技術面だけでなく、自分の後輩の拳士たちに対する指導の仕方を詳しく教えていただきました。少林寺拳法の経験が浅く、面白さや楽しさを実感できない少年部の拳士に対して、継続したいと思えるように拳士それぞれのレベルや年齢に合わせた指導が必要だと感じました。

普段の練習で基礎練習は、毎度やりなれており手を抜いて練習しがちですが、突きや蹴りをするときの重心のかけ方などを意識して行うことで正しい基礎が身に付くため、基本の重要性を改めて実感しました。技術指導では、自分が現在演武で扱っている技や、自分の段以上の段の技の根拠やコツを学ぶことが出来ました。今回の研修会で学んだことをスポ少で少しでも後輩たちに伝えるこ



秋田県（秋田市）地域社会少林寺拳法指導者研修会



とが出来るようにしていきたいです。

お忙しい中、この指導者研修会にお越しいただき、指導して下さった講師の先生方、ありがとうございました

▽少林寺拳法秋田仁賀保道院 佐藤拓希

まず初めに、当研修会実行委員の皆様、事前の準備から当日の研修会運営大変お疲れさまでした、おかげさまでとても有意義な二日間を過ごすことができました。本当に有難うございます。

この二日間の研修会の中で、とても貴重な体験をさせて頂くことができました。私は講習会では、いつも感動と新しい技術の発見を求めて望んでおります。そういった意味でも今回の研修会で本部派遣の秋吉先生、大内先生の手を実際に握らせてもらい、その素晴らしい技術を身をもって体感させて頂けたことはとても貴重な経験となりました。

また普段自分が修練をする中で、こうなのではないか？こうすれば良い気がする！と漠然と考えていた事や、意識していた事について、先生方のお話しや技を通して、これは間違っていなかったのか！と答え合わせが出来たことも、これから先の修行において私の大きな糧と自信に繋がる経験だったと思います。

今後も技術の研鑽はもちろんのこと、少林寺拳法の教えの部分もしっかりと学び、私が実践している金剛禅運動とはこれです！と自信を持って言える人間になれるよう、日々の修行に取り組んでいきたいと思っています。今回は本当に有難うございました。

▽少林寺拳法秋田泉スポーツ少年団 佐藤颯人

今回の講習会では、剛法、柔法はもちろん、構えなどの基礎的な部分を重点的に教えていただきました。特に、講習会で話されていた「相手に有

効な突きや蹴り」は今までには教わってこなかったようなやり方で、実際に受けてみると胴越しでも威力が伝わり、蹴り方一つでここまで変わるのかと脱帽しました。日頃は演武の練習をすることが多いのでこういった実践的な突き蹴りを学べた良い機会となりました。

また、演武をする動きと実践的な動きの乖離が自身の中であり悩んでいましたが、技に至るまでの理屈や立ち方一つにとっても意味があることを教えていただき、頭で理解しながら演武をすることによって、臨場感や迫力が生まれてくるのだと感じました。そういった日々の練習での疑問点も今回の講習会で解消することができました。

今後も講師の方から教わったことを日頃の修練で意識しながら取り組みたいと思います。この度はありがとうございました。

□群馬県（渋川市）

▽群馬県少林寺拳法連盟 上西貴博

令和5年度群馬県（渋川市）地域社会少林寺拳法指導者研修会が、10月14日、15日の日程で開催されました。

全体講義では、グループ毎に「青少年を見て感じること」「青少年の指導の際に留意すること」「私生活や仕事で少林寺拳法が役立ったこと」などをテーマに各々の意見を出し合いました。普段抱えている悩みや指導の際に意識していることがシェアできたことは、とても学びが多かったと思います。また、講師の先生が仰っていました保護者や拳士に対応するタイミングとして、先の先、対の先、後の先を考えると良いというのはとても印象的でした。

準備運動では動的ストレッチを行いました、非常に好評で各所属で取り入れたとの意見が多くありました。

実技は、普段あまり修練していない技の指導



群馬県（渋川市）地域社会少林寺拳法指導者研修会



と、今まで見過ごしていた細かいポイントを指導して頂き、とても勉強になりました。所属に戻り、門下生の指導に生かしていきたいと思います。

このような機会を与えて下さった（公財）日本武道館、全国都道府県立武道館競技会、（一財）少林寺拳法連盟、群馬県総合スポーツセンター A L S O K ぐんま武道館、渋川市武道館の方々に心から感謝を申し上げます。

□福岡県

▽九州工業大学支部 三浦真郷

講習会のカリキュラムは、3名の派遣講師の先生方による「実技」と「講話」で構成されていました。

「実技」は、ウォーミングアップの方法、基本練習指導法、資格別技術、世代別技術など、指導者を育成することを目指した内容であり、また動的柔軟性、インナーマッスルトレーニングなど最新のトレーニング方法にも及んでいました。

基本法形から単撃・連撃の運用法への展開など、ひとつひとつの練習メニューをつなげて、全体として効果を積み上げるという修練の考え方を体験しました。

また、先生方のキレのある動き、合理的な動作など本物を間近に見ることで、図書やYouTube

などでは体感できない「感じるもの」を得ることができました。

先生方の武道場に入る時の合掌礼の形、受講生への話し方など、所作・行動についても「指導者としての姿勢」を学ぶことができました。

勇気を出して技の質問をすると、しっかり手を取って技をかけていただき、先生の熱意も私に届いたように感じました。

「講話」は、“なぜ少林寺拳法を始めたのか、若い頃から今までどう生きてきたか、そしてこれからこうしたいと思う”という構成になっており、最後に、受講者へのメッセージへと続くものでした。

“若い頃に夢を持っていた、そして今実現できたと思う、みなさんも夢を持って挑戦してほしい”という熱いメッセージでした。

二日間の講習で、日頃感じえない、新鮮な学びを得ることができました。

受講生の先生方に対する感謝気持ちは、最後の先生方への謝意を込めた拍手の響きが、いつもより大きく、鳴りやまなかったことが表していたと思います。

講師の先生方との出会いにより、「技術、生き方」を学ぶ機会となりました。

福岡県少林寺拳法連盟、日本武道館におかれま



福岡県（福岡市）地域社会少林寺拳法指導者研修会



しては、このような機会を作っていただき、感謝申し上げますとともに、来年の開催もぜひお願いいたします。

青少年錬成大会

□福井県（福井市）

▽大野竜平

今回の錬成大会は私にとって、演武や各種技等から、考え方や人への接し方など多くの事を学び得られる機会となりました。

技に関して、特に柔法の視点を自分の前足より手前でするべしという三井先生の教えが印象に残っています。鉤手をして技をかけると確かに掛手は自分の前足より手前の方が力も入るし相手の重心をコントロールしやすかったです。これまで、とにかく自分の近くにと考えてかけていたため過剰に力を使っていたのですが、先生の指導により効率よく技ができることを理解すると同時に、これで良いと研鑽していなかったことを痛感しました。その反省と今後の進展のため部内に「研鑽」する習慣をつけたいと考えています。

講義では、人との関わりの大切さ、継続による影響等がいかに大きいかということを学ぶことができました。自分自身、人に憧れて少林寺拳法を始めたので感じるものがありました。私も人に憧れてもらえるような人間になれるよう、自分なりに人によりかかわってゆきたいと思います。

また継続についても非常に私なりに納得しました。たしかに一度辞めてしまっても、かつての仲間がまだ続けていると知ったならきっと顔を出してみようという気になると思います。

最後に、今回の錬成大会では人生において大変役に立つことを多く教えて頂きました。楽しく、ただし締めるところは締めるメリハリのある今回の体験は、私にとっても部にとっても実りの多いものでした。ご指導して頂きました先生方、武道館関係各位に感謝申し上げます。ありがとうございました。押忍

▽啓新高等学校 小林 茂

今回の錬成大会に参加した拳士達の感想をまとめました。

「錬成大会では、楽しい時間を過ごすことができました。参加したことで、さまざまな年齢の人と一緒に練習する機会を得られて、よかったと思います。修練や講義の内容を通じて少林寺拳法をもっと続けていきたいと思いました。」



福井県（福井市）地方青少年少林寺拳法錬成大会

「錬成大会中の技術では、基本的な技術について深く学ぶことができました。組演武での重要点についての理解が深まりました。単独演武にも応用できる方法について考えることができました。」

「異なる年齢層の参加者と一緒に学び、交流することで、新しい経験を得ることができました。中学生との練習では、怪我しそうな瞬間がありました。」

「団体演武の練習では、いつもと違う人と協力して作り上げることが新鮮さを感じました。もう少し時間を短くし集中して行えるともっとよかったかと思います。」

「朝から夕方までの2日間で長時間なので高校生には耐えられるかと心配していましたが、楽しかったとの感想が多かったです。」

「錬成大会参加後の修練では、技術、真剣さ、修練に向かう姿勢などが向上したように感じられました。」

以上のように、概ね前向きな感想が得られ今回参加したことにより、今後もより一層、少林寺拳法に励んでいく原動力となった2日間だったと思います。

ありがとうございました

なぎなた 指導者研修会・青少年錬成大会 実施報告・参加者感想文

【指導者】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
8	※静岡県(藤枝市)	静岡県武道館	7/1(土)～7/2(日)	36	与語 美恵、松井亮子
45	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	10/28(土)～10/29(日)	19	谷本 良子、高橋 登子
72	千葉県(千葉市)	千葉県総合スポーツセンター 武道館	12/9(土)～12/10(日)	49	鈴木 亘、廣岡奈緒美
82	群馬県(前橋市)	群馬県総合スポーツセンター ALSOKぐんま武道館	R6/2/17(土)～2/18(日)	15	芦川寿美、紫関譲子
※中学校武道必修化特化型				計	119

【青少年】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
1	群馬県(前橋市)	群馬県総合スポーツセンター ALSOKぐんま武道館	5/3(木)～5/4(木)	20	芦川寿美、安井みどり
5	岩手県(盛岡市)	岩手県営武道館	6/17(土)～6/18(日)	58	徳地昌代、関祐介
10	長野県(佐久市)	長野県立武道館	7/1(土)～7/2(日)	10	増田桂子、嶋田信子
11	青森県(弘前市)	青森県武道館	7/8(土)～7/9(日)	42	大野京子、濱岡紀久子
12	宮城県(仙台市)	宮城県第二総合運動場	7/8(土)～7/9(日)	28	徳地昌代、横山良子
14	福島県(会津若松市)	河東総合体育館	7/15(土)～7/16(日)	97	吉井美恵子、安井みどり
21	東京都(足立区)	東京武道館	7/31(月)～8/1(火)	105	成田登代子、濱岡紀久子
22	石川県(金沢市)	石川県立武道館	7/31(月)～8/2(水)	21	吉井美恵子、芦川寿美
41	岐阜県(岐阜市)	岐阜メモリアルセンター	10/21(土)～10/22(日)	49	角薫、関祐介
43	埼玉県(上尾市)	埼玉県立武道館	11/18(土)～11/19(日)	62	泉水孝子、笠原松美
44	福井県(福井市)	福井県立武道館	11/18(土)～11/19(日)	41	安井みどり、廣岡奈緒美
46	鹿児島県(鹿児島市)	鹿児島県総合体育センター武道館	12/16(土)～12/17(日)	30	中村ゆり子、笠原松美
47	栃木県(宇都宮市)	栃木県総合運動公園武道館(ユウケイ武道館)	R6/1/27(土)～1/28(日)	36	大野京子、佐藤静子
48	島根県(松江市)	島根県立武道館	1/27(土)～1/28(日)	22	廣瀬幸子、吉井和代
49	福岡県(福岡市)	福岡県立スポーツ科学情報センター	1/27(土)～1/28(日)	86	高橋登子、徳地昌代
51	沖縄県(那覇市)	沖縄県立武道館	1/27(土)～1/28(日)	68	中村ゆり子、佐藤あき子
52	茨城県(水戸市)	茨城県武道館	2/10(土)～2/11(日)	38	廣瀬幸子、鈴木亘
※古武道模範演武実施				計	813



千葉県（千葉市）地域社会なぎなた指導者研修会

指導者研修会

□千葉

▽黒川依子

参加の目的は指導者としての資質を高めることはもちろん、人口減少が進む中でどのようになぎなたの普及をしていったら良いのか、そのヒントを見つけるため全国の第一線で活躍されている指導者の鈴木先生、廣岡先生にご指導頂きたいと思ったからです。

先生方のご指導は丁寧かつ分かり易く、とても

集中して稽古することができました。

また、アイデアの詰まった道具の使用も大変興味深く、どの年代でも楽しみながら上達が期待できると感じました。古き良き伝統を受け継ぎながらも令和に合った柔軟な考えを持ち、指導方法を見出ししていきたいと思います。なぎなたの普及には、「やってみたい」「私にもできる」「楽しい」が必要だと考えます。今回のご指導でこの想いが沸き上がってきました。二日間有意義な研修をありがとうございました。



青森県（弘前市）地方青少年なぎなた錬成大会



青少年錬成大会

□青森県

▽弘前なぎなた教室 佐藤由希菜、佐藤実咲希

私たちは、今回のなぎなたの錬成大会で様々なことを学びました。そのなかで特に印象に残ったことは三つあります。

一つ目は、飛び込み面では二回以上踏み込んでしまうと、点数にならないということです。私たちは飛び込み面のとき、何回も踏み込んでしまっていたので気をつけようと思いました。また、それが癖になってしまっていたので直すことを意識しながら稽古に励みたいです。

二つ目は、試合で打突を受けた後にすぐ打突を仕返すことが大事だということです。私たちは受けてもすぐに中段に戻してしまっていたので打突の機会が減ってしまっていたことがわかりました。受けた後は相手のあいているところをすぐに探して打突をしようと思いました。

三つ目は、構えをしてすぐに打突をしないと相手の心の準備ができてしまうことや、タイミングが合わなくて点数にならないということです。私たちは構えてからどこに打つか、どのタイミングで打つかを考えてから打突をしてしまっていたの

で、構えをする前に、どこを打つかを決めて、タイミングを見て素早く構えて打つことを心がけようと思いました。

私たちはこれらのことを学んで、もっと練習をして直すべきところや気をつけるところがたくさんあることがわかりました。また、演技でも試合でも声を大きく出すことがとても重要だということも改めてわかりました。これからは、今回学んだことをいかして上達できるように稽古に励みたいです。

□福島県（会津若松市）

▽会津学鳳高等学校 野村咲祐

この度は、暑い中私たちにご指導くださりありがとうございました。長いものの扱い方についての講義を受けたり、演技・試合の練習をグループ別ご指導いただいたりして、充実した時間を過ごすことができました。

私自身も吉井先生に中段は切っ先に乗って立つことや、余計な力が入るときは目を閉じて柄払いすると良いことなど、多くのことを教えていただきました。良い感覚を忘れず、これからに活かしていきたいと思います。昨日今日、一人一人学ん



福島県（会津若松市）地方青少年なぎなた錬成大会





石川県（金沢市）地方青少年なぎなた錬成大会



だことがそれぞれあるので、それらを身につけて応用できるようにしていきます。

二日間本当にありがとうございました。

□石川県（金沢市）

▽津幡高校 河原紫乃

7月31日から三日間、錬成大会がありました。私たちは2日間の練習でしたが、最初から最後まで丁寧に分かりやすく教えていただきました。錬成では、主に演技と基本打突を練習しました。私は普段地稽古や試合で、出来ていると思っていても周りから見えてきれいな一本になっていなくて、旗が上がらないことがよくあります。だから「ここが違うからこう直した方がいい」と基本の基本から細かく指摘をもらい、前よりも正しい打突が打てるようになったと思います。今回の錬成で、打ち返しをしている時に前回よりも少しずつスピードを上げていく練習をして、普段よりも構えてから打てたり、打突がはねないように打てたり出来たことが、特に印象に残っています。また、出来た時にすごく褒めていただいて、次へのモチベーションをあげることが出来ました。今回はあまり積極的に聞きに行くことが出来なかったの

で、次また機会があったらどんどん聞きにいきたいと思いました。

□福井県

▽小野田笑海瑠

錬成大会に行くまでは、とても不安でしたそれは、上手に出来なかったらどうしよう、みんなについて行けなかったらどうしようと思っていたからです。

しかし、始まってから分かりました。

先生方は上下振りでの足さばきや、中段の姿勢など細かいところまで基本から丁寧に教えて下さいました。私はずっと八相が苦手でした試合の際はずっと踏み込み技ばかりしていました。でも、先生に教えて頂いたので、二日目の自稽古では八相の技が出来るようになりました。あと、私がいたグループでは防具の実践的な技をいくつも学ぶ事ができました。

いろいろな事を教えて頂き、少しですが自信を持てるようになりました。二日間でしたがそれ以上に感じる程充実していました。来年もこのような機会があったら、是非参加したいです。



福井県（福井市）地方青少年なぎなた錬成大会



銃剣道 指導者研修会・青少年錬成大会 実施報告・参加者感想文

【指導者】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
4	愛媛県(松山市)	愛媛県武道館	5/25(木)～5/26(金)	79	佐藤亨、衛藤敬輔
65	福井県(福井市)	福井県立武道館	11/25(土)～11/26(日)	14	小川功、相野照昭
67	鳥取県(米子市)	鳥取県立武道館	11/25(土)～11/26(日)	22	浦部聖二、好中大哲
74	福島県(福島市)	福島市南体育館	12/26(火)～12/27(水)	70	衛藤敬輔、加藤久幸
計				185	

【青少年】

No	開催地	会場	期間	参加人数	派遣講師
2	長崎県(諫早市)	諫早市中央体育館	5/5(金)～5/7(日)	22	松本栄一郎、渋谷一幸
8	青森県(弘前市)	青森県武道館	7/1(土)～7/2(日)	36	佐藤亨、大野裕美
9	富山県(富山市)	富山県総合体育センター	7/1(土)～7/2(日)	18	松田千真男、北村義宏
15	鳥取県(米子市)	鳥取県立武道館	7/15(土)～7/17(月)	19	井澤継男、松本栄一郎
16	愛媛県(松山市)	愛媛県武道館	7/15(土)～7/17(月)	24	佐藤亨、加藤久幸
28	岐阜県(岐阜市)	岐阜メモリアルセンター	8/19(土)～8/20(日)	17	矢野満、山口輝
39	北海道(美瑛町)	国立大雪青少年交流の家	10/21(土)～10/22(日)	8	中島克直、工藤幸徳
42	和歌山県(和歌山市)	和歌山県立武道館	11/4(土)～11/5(日)	21	津田昌泰、竹田成彦
計				165	



福井県（福井市）地域社会銃剣道指導者研修会

指導者研修会

□福井県

▽林 寛泰

令和5年11月25日から26日の二日間、福井県立武道館において地域社会指導者研修会が開催されました。この研修会が前回行われたのは、コロナの蔓延等もあり久しぶりの事でした。今回中央講師として福井に来てくださった先生は、千葉の小川先生と青森の相野先生の二人。二日前は二十度を超える気温だったにもかかわらず、開催日の二日間の最高気温は十度以下という冬の開催になりました。

地域社会指導者研修会は地域における指導者の育成を目的とした研修会です。私はまだ胸を張っ

て指導者といえるような立場ではありませんが、最近少しずつ小学生や初心者に教えることも増えてきて、銃剣道の教え方をしっかりと学びたいと思ってきていたところでした。

一日目は、小川先生がメインで形と基本動作についての講習でした。今まで形というものの重要性をあまり考えてなかったですが、銃剣道の根本であるということを教わりながらしっかりと学ぶ事ができました。動きの意味や注意すべき点、動きと力の緩急の必要性、どのように動けばいいかということを学べた事が嬉しかったです。

午後からと二日目は相野先生がメインで防具着用での基本動作や応用動作の講習です。ただの突きを教えるにも段階を踏まえて教えることが重要



鳥取県（米子市）地域社会銃剣道指導者研修会

であるということを教えてくださいました。自分の教え方と比較しながら講習を受けることができました。

今回の講習で今後銃剣道を指導していくにあたって大切なことを学べ、私にとっては非常に勉強になりました。本当に参加することができてよかったです。

福井まで来て頂き、実のある講習をして下さった小川先生、相野先生、ありがとうございました。もっと成長できるよう精進します。

▽鳥取県 坂本直弥

今回の地域社会剣道、銃剣道指導者研修会に参加して、基本技、応用技、形など色々な事を細かく丁寧に教えて頂き、また、銃剣道未経験者に指導する時に注意する事、着眼点を教えて頂きすごく勉強になりました。

自分では正しい動作が出来ていると思っていて

も、正しい動作が出来てない箇所があり、今回浦部講師をはじめ、色々な先生方からのご指導で気づく事ができました。

この経験を活かし今後の銃剣道や指導でも、経験者、未経験者を指導する時に、教えて頂いた着眼点をもとに、指導、練習していこうと思います。この2日間はとても良い経験をする事ができました。

ありがとうございました。

青少年錬成大会

□青森県

▽青森山田高等学校 根深頼季

私はこの二日間、青森県武道館でとても充実した稽古をすることができました。

大野裕美先生から礼儀作法の基本を教えていただき、初心を思い出し、しっかり身に着けることが出来ました。午後の稽古では突け前などの応用



青森県（弘前市）地方青少年銃剣道錬成大会

技を稽古しました。私は正しいと思ってやっていたことも、工藤幸徳先生に指摘されたことで、前向きに取り組むことができました。疲れた後の宿泊所のご飯はとても美味しかったです。

この錬成大会では、佐藤亨先生、大野裕美先生、相野照昭先生、工藤幸徳先生からご指導を受けることができました。先生方から指摘されたことは、今の自分に足りないことばかりで大変刺激になり改めて銃剣道と向き合うことができ、とても充実した二日間となりました。先生方、本当にありがとうございました。

□和歌山県（和歌山市）

▽米倉敬視

この度、標記錬成大会がコロナ渦を乗り越え、和歌山県で五年ぶりに盛大に開催されましたこと大変嬉しく思います。

二日間にわたり近畿各府県より銃剣道を志す青

少年が一堂に会し、派遣講師先生の熱心なご指導のもと、充実した実りある錬成大会となりました。また今回、（公社）全日本銃剣道連盟様から、範士九段及び教士八段の二名が派遣講師として来館されることとなり、コロナ渦で制限してきた稽古方法が緩和されて、派遣講師自ら指導方針を示されることで、参加した青少年だけでなく、引率の各指導者が指導方法の再確認ができる良い機会となりましたことを施設として、喜ばしく思います。

開催準備段階から日本武道館振興部様のご指導、ご助言により事務作業等も滞りなく行うことができ、今後もこの経験を生かし、武道連盟様と連携して、さらに内容を充実させた研修会、錬成大会を開催できればと考えます。

今回このような機会を与えて頂いたことに改めて感謝し、本事業の目的である武道の普及、振興と青少年の健全育成のため取り組んでゆきたいと思っています。



地域社会武道指導者研修会・地方青少年武道錬成大会 古武道模範演武



小野派一刀流剣術「高上極意五点」の演武

日本古武道協会では、全国都道府県立武道館協議会の協力を得て、地域社会武道指導者研修会・地方青少年武道錬成大会の会期中に、古武道の演武披露を行っている。これは、指導者や青少年が日本各地に伝わる郷土の文化としての古武道に触れて理解を深め、保存・継承の一助とすること、また、現代武道への更なる啓発を図ることを目的としている。

令和5年度は、愛媛県（松山市）の柔道錬成大会で竹内流柔術腰廻小具足、沖縄県（那覇市）の剣道指導者研修会で柳生新陰流兵法剣術、鳥取県（米子市）の剣道指導者研修会で小野派一刀流剣術がそれぞれ演武を披露し、流派の歴史や技についての説明、技の体験が行われた。

◇愛媛県（松山市）地方青少年柔道錬成大会

期日：令和5年7月28日（金）

会場：愛媛県武道館

演武流派：竹内流柔術腰廻小具足

竹内流柔術腰廻小具足 相伝家代行 竹内秀将

青少年の健全育成と基本技能の習得を目的とした地方青少年柔道錬成大会が7月28・29日に松山市で開催され、初日に竹内流柔術の模範演武を披露しました。

会場となった愛媛県武道館は、基礎に大島石、



竹内流柔術の模範演武



捕縄術を披露



技をわかりやすく解説

構造材に伊予杉、屋根に菊間瓦など、愛媛の県産材をふんだんに使った巨大な建物で、館長のおっしゃっていた「自称、日本三大武道館」のとおり、立派な武道館でした。

大会の参加者は柔道を稽古している高校生が中心でしたが、ほぼ全員が初めて古武道を見えるということであったため、柔道は古武道（柔術）を基



興味をもって体験会に臨む参加者たち

に編み出された競技であることなどを中心に、わかりやすく解説しました。

演武は、柔術（羽手）のほか、小刀（脇差）による組討、太刀や棒などの武器を使った形、相手を生け捕りにする捕縄術も演武したところ、興味をもってもらえたようです。

形の体験では、「負投」という形を稽古しました。「ヤァ!」「エイ!」などの気合、手首を持って逆関節に投げる、投げた後に蹴込みを入れるなど、柔道との違いをしっかりと理解してもらえたと思います。

前日に指導者の方と話をすることがあり、「柔道が国際化し、勝ち負けだけの競技になっている。それも大事だが、それ以上に『礼』や『和』といった柔道の精神を指導していきたい」という言葉が印象的でした。

末筆ながら、本大会を通じ、指導する立場で多くのことを学ぶことができ、このような機会をくださった関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

◇沖縄県（那覇市）地域社会剣道指導者研修会

期日：令和5年10月14日（土）

会場：沖縄県立武道館

演武流派：柳生新陰流兵法剣術

柳生新陰流兵法剣術 第二十二世宗家 柳生耕一厳信

昨年10月14日から2日間にわたって、沖縄県那覇市で日本武道館ならびに全国都道府県立武道館協議会・全日本剣道連盟・沖縄県立武道館との共催により標記研修会が開催されました。冒頭において古武道模範演武として当流の歴史、特徴、技の解説と形の演武披露を行い、体験会では、流祖考案の袋竹刀による合撃を参加者に行っていました。

古武道としての剣術が沖縄県ではあまり知られていないとのことでしたので、今回は古武道剣術をご紹介します良い機会となりました。

当流儀の特徴は、身体操作においては自然の働きに従う「性自然」です。腹と背中を中心点を起点とする「ハセの調子」による「一足一刀」の円相の截りが基本となります。円相は上から物が落ちる力、「嶺谷の力（重力）」です。截相の戦略「転」は相手を誘い働かせてこちらは予測して勝つ「活人剣」です。それには、刀法は早さと力で勝り敵をすくめて勝つ「殺人刀」ではなく、先入観を持たずに置かれた状況を正しく把握する「無形の位」が本体となります。解説の結びに、柳生新陰流の修行も剣道の修行もその目的は、日々、自身の人格の向上に創造的に努めること「昨日の我に今日は勝つべし」であると通底している、と伝えました。

模範演武ではそれらを前提として截相の四つのパターンとなる懸待表裏を表す形を披露しまし



柳生新陰流の歴史と特徴を説明する柳生宗家



形の演武披露



袋竹刀による体験会

た。参加者の皆様には、寸止めをせずに安全に形を稽古できるように450年前に流祖が考案し、今も使用している袋竹刀を実際に握っていただき合撃を体験していただきました。

次世代の若者が剣道の精神を受け継ぎ、綿々と伝えられてきた其の道を共に護ることができることを願っています。

◇鳥取県（米子市）地域社会剣道・銃剣道指導者研修会

期日：令和5年11月25日（土）

会場：鳥取県立武道館

演武流派：小野派一刀流剣術

小野派一刀流剣術 第十八代宗家 矢吹裕二

令和5年度鳥取県（米子市）地域社会武道指導者研修会（国庫補助対象事業）が11月25・26日の2日間、鳥取県米子市の鳥取県立武道館で開催され、剣道76名、銃剣道22名の計98名の研修者の前で、小野派一刀流演武披露および体験を行った。鳥取県は万治年間から「雖井蛙流平法」が伝えられ、文武併進を旨として現代まで受け継がれている地であり、その中で小野派一刀流を披露させていただくことは大変意義深いことであった。

はじめに、当流と剣道の関係は密接で、一刀流五代小野次郎右衛門忠一の門人中西忠蔵が江戸時代中期に直心影流が發明した防具を現代に近い防具に進化させ、約束稽古を作り他流との撃剣交流を盛んにしたと言われることを説明し、演武、体験に入った。演武では「一つ勝」「迎突」「鏑割」

「下段霞」「脇構の付」の5本を披露し、体験を行った。特に1本目「一つ勝」は切落しであり、剣道技法にも共通し、剣道の体験者は初めてではあるが、かなり完成度の高い「切落し」を行っていた。次に2本目「迎突」は勇猛果敢な突きの技であるが、これを銃剣道の研修者に体験してもらった。銃剣道は構え（木銃）が剣道とは異なり、少し戸惑いがある様子であったが、繰り出す突きの鋭さに、武道の共通点を感じ取れた。小太刀、高上極意五点を研修者に感じてもらう機会として大変有意義な時間であった。最後に、終始熱心に取り組んでいただいた研修者、ご尽力くださった鳥取県立武道館、鳥取県剣道連盟の皆様、心から感謝申し上げます。



矢吹宗家（左）による模範演武



小野派一刀流を体験する受講者（右）

4 資 料

中学校武道必修化関連事業一覧（平成20～令和5年度）

本協議会主催事業 地域社会武道指導者研修会

No.	開催地	種目	期間	会場	参加人数	講師
平成20年度（3県・3カ所・153人参加）						
1	宮城県（仙台市）	剣道	11/15(土)～16(日)	宮城県第二総合運動場	52	藤井稔、菅波一元
2	島根県（松江市）	柔道	11/23(日)～24(月)	島根県立武道館	31	三戸範之、小澤雄二
3	秋田県（秋田市）	剣道	12/20(土)～21(日)	秋田県立武道館	70	本村清人、網代忠宏、浅見裕
平成21年度（6県・7カ所・312人参加）						
1	鹿児島県（鹿児島市）	剣道	6/13(土)～14(日)	鹿児島県総合体育センター	48	佐藤義則、軽米満世
2	福井県（福井市）	柔道	8/11(火)～12(水)	福井県立武道館	32	佐藤幸夫、鮫島元成
3	福井県（福井市）	剣道	8/11(火)～12(水)	福井県立武道館	33	脇本三千雄
4	栃木県（宇都宮市）	弓道	8/19(水)～20(木)	栃木県体育館弓道場	31	渕元魏、沖田春義
5	大分県（大分市）	柔道	11/12(木)～13(金)	大分県立総合体育館	44	本村清人、鮫島元成、向井幹博
6	群馬県（前橋市）	柔道	H22/1/6(水)	群馬県総合スポーツセンターぐんま武道館	61	鮫島元成
7	静岡県（藤枝市）	柔道	2/20(土)～21(日)	静岡県武道館	63	本村清人、向井幹博、渡邊冬花
平成22年度（10県・17カ所・840人参加）						
1	静岡県（藤枝市）	なぎなた	6/12(土)～13(日)	静岡県武道館	51	千葉眞弓、今浦千信
2	岩手県（盛岡市）	合気道	7/10(土)～11(日)	岩手県営武道館	54	菅原繁、鈴木孝次郎
3	福井県（福井市）	柔道	8/10(火)～11(水)	福井県立武道館	18	鮫島元成、檜崎教子
4	福井県（福井市）	剣道	8/10(火)～11(水)	福井県立武道館	8	山本重美、高橋秀夫
5	鹿児島県（鹿児島市）	剣道	8/26(木)～27(金)	鹿児島県総合体育センター	49	福本修二、佐藤義則
6	愛知県（名古屋市）	柔道	8/27(金)	愛知県武道館	30	山崎俊輔
7	熊本県（熊本市）	柔道	8/27(金)～28(土)	熊本武道館	48	鮫島元成、檜崎教子
8	岩手県（盛岡市）	弓道	8/28(土)～29(日)	岩手県営武道館	29	川村光良、高橋良子
9	熊本県（熊本市）	剣道	9/11(土)～12(日)	熊本武道館	76	末野栄二、藤田弘美
10	岩手県（盛岡市）	少林寺拳法	10/16(土)～17(日)	岩手県営武道館	98	山内謙三、永安正樹
11	大分県（大分市）	剣道	11/4(木)～5(金)	大分県立総合体育館	39	中田琇士、軽米満世
12	山口県（山口市）	柔道	11/5(金)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	54	鮫島元成
13	愛知県（名古屋市）	柔道	11/19(金)	愛知県武道館	29	山崎俊輔
14	茨城県（水戸市）	柔道	11/27(土)～28(日)	茨城県武道館	49	浅野哲男、腹巻宏一
15	静岡県（藤枝市）	弓道	12/4(土)～5(日)	静岡県武道館	76	渕元魏、高橋良子
16	兵庫県（姫路市）	剣道	H23/1/29(土)～30(日)	兵庫県立武道館	66	佐藤義則、軽米満世
17	兵庫県（姫路市）	なぎなた	1/29(土)	兵庫県立武道館	66	砂川邦子、一川治子
平成23年度（1府12県・15カ所・727人参加）						
1	鳥取県（米子市）	柔道	5/14(土)～15(日)	鳥取県立武道館	59	鮫島元成、檜崎教子
2	茨城県（水戸市）	剣道	5/22(日)	茨城県武道館	30	佐藤義則、有田祐二
3	茨城県（水戸市）	少林寺拳法	6/12(日)	茨城県武道館	45	秋吉好美、乾秀樹
4	福井県（福井市）	柔道	6/30(木)～7/1(金)	福井県立武道館	71	浅野哲男、向井幹博
5	福井県（福井市）	剣道	6/30(木)～7/1(金)	福井県立武道館	29	末平佑二、軽米満世
6	岩手県（盛岡市）	合気道	7/9(土)～10(日)	岩手県営武道館	76	植芝充央、日野皓正
7	大阪府（大阪市）	なぎなた	7/28(木)～29(金)	大阪市中央体育館	46	大野京子、村上礼
8	栃木県（宇都宮市）	弓道	8/17(水)～18(木)	栃木県体育館	50	池田喬二、高橋良子
9	宮城県（仙台市）	剣道	8/19(金)	仙台市立松陵中学校	29	佐藤義則、有田祐二
10	愛知県（名古屋市）	少林寺拳法	10/9(日)～10(月)	愛知県武道館	56	合田雅彦、向田弘之
11	島根県（松江市）	柔道	10/27(木)～28(金)	島根県立武道館	64	尾形敬史、向井幹博
12	鹿児島県（鹿児島市）	少林寺拳法	10/29(土)～30(日)	鹿児島県総合体育センター	65	田原正晴、永安正樹
13	山口県（山口市）	剣道	11/11(金)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	31	小久保昇治、藤田弘美
14	秋田県（秋田市）	合気道	11/26(土)～27(日)	秋田県立武道館	52	金澤威、日野皓正
15	和歌山県（九度山町）	なぎなた	11/26(土)～27(日)	九度山文化スポーツセンター	24	福田啓子、今浦千信

平成24年度 (1府14県・22力所・969人参加)						
1	鳥取県 (米子市)	柔道	5/19(土)～20(日)	鳥取県立武道館	67	浅野哲男、高橋健司
2	静岡県 (藤枝市)	なぎなた	6/9(土)～10(日)	静岡県武道館	57	成田登代子、中緑
3	福井県 (福井市)	柔道	6/28(木)～29(金)	福井県立武道館	18	射手矢岬、腹巻宏一
4	福井県 (福井市)	剣道	6/28(木)～29(金)	福井県立武道館	17	小久保昇治、神崎浩
5	茨城県 (水戸市)	なぎなた	7/28(土)～29(日)	茨城県武道館	45	高田まりこ、佐藤静子
6	兵庫県 (姫路市)	柔道	7/31(火)～8/1(水)	兵庫県立武道館	68	浅野哲男、山崎俊輔
7	兵庫県 (姫路市)	剣道	8/15(水)～16(木)	兵庫県立武道館	24	小久保昇治、藤田弘美
8	栃木県 (宇都宮市)	弓道	8/16(木)～17(金)	栃木県体育館	46	小澤通春、高橋良子
9	岩手県 (奥州市)	弓道	8/25(土)～26(日)	奥州市水沢弓道場	34	加藤出、高橋良子
10	静岡県 (藤枝市)	少林寺拳法	8/25(土)～26(日)	静岡県武道館	59	田原正晴、向田弘之
11	奈良県 (橿原市)	剣道	8/27(月)	奈良県立橿原公苑	43	佐藤義則、山田博子
12	大阪府 (大阪市)	柔道	8/27(月)～28(火)	大阪府立修道館	59	尾形敬史、石川美久、鮫島康太
13	岩手県 (盛岡市)	柔道	10/6(土)～7(日)	岩手県営武道館	100	浅野哲男、山崎俊輔
14	宮城県 (仙台市)	柔道	10/9(火)	宮城県第二総合運動場	57	浅野哲男、山崎俊輔
15	宮城県 (仙台市)	剣道	10/12(金)	宮城県第二総合運動場	16	小久保昇治、佐藤義則
16	鹿児島県 (鹿児島市)	空手道	10/27(土)～28(日)	鹿児島県総合体育センター	45	金澤実、日下修次
17	山口県 (山口市)	柔道	11/1(木)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	32	浅野哲男、向井幹博
18	福岡県 (福岡市)	柔道	11/8(木)～9(金)	福岡県立スポーツ科学情報センター	30	鮫島元成、山本浩貴
19	福岡県 (福岡市)	剣道	11/8(木)～9(金)	福岡県立スポーツ科学情報センター	21	佐藤義則、軽米満世
20	茨城県 (水戸市)	空手道	11/25(日)	茨城県武道館	53	柳田俊介、日下修次
21	富山県 (富山市)	合気道	12/1(土)～2(日)	県営富山武道館	59	菅原繁、徳田雅也
22	香川県 (高松市)	なぎなた	12/8(土)～9(日)	香川県立武道館	19	高田まりこ、芦川寿美
平成25年度 (9県・12力所・472人参加)						
1	福島県 (会津若松市)	なぎなた	5/11(土)～12(日)	ふれあい体育館	65	小林静子、小倉洋子
2	鳥取県 (鳥取市)	柔道	5/25(土)～26(日)	鳥取市武道館	43	鮫島元成、坂本道人
3	茨城県 (水戸市)	少林寺拳法	7/13(土)～14(日)	茨城県武道館	59	藤本義政、中島正樹
4	兵庫県 (姫路市)	柔道	7/30(火)～31(水)	兵庫県立武道館	46	山崎俊輔、浅野哲男
5	茨城県 (水戸市)	剣道	8/3(土)	茨城県武道館	49	花澤博夫、軽米満世
6	兵庫県 (姫路市)	剣道	8/14(水)～15(木)	兵庫県立武道館	15	宮原昇治、山田博子
7	栃木県 (宇都宮市)	弓道	8/17(土)～18(日)	栃木県体育館	47	小澤通春、張替謙一
8	宮城県 (仙台市)	柔道	8/20(火)	宮城県第二総合運動場	11	尾形敬史、石川美久
9	宮城県 (仙台市)	剣道	8/22(木)	宮城県第二総合運動場	11	井上孝、藤田弘美
10	佐賀県 (小城市)	少林寺拳法	10/19(土)～20(日)	三日月体育館	61	大野木憲三、合田雅彦
11	山口県 (山口市)	柔道	11/7(木)～8(金)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	35	鮫島元成、腹巻宏一
12	愛知県 (名古屋市)	なぎなた	12/21(土)～22(日)	愛知県武道館	30	福田啓子、松井亮子
平成26年度 (8県・11力所・463人参加)						
1	鳥取県 (米子市)	柔道	5/24(土)～25(日)	鳥取県立武道館	51	平野弘幸、腹巻宏一
2	静岡県 (藤枝市)	なぎなた	6/21(土)～22(日)	静岡県武道館	42	榎戸二三枝、今浦千信
3	鹿児島県 (鹿児島市)	なぎなた	7/5(土)～6(日)	鹿児島県総合体育センター	28	大野京子、小嶋弘美
4	茨城県 (水戸市)	剣道	8/2(土)	茨城県武道館	37	吉崎勝、長谷川弘一
5	兵庫県 (姫路市)	剣道	8/13(水)～14(木)	兵庫県立武道館	22	上垣功、神崎浩
6	兵庫県 (姫路市)	柔道	8/26(火)～27(水)	兵庫県立武道館	10	山崎俊輔、浅野哲男
7	宮崎県 (宮崎市)	柔道	9/27(土)～28(日)	宮崎県武道館	39	鮫島元成、小志田憲一
8	鹿児島県 (鹿児島市)	弓道	10/4(土)～5(日)	鹿児島県アリーナ	58	柴田猛、田中恵美子
9	山口県 (山口市)	柔道	11/6(木)～7(金)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	26	鮫島元成、石川美久
10	山口県 (山口市)	剣道	11/6(木)～7(金)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	25	藤原崇郎、牧瀬憲保
11	埼玉県 (上尾市)	少林寺拳法	11/15(土)～16(日)	埼玉県立武道館	125	松井邦彦、中島正樹

平成27年度 (4県・7カ所・221人参加)						
1	兵庫県 (姫路市)	柔道	8/4(火)～5(水)	兵庫県立武道館	35	山崎俊輔、田中裕之
2	兵庫県 (姫路市)	剣道	8/12(水)～13(木)	兵庫県立武道館	11	百鬼史訓、軽米満世
3	栃木県 (宇都宮市)	弓道	8/17(月)～18(火)	栃木県体育館 弓道場	36	久保田清、桑田秀子
4	山口県 (山口市)	柔道	11/5(木)～6(金)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	17	浅野哲男、腹巻弘一
5	山口県 (山口市)	剣道	11/5(木)～6(金)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	13	末平佑二、吉村哲夫
6	鳥取県 (鳥取市)	柔道	11/7(土)～8(日)	鳥取市武道館	62	鮫島元成、中西美智子
7	兵庫県 (姫路市)	少林寺拳法	H28/1/30(土)～31(日)	兵庫県立武道館	47	合田雅彦、川島一浩
平成28年度 (6県・9カ所・284人参加)						
1	鹿児島県 (鹿児島市)	少林寺拳法	5/28(土)～29(日)	鹿児島県総合体育センター	51	松井邦彦、合田雅彦
2	山口県 (山口市)	柔道	6/16(木)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	17	鮫島元成、磯村元信
3	山口県 (山口市)	剣道	6/16(木)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	21	百鬼史訓、軽米満世
4	静岡県 (藤枝市)	なぎなた	7/16(土)～17(日)	静岡県武道館	44	佐藤静子、安井みどり
5	兵庫県 (高砂市)	柔道	8/2(火)～4(木)	高砂市総合体育館	19	山崎俊輔、鮫島康太
6	栃木県 (宇都宮市)	弓道	8/17(水)～18(木)	栃木県体育館 弓道場	38	中塚祥一郎、戸羽久之
7	兵庫県 (高砂市)	剣道	8/17(水)～19(金)	高砂市総合体育館	13	山根大二郎、山田博子
8	鳥取県 (米子市)	柔道	11/5(土)～6(日)	鳥取県立武道館	65	鮫島元成、中西美智子
9	鹿児島県 (枕崎市)	なぎなた	12/17(土)～18(日)	鹿児島県立枕崎高等学校体育館・総合学館	16	角薫、今浦千信
平成29年度 (3県・6カ所・144人参加)						
1	山口県 (山口市)	柔道	6/15(木)～16(金)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	25	磯村元信、石川美久
2	山口県 (山口市)	剣道	6/15(木)～16(金)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	20	百鬼史訓、軽米満世
3	兵庫県 (西宮市)	柔道	8/2(水)～4(金)	兵庫県立総合体育館	15	山崎俊輔、鮫島康太
4	兵庫県 (尼崎市)	剣道	8/15(火)～17(木)	尼崎市バイコム総合体育館	9	藤原崇郎、山根大二郎
5	鹿児島県 (鹿児島市)	空手道	H30/1/20(土)～21(日)	鹿児島アリーナ	28	日下修次、小山正辰
6	兵庫県 (姫路市)	なぎなた	2/17(土)～18(日)	兵庫県立武道館	47	中村ゆり子、今浦千信
平成30年度 (4県・6カ所・185人参加)						
1	山口県 (山口市)	柔道	6/13(水)～14(木)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	15	鮫島元成、磯村元信
2	山口県 (山口市)	剣道	6/13(水)～14(木)	維新百年記念公園スポーツ文化センター	33	目黒大作、花澤博夫
3	鹿児島県 (鹿児島市)	弓道	6/23(土)～24(日)	鹿児島県総合体育センター	64	久保田清、桑田秀子
4	兵庫県 (姫路市)	柔道	8/1(水)～3(金)	兵庫県立武道館	22	磯村元信、鮫島康太
5	広島県 (広島市)	なぎなた	8/11(土)～12(日)	広島県立総合体育館	35	泉水孝子、今浦千信
6	兵庫県 (姫路市)	剣道	8/15(水)～17(金)	兵庫県立武道館	16	水田重則、渡邊香
令和元年度 (4県・6カ所・134人参加)						
1	山口県 (山口市)	柔道	6/4(火)～5(水)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ	15	田中裕之、遊佐英徳
2	山口県 (山口市)	剣道	6/4(火)～5(水)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ	23	水田重則、軽米満世
3	兵庫県 (姫路市)	柔道	7/31(水)～8/2(金)	ウインク武道館 (兵庫県立武道館)	18	熊野真司、與儀幸朝
4	兵庫県 (姫路市)	剣道	8/7(水)～8/9(金)	ウインク武道館 (兵庫県立武道館)	4	山根大二郎、吉村哲夫
5	福島県 (福島市)	少林寺拳法	10/5(土)～6(日)	福島県トラック協会レクリエーション施設	36	中島正樹、高坂正治
6	鹿児島県 (鹿児島市)	少林寺拳法	11/16(土)～17(日)	鹿児島県総合体育センター	38	中島正樹、高坂正治
令和2年度						
※5県・7カ所で開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、全事業が中止。						
令和3年度 (3県・3カ所・67人参加)						
1	静岡県 (藤枝市)	なぎなた	7/10(土)～11(日)	静岡県武道館	27	鳥名きよみ、濱岡紀久子
2	兵庫県 (姫路市)	柔道	8/3(火)～4(水)	兵庫県立武道館	11	磯村元信、向井幹博
3	岩手県 (盛岡市)	空手道	R4/1/22(土)～23(日)	岩手県営武道館	29	日下修次、松原 光
※6県・8カ所で開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、5カ所が中止。						
令和4年度 (5県・6カ所・169人参加)						
1	山口県 (山口市)	柔道	5/18(水)～19(木)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	12	高橋進、田中裕之
2	山口県 (山口市)	剣道	5/18(水)～19(木)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	18	大城戸功、佐藤誠
3	静岡県 (藤枝市)	少林寺拳法	9/10(土)～11(日)	静岡県武道館	78	新井庸弘、倉本亘康

4	福島県（福島市）	少林寺拳法	9/24(土)～25(日)	福島県トラック協会レクリエーション施設	9	高坂正治、小井寿史
5	広島県（広島市）	なぎなた	10/29(土)～30(日)	広島県立総合体育館	36	今浦千信、廣岡奈緒美
6	鹿児島県（南九州市）	なぎなた	12/17(土)～18(日)	南九州市知覧体育館	16	今浦千信、吉井和代
令和5年度（3県・5カ所・181人参加）						
1	山口県（山口市）	柔道	5/17(水)～18(木)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	15	木村昌彦、田中裕之
2	山口県（山口市）	剣道	5/17(水)～18(木)	維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館	18	水田重則、小山正洋
3	静岡県（藤枝市）	なぎなた	7/1(土)～2(日)	静岡県武道館	36	与語美恵、松井亮子
4	静岡県（藤枝市）	少林寺拳法	9/23(土)～24(日)	静岡県武道館	90	高坂正治、谷聡士
5	福島県（福島市）	少林寺拳法	10/14(土)～15(日)	福島県トラック協会レクリエーション施設	22	小井寿史、安田智幸

地方青少年武道錬成大会 地域社会武道指導者研修会

実施状況一覧

○右表は、本協議会設立から令和4年度まで、加盟館における標記2事業の実施状況をまとめたものです。

○館名は表作成時最新のものを記載していますので、実施時には別名称であったり、別の施設が加盟していた場合があります。

○表題「指導者」は地域社会武道指導者研修会、「青少年」は地方青少年武道錬成大会を指し、欄内の表記は武道名の略記です。

○年度内、同一武道を市町村などで複数度実施しても1度として扱っていますので、当該年度の実施数と必ずしも一致しません。

○武道名の後に「(講)」とあるのは講演会の併催を指します。

No.	都道府県名	年 度 事業種別	館 名	昭和56	昭57 (試行的に実施)		昭58 (試行的に実施)	
					青少年	指導者	青少年	指導者
1	北海道		北海道立総合体育センター					
2	青 森		青森県武道館					
3	岩 手		岩手県営武道館					
4	宮 城		宮城県第二総合運動場					
5	秋 田		秋田県立武道館					
6	山 形		山形県武道館					
7	福 島		福島県営あづま総合体育館					
8	茨 城		茨城県武道館					
9	栃 木		栃木県総合運動公園武道館(ユウケイ武道館)					
10	群 馬		群馬県総合スポーツセンター ALSOKぐんま武道館					
11	埼 玉		埼玉県立武道館					
12	〃		さいたま市大宮武道館					
13	千 葉		千葉県総合スポーツセンター武道館					
14	東 京		東京武道館					
15	神奈川		シンコースポーツ神奈川県立武道館					
16	〃		横浜武道館					
17	〃		川崎市石川記念武道館					
18	山 梨		山梨県小瀬スポーツ公園武道館					
19	新 潟		謙信公武道館(新潟県立武道館)					
20	富 山		県営富山武道館					
21	〃		県営高岡武道館					
22	石 川		石川県立武道館					
23	福 井		福井県立武道館					
24	長 野		長野県立武道館					
25	岐 阜		岐阜メモリアルセンター					
26	静 岡		静岡県武道館					
27	愛 知		愛知県武道館					
28	三 重		三重武道館					
29	滋 賀		滋賀県立体育館・武道館管理センター					
30	京 都		京都市武道センター(旧武徳殿)					
31	大 阪		大阪市立修道館					
32	兵 庫		兵庫県立武道館					
33	奈 良		奈良県立橿原公苑					
34	和歌山		和歌山県立武道館					
35	鳥 取		鳥取県立武道館					
36	鳥 根		鳥根県立武道館					
37	岡 山		岡山武道館					
38	広 島		広島県立総合体育館					
39	山 口		維新百年記念公園維新大晃アリーナ武道館					
40	徳 島		徳島県立中央武道館					
41	香 川		香川県立武道館					
42	〃		香川県立丸亀武道館					
43	愛 媛		愛媛県武道館					
44	高 知		高知県立武道館					
45	福 岡		福岡県スポーツ科学情報センターアクション福岡					
46	長 崎		長崎県立武道館					
47	佐 賀		SAGAサンライズパークSAGAプラザ(総合体育館)					
48	熊 本		熊本武道館					
49	大 分		昭和電工武道スポーツセンター(大分県立武道スポーツセンター)					
50	宮 崎		ひなた武道館(宮崎県武道館)				剣	
51	鹿児島		鹿児島県総合体育センター					
52	沖 縄		沖縄県立武道館					

全国公立武道館協議会から全国都道府県立武道館協議会へ改組される。

昭59		昭60		昭61		昭62		昭63	
青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者
剣			剣	柔				剣	剣
柔 剣		柔剣弓な	柔 剣	剣 弓 な	柔 剣	剣空	柔剣	柔剣	
				柔		な		弓	
						柔	柔	柔な	柔な
						弓			
								剣	
柔 剣 弓		柔 剣 弓	柔 剣 弓	柔 剣 弓	な	柔剣弓な	な	柔剣弓な	柔剣弓
				柔 剣				柔	
		弓		弓		な		な	
		柔剣合な				な		な	
		柔		柔		柔		柔な	
	剣	な	柔		剣		柔		剣
								剣	
柔 剣		柔 剣	柔	柔 剣	柔	柔剣	柔	柔剣	柔
		な		柔		剣			
				な					
						な			
				な	柔 剣				剣
柔 剣	剣 弓	柔 剣	な	柔 剣 少	剣 空	柔剣弓	柔剣弓	柔剣空少	な銃
						剣		柔弓空	

都道府県名	平成 元		平2		平3		平4		平5	
	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者
北海道			銃	弓		弓銃	銃	弓		弓銃
青 森										
岩 手					剣		柔弓		柔剣弓	
宮 城	柔剣		柔剣相空		柔剣		柔剣	剣空	柔剣弓	弓
秋 田	剣		柔弓		な		空		弓	
山 形	柔な	柔な	柔な	柔な					少	
福 島										
茨 城										
栃 木				弓						
群 馬										
埼 玉										
〃										
千 葉										
東 京										
神奈川			合							
〃										
〃										
山 梨										
新 潟										
富 山										
〃										
石 川	柔剣弓な	な	柔剣弓な	剣弓	柔剣弓な		柔剣弓な	弓	柔剣弓な	剣弓
福 井										
長 野										
岐 阜									弓	弓
静 岡										
愛 知										
三 重	剣		空		弓		な		柔	
滋 賀										
京 都										
大 阪										
兵 庫										
奈 良			弓						弓	
和歌山					な					
鳥 取									な	
島 根	弓な		柔な		な	弓	な	弓		弓な
岡 山		柔	柔	剣	柔	剣	柔	剣	剣	
広 島	な		空		柔相		剣			弓
山 口	柔剣	柔	柔剣弓	柔	柔剣弓	柔	柔剣弓	柔弓	柔剣弓	柔弓
徳 島										
香 川										
〃										
愛 媛										
高 知							空			
福 岡										
長 崎										
佐 賀										
熊 本	柔		柔剣	な	剣銃		柔剣		柔剣	
大 分										
宮 崎	剣空	柔剣弓空	剣空少	剣弓	剣空	空な	柔	空	柔	剣弓な
鹿児島	剣な		柔		柔	弓	柔剣相	弓	柔弓	剣
沖 縄										

平6		平7		平8		平9		平10	
青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者
銃	弓		銃	銃			弓銃	銃	弓
柔剣弓	弓	柔剣弓		柔剣弓	弓	柔剣弓	弓	柔剣弓	弓
柔剣弓	弓	柔剣弓	弓な	剣相合少	弓な	柔な	剣弓	柔剣な	弓
	柔な	な	空	柔	剣	空	な	な	柔
少		少		空		空	空	剣	剣(講)
					な				
柔剣弓な	柔弓	柔剣弓な	弓な	柔剣弓な	弓	柔剣弓な	弓相な	柔剣弓な	弓空
							な	剣	
弓な	弓な	な	弓	弓	な	な	弓	弓	な
			柔	柔剣	な弓	柔剣弓な	柔剣	柔剣弓な	柔(講) 剣
剣		空		弓		な		柔	
少		柔	剣	剣	弓		柔剣	柔弓	
柔剣		空		な		合		相な	
な		柔		柔		柔		剣	
	弓な		弓な		相弓な		弓相な		相(講)弓な
な		弓			剣		な		弓
	弓		少	な	な	柔			弓
柔剣弓	剣弓	柔剣弓	柔剣	柔剣弓	柔弓	柔剣弓	剣弓	柔剣弓	柔剣
		柔	柔						
						弓	弓		
							弓		弓
	柔		空な	柔	少		弓	剣	な
柔剣	弓	剣弓少	弓	剣弓少	柔	剣な	柔弓	剣少な	柔
剣弓	弓	柔剣	弓	柔剣弓	空	剣	剣	柔剣	弓
		な		な		柔剣弓な	柔な	柔剣な	弓な

都道府県名	平11		平12		平13		平14		平15		平16	
	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者
北海道		銃弓	銃	弓	銃		銃	弓な	銃	弓空	な銃	弓な
青 森					剣	弓な		柔剣少な	柔剣な	弓な	柔剣弓	弓な
岩 手	剣な合	弓	柔弓な	弓	柔剣な	弓	柔合な	弓	柔弓空合な	弓	剣空な	合
宮 城	柔剣な	柔弓な	な銃	弓な	合少銃	剣弓な	な銃	剣弓な	柔弓な	剣弓な	弓な	剣弓空合
秋 田	剣	柔	空	銃	な	弓	な	空	空	空	銃	柔
山 形	剣	剣	柔な	柔な	柔な	柔な	柔少		柔少		柔空	
福 島							(加盟)		な銃	少	な	弓
茨 城	な		柔な		柔な		柔	空	弓	空	弓	弓空
栃 木												
群 馬										弓		弓
埼 玉												
〃												
千 葉							な	弓な	な	弓合	弓な	合
東 京										柔		柔
神奈川					銃		銃		な銃		な銃	
〃												
〃												
山 梨			弓銃	剣			弓	剣		剣		剣
新 潟												
富 山			な銃	な	な	な			な	な	な銃	剣
〃												
石 川	柔剣弓な	柔弓少	柔剣弓な	弓な	剣弓空な	弓相	柔剣弓な	柔弓	柔剣な銃	弓	柔剣な	弓少
福 井	柔			弓	銃	弓相	柔剣銃	弓	柔剣	弓な	柔剣	弓な
長 野												
岐 阜	な	弓		弓な	弓	な	銃	弓な	弓	な		弓な
静 岡							(加盟)		な	な	柔	弓
愛 知	柔剣弓	柔剣弓な	柔剣弓銃	柔剣な	柔剣弓な	柔弓	剣弓	柔剣な	弓銃	弓空な	な	弓
三 重	剣		空		弓銃		な		柔		剣銃	
滋 賀	剣	弓	柔	剣	少	少	銃	な	弓		剣	柔
京 都												
大 阪												
兵 庫			銃		銃				銃	少		
奈 良												
和歌山	相合		剣合		柔合		少な	剣	合	剣少	銃	剣合
鳥 取	剣		剣弓	柔	空	な	弓空	弓な	柔空	剣弓	柔剣	弓少
島 根	柔	弓	柔	弓相な	柔	弓相な	柔弓	弓な	柔弓	弓相な	柔弓	柔弓な
岡 山		柔		剣		な		空		弓		
広 島		少	銃	弓	な銃	弓	相銃	剣相	銃	剣	銃	
山 口	柔剣弓	柔弓	柔剣弓	柔剣弓	柔剣弓	柔剣弓	柔剣弓	柔剣弓	柔剣弓	柔剣弓	柔剣弓	剣弓な
徳 島		弓										
香 川							空		弓		な	
〃					な							
愛 媛	柔弓		柔	弓	柔弓	弓	柔弓	弓	柔弓	剣	柔	
高 知		弓		弓		弓				弓		弓
福 岡												
長 崎		弓		弓空	弓	弓空	銃	空				
佐 賀												
熊 本	少	剣	銃	剣	柔		剣			空	な	
大 分									(加盟)		銃	剣
宮 崎	柔剣な	柔弓	な	空な	柔少銃	剣弓な		弓空な	空少	な	な	弓空
鹿児島	剣	空	剣弓な	剣	柔剣	弓	剣弓	空	柔剣弓相銃	剣	柔剣弓空	弓
沖 縄	柔弓相な	な	柔空な	空な	柔剣弓な	空な	柔剣弓な	空な	柔剣弓な	空な	な	相空

平17		平18		平19		平20		平21		平22	
青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者
銃	弓少	銃	弓	な銃	弓	な銃	弓少	銃	弓少	剣銃	弓
柔剣弓空	弓な	柔剣弓	弓な	柔剣弓	弓な	柔剣弓	弓少な	柔剣弓	弓少な	柔剣弓	弓少な
剣相な	柔弓	剣相空な	弓合	柔剣な	柔剣	剣相な	弓少	柔相少な	弓	相空な	弓合少
柔弓な	剣な	柔弓な	剣	少な	剣な	な	剣な	な	剣合な	弓な	剣少な
弓な銃	少	銃	剣	空銃	空	少な銃	剣弓	剣銃	弓	銃	弓
柔空		柔合		合		合		柔		柔	
な	な少	少な	少な	少な	弓な	剣少な	弓な	少な	弓少な	な	弓少な
柔な		柔	な		弓空	弓空		少	剣	剣	柔少
									弓		弓合
	弓								柔		
銃		銃		な銃			な		な		少な
な	弓	な	合	な	合	な			合		合
な	空	な	空	な	少	少な	少	な	合	な	合
な	な	な	な	な	な	な銃	な	な銃	な	な銃	な
	柔剣弓		剣弓		柔剣弓		剣弓		剣弓		剣弓
剣	な	剣	な	剣	な	剣銃	な	剣	な		剣な
柔剣な	剣弓	柔剣な	剣弓	柔剣銃	弓少	柔剣な	弓	柔剣な銃	弓少	柔剣な	弓少
柔銃	弓な	柔銃	弓相な	剣	弓な	柔剣	弓な	柔剣	柔剣弓な	剣銃	柔剣弓な
弓	な	な	弓少	弓銃	な	な	弓	弓	な	な	弓
な	な	剣銃	弓	な	剣	銃	弓な	弓	柔少	弓	弓な
な銃	弓	柔	剣弓	剣	弓空な		剣弓空	剣な銃	弓空	少	柔剣弓空
空			な		弓	柔			剣	銃	空
空銃	弓	柔剣	剣	弓	少	柔銃	弓	剣	弓	弓	柔
							な				
		銃						銃	空		剣な
		な		な	少	な	少	な	少		少な
合	剣	柔	柔剣	合銃			合少	合少		銃	
柔少	弓少	柔相	柔弓	相	柔弓な	柔相	弓	相銃	柔弓	銃	柔弓
柔弓	柔弓相	柔弓	柔弓	柔弓	柔弓相	柔弓	柔弓	柔弓	柔弓相な	柔弓	剣弓な
			な	剣弓	弓	剣弓	弓	剣弓	弓	剣弓	弓
な	剣		剣合		剣合		剣合		剣弓合		剣弓合
柔剣弓	柔剣弓	柔剣弓	剣弓な	柔剣弓	柔弓な	柔剣弓	剣空	柔剣弓	弓空少	柔剣弓	柔少
					弓						弓
弓							弓				弓な
				(退会)							
柔銃		柔銃		柔銃	弓	柔銃	弓	銃	弓	柔銃	弓
	弓		弓		弓		弓		弓		弓
				(加盟)						銃	
				銃	空				空		
				(加盟)			弓				
銃			柔剣	剣	少	銃	な	弓	空		柔剣
な	空	空	柔	な	空	な	空	な	柔		剣
空	剣空な	銃	柔剣空な	剣	弓空な	剣な	弓空な	な	剣弓な	少な	柔剣空
柔空合な		柔剣	弓な	剣空	剣空	剣弓少	弓少	剣銃	剣少	柔剣相空	剣弓
柔剣相な	空な	柔剣相な	空な	柔剣相な	空少	柔剣な		柔剣な	空少	柔剣な	少

都道府県名	平23		平24		平25		平26		平27		平28	
	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者
北海道	空銃	弓	空銃	弓少	空銃	弓少	空銃	弓少	空銃	弓少	空銃	弓少
青 森	柔剣	少な	柔剣弓	弓空な	柔剣な	弓空少	柔剣弓	弓空な	弓な	弓空な	柔剣な	弓空な
岩 手	相少な	合	剣な	柔弓合少	相少な	弓	柔相な	合少	弓相少な	合	剣弓相な	合少
宮 城		剣少な	な	柔剣な	な	柔剣合少な	な	剣合少な	合な	剣弓合少な	な	剣弓合少な
秋 田	銃	剣弓合	銃	弓合	銃	弓	銃	弓少	銃	弓	少銃	弓
山 形	柔な		な		柔な		柔な		剣な		な	
福 島		弓	少な	弓相な	な	弓相少な	な	弓少な	な	弓少な	な	弓少な
茨 城	柔な	剣少		柔空な	弓	剣空少	空	剣弓	少	剣空	空	剣少
栃 木		弓合		弓合		弓少		合少		弓合	な	弓少
群 馬	柔	弓		弓な	な	弓な	な	弓な	な	弓少な	な	弓少な
埼 玉	な	弓		弓少な	な	弓少	な	弓少	少	弓な	弓	少な
〃												
千 葉		合な	な	合		合な		合	な	合		合
東 京	な	合		合	な	合	な	合	な	合	な	弓合
神奈川	な銃	な	な銃	な	な銃	な	な銃	な	な銃	な	な銃	な
〃												
〃												
山 梨		剣弓		剣弓		剣弓少	弓	剣少		剣弓少	弓	剣少
新 潟												
富 山	剣	な	剣	合	剣	合な	剣銃	合	剣	合	剣	合
〃		合		な								
石 川	柔剣な	弓少	柔剣な銃	弓	柔剣な	弓少	柔剣少な	弓空	柔剣少な銃	弓な	柔剣な	弓
福 井	剣銃	柔剣弓	剣	柔剣弓合	柔銃	弓な	柔	弓な	剣な	柔弓	弓銃	剣な
長 野												
岐 阜	弓銃	な	な	弓	弓	な	な	弓	弓銃	な	な	弓少
静 岡		少		少な		合少	銃	少な	相	合少な	相	弓少な
愛 知	柔	弓空少	少な	剣弓空	少銃	弓空な		剣弓空少	少	弓空		剣弓空少
三 重	な		弓銃		剣			剣	な			弓
滋 賀	銃	剣	空	弓	剣	柔	銃	剣		弓合	柔剣	少
京 都				剣								
大 阪		な		柔弓		弓		弓		弓		弓
兵 庫		合	銃	柔剣		柔剣合少		柔剣合少	銃	柔剣合少	少	柔剣合
奈 良	な	少	な	剣少	な	少	な	少	な	少	な	少
和歌山	合少な	な	剣な	少合	合銃		剣	合	合		銃	合
鳥 取	相銃	柔弓	相銃	柔弓	相銃	柔弓	相銃	柔弓	相銃	柔	相銃	柔弓
島 根	柔剣弓	柔弓相	柔弓	剣弓	柔剣弓	弓相	柔弓	柔剣弓	柔剣弓	柔弓相な	柔弓	弓な
岡 山	剣弓	柔剣弓	剣弓	剣弓	剣弓	柔剣弓	剣弓	柔剣弓	剣弓	柔弓	剣弓	柔弓
広 島		剣弓合		剣弓合		剣弓合		剣弓合空	剣弓空合			剣弓空合
山 口	柔剣弓	剣合	柔剣弓	柔弓合	柔剣弓	柔な	柔剣弓	柔剣な	柔剣弓	柔剣弓相	柔剣弓	柔剣相
徳 島				弓			弓	弓	弓			
香 川	弓			合な	弓	合	な	弓	弓	合	な	合
〃												
愛 媛	柔銃	弓	柔銃	弓	柔銃	弓	柔銃	弓	柔銃	弓合	銃	弓合
高 知		弓		弓		弓少		弓				
福 岡			な	柔剣少	な					少	銃	少
長 崎	銃	空										
佐 賀						少		少				
熊 本		少銃	な	合	少	空		柔		合少		弓
大 分		弓空少	な	弓空少	な	弓空少	な	弓空少	な	弓空少		弓空
宮 崎	な	弓空少	弓な	弓空	銃	空少な	少な	柔弓	弓	空少	弓空	少
鹿児島	柔剣弓空合	少	柔剣相少な	空	柔剣弓な	柔	柔剣相銃	弓な	柔相空な	弓	剣相空な	少な
沖 縄	柔剣な	空少	柔剣な	空少	柔剣な	少	柔剣な少		柔剣少な		柔剣少な	

平29		平30		令和 元		令2		令3		令4	
青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者	青少年	指導者
空銃	弓少	弓銃	弓少	弓空銃	弓少			空	少	空	少弓
柔剣弓な	弓空な	柔剣弓な	弓空な	柔弓な	弓空			柔な銃		銃な柔剣	空弓
弓な	弓少	剣弓な	弓合少	弓な	弓少			弓	空	な弓	弓少
な銃	剣弓合少	な	剣弓合少な	な	剣弓合少な			な	合	な	合弓
少	弓		弓合少	剣	弓	剣	合少	剣		少	弓
な		柔		な銃						剣	
な	弓少な	な	弓少な銃	な	弓少な銃				弓銃	な	少銃
柔な	剣	柔	剣少な	弓な	剣空				少		少剣
な	合少	な	弓合	な	弓少				弓	な	少合弓銃
な	弓少な	な	弓な	な	弓少な			な		な	弓少な
な	弓合	合	弓少な	空な	弓少			空	弓合少	空	弓合な
				(加盟)							
	な	な	合		合な					な	合
な	合	な	合	な					合	な	合
な銃	な	な銃	な	な銃	な銃				銃	銃な	な
								(加盟)			
	剣弓相少	弓相	剣少	相	剣弓少				弓少		弓少
				柔(加盟)							
剣銃	合	剣	合	剣銃	合	剣	合		合	剣	合
柔剣な	弓	柔剣な銃	弓	柔剣な	弓少						弓
柔剣	弓空		弓少な	少	柔弓			柔	弓	剣銃	少な
								な	少	な	少
弓	な	な	弓	弓銃	な			な		剣相	な少銃弓
剣相	弓合少な	相	弓な	剣相	弓合少な			相	弓な銃		弓
	弓空合		剣弓空合少		弓空合					剣少	弓空合
剣		柔	少	な	空					な	空
少	剣弓	柔銃	合少	柔				少		銃	少
	弓		弓		弓				弓		弓
銃	柔剣合な		柔剣合少		柔剣合				柔少		合少
	少		少		合少						少な
柔合		柔	合少	合銃							合
相銃	柔弓銃	相銃	弓銃	相銃	弓銃			相	弓銃	相銃	弓銃
柔弓	柔弓相	柔弓	弓	柔弓な	柔剣弓相			弓	柔弓相		弓
剣弓	柔弓	剣	柔弓	剣弓	柔弓						
	剣弓空合		剣弓空合な		剣弓空合				弓		合少な弓空剣
柔剣弓	柔剣空少	柔剣弓	柔剣弓空少	柔剣弓	柔剣合な						柔剣剣少
		弓	空						空		空
	弓合	弓な			弓合						弓な
銃	弓合		弓合	柔銃	弓合	銃		銃	弓	銃	合弓
	弓		弓		弓						弓
	少	な	少		弓少				少	な	弓少
	少		少		少						少
		銃									
銃			空	な	柔						少
	弓空少		弓空少		弓空少				弓		少弓空
柔な	弓空	剣少	空	相空	な			空銃		な	少空
弓少な	空	柔剣	弓な	弓相な	少			相な		空銃	剣な
柔剣少な		柔剣な	剣少	柔剣な	少		少			柔	少

都道府県名	令5	
	青少年	指導者
北海道	空銃	弓少
青 森	弓な銃	空
岩 手	弓な	弓少
宮 城	な	剣弓合少な
秋 田	剣	弓合少
山 形	柔	
福 島	な	弓少銃
茨 城	柔な	剣少
栃 木	な	弓合少
群 馬	な	弓少な
埼 玉	な	空合少
〃		弓
千 葉		合な
東 京	な	合
神奈川		
〃		
〃		
山 梨	弓	少
新 潟	剣	少
富 山	剣銃	合
〃		
石 川	柔剣な	弓
福 井	少な	柔銃
長 野	な	弓少
岐 阜		弓合少な
静 岡	な銃	弓
愛 知		弓空合少
三 重		弓合
滋 賀		
京 都		
大 阪		弓
兵 庫		合少
奈 良		少
和歌山	合銃	
鳥 取	相銃	柔剣弓銃
島 根	剣弓な	柔弓相
岡 山		柔弓
広 島		弓合少
山 口		柔剣弓空
徳 島		弓空
香 川	弓	
〃		
愛 媛	柔銃	弓合銃
高 知		弓
福 岡	な	弓少
長 崎	銃	少
佐 賀		
熊 本		合
大 分		弓空少
宮 崎	空少	弓
鹿児島	剣な	弓
沖 縄	柔剣な	剣少

全国都道府県立武道館協議会年表

年	事業関係	加盟関係（施設名は加盟当時）
昭和49年	（全国に公立武道館建設の機運が高まり、その協力体制を望む声も次第に強くなる）	
昭和50年		
昭和51年		
昭和52年	（設立準備のため地方武道館と連絡調整の事務を進める）	
昭和53年	○7月3日、全国公立武道館協議会設立のため、各県代表者からなる発起人委員会を設置、設立準備委員会を再三にわたり開催、協議会規約案、設立趣意書について審議。	
昭和54年	○7月27日、全国公立武道館協議会発足。会長は加藤武徳。	
昭和55年		
昭和56年	○3月21日～23日、秋田県の全県なぎなた競技錬成大会兼なぎなた教室に2人の講師を派遣（手当、旅費交通費を負担）。 ○5月27日、加盟を都道府県単位の施設に統一し、 全国都道府県立武道館協議会 として改組。会長は松前重義。 加盟は日本武道館を含め19館（10月には23館）。	北海道立札幌中島体育センター、宮城県第二総合運動場、秋田県立スポーツ会館、栃木県立体育館、群馬県立スポーツセンター武道館、埼玉県立武道館、千葉県立総合運動場武道館、神奈川県立武道館、川崎市石川記念武道館、石川県立武道館、愛知県スポーツ会館、三重武道館、大阪府立体育会館、大阪市立修道館、和歌山県立武道館、島根県立武道館、岡山武道館、徳島県総合運動公園武道館、香川県立武道館、香川県立丸亀武道館、高知県立武道館、熊本武道館加盟、日本武道館。
昭和57年	○4月26日、最初の公立武道館協議会が宮城県で結成（加盟37施設）。 ○7月28日～30日、三重県なぎなた錬成大会兼なぎなた教室に2人の講師を派遣。 ○8月2日～4日、秋田県柔道青少年錬成大会に3人の講師を派遣。 ○8月、石川県の地方青少年武道錬成大会に初めて共催として加わる。 ○9月4日～5日、鳥取県の県内なぎなた錬成講習会兼なぎなた教室に2人の講師を派遣（以上、講師の手当、旅費交通費を負担）。	
昭和58年	○7月28日～29日、宮城県柔道青少年錬成大会に2人の講師を派遣。 ○8月25日～27日、石川県青少年武道錬成大会に柔・剣道2人ずつ講師を派遣。 ○11月1日～2日、日本武道館で、第1回の館長研修会議開催。加藤理事長ほか17人が出席し、議長からの報告、活動報告、全体討議などを行う。 ○11月13日 岡山武道館、11月18日 宮城県第二総合運動場で古武道映画映写講演会（本協議会共催）開催。 ○12月24日～26日、宮崎県青少年剣道錬成大会が県教委、県体協、県柔連・剣連との共催で行われ、2人の講師を派遣するとともに、会議費、市内連絡費ほかを補助。	京都市スポーツセンター 宮崎県教育庁スポーツ指導センター 鹿児島県総合体育センター 以上、3館加盟。
昭和59年	○6月6日、石川で2番目の公立武道館協議会が結成（加盟21施設）。 ○6月28日～7月1日、第1回の全国地域社会武道指導者研修会が日本武道館研修センター（千葉県勝浦市）で加盟館の柔・剣道指導者職員を対象に開催され、52人が参加。以下、毎年度実施。 *この年度から、「講師派遣事業」はなくなり、現在の「地域社会武道指導者研修会・地方青少年武道錬成大会」（以上国庫補助対象）のみの実施になる。 ○9月1日～2日、地域社会武道指導者（剣道・弓道）研修会が宮崎県都城市で開催。 ○地方青少年武道錬成大会は、7月の宮城県仙台市柔・剣道を皮切りに、同県古川市柔道、同県村田町剣道、北海道北見市剣道、石川県柔・剣・弓道、山口県柔・剣道、宮崎県柔・剣道が行われた。 ○10月27日、和歌山県立武道館で武道映画講演会開催。 ○11月2日、日本武道館で館長研修会議開催。加藤理事長ほか24人が出席し、議長からの報告、活動報告、全体討議などを行う。	山口県スポーツ文化センター加盟。

年	事業関係	加盟関係（施設名は加盟当時）
昭和60年	○2月16日～17日、地域社会剣道高段者指導者研修会が岡山武道館で開催。 ○6月14日、沖縄県浦添市で武道映画講演会を開催。 ○8月、第1回日本武道館書写書道大展示会に後援名義、賞状、賞品を出す。以下、毎年度実施。 ○12月7日～8日、岡山武道館で第9回日本古武道演武大会と並行して第3回の館長研修会議開催。増田副会長ほか27名が出席し、議長報告、活動報告、全体討議などを行う。 ○12月8日、第9回日本古武道演武大会・岡山に初の協賛名義。以下、毎年度実施。	大阪府立体育会館退会。 奈良県立橿原公苑 広島県立体育館 以上、2館加盟。
昭和61年	○9月19日、宮崎で3番目の公立武道館協議会が結成（加盟19施設）。 ○9月20日、宮崎県都城市で武道映画講演会を開催。 ○11月15日～16日、宮城県第二総合運動場で第10回日本古武道演武大会と並行して第4回館長研修会議を開催し、木島専務理事ほか29人が出席し、議長報告、活動報告、全体討議などを行う。 ○11月16日、第10回日本古武道演武大会・宮城（協賛名義）	山形県体育館 愛媛県武道館 以上、2館加盟。
昭和62年	○11月7日～8日、宮崎で5回目の館長研修会開催。木島専務理事ほか27人が出席し、議長報告、活動報告、全体討議などを行う。 ○11月8日、昭和62年度日本武道演武大会・宮崎（協賛名義）	
昭和63年	○2月14日、第11回日本古武道演武大会（協賛名義） ○11月12日、石川で最後となる館長研修会開催。木島専務理事ほか加盟館長25人に、未加盟館から2人が出席し、同内容で行う。 ○11月13日、第12回日本古武道演武大会・石川（協賛名義）	岩手県営武道館加盟。
平成元年	○昭和64年1月5日、第25回全日本書初め大展示会に初めて後援名義、賞状、賞品を出す。以下、毎年度実施。 ○4月1日、熊本で4番目の公立武道館協議会が結成（加盟7施設）。	茨城県武道館 福井県立武道館 鳥取県営鳥取武道館 以上、3館加盟。
平成2年	○1月、宮城県公立武道館協議会1万人寒げい古に後援名義。以下、毎年度実施。	東京武道館 県営富山武道館 以上、2館加盟。
平成3年	○5月1日、鹿児島で5番目の公立武道館協議会が結成（加盟43施設）。 ○10月6日、第15回日本古武道演武大会・岩手（協賛名義） ○11月19日、岩手で6番目の公立武道館協議会が結成（加盟33施設）。	県営高岡武道館 兵庫県立総合体育館 以上、2館加盟。
平成4年		山梨県緑が丘スポーツ公園 体育館 岐阜メモリアルセンター 以上、2館加盟。
平成5年	○7月29日、和歌山で7番目の公立武道館協議会が結成（加盟10施設）。	愛知県スポーツ会館退会、愛知県武道館加盟。 滋賀県立武道館加盟。
平成6年		
平成7年	○8月、第11回日本武道館書写書道大展示会に高円宮杯が下賜（後援名義ほか）。 ○10月27日、愛知で8番目の公立武道館協議会が結成（加盟23施設）。 ○11月26日、第19回日本古武道演武大会・石川（協賛名義） ○11月30日、秋田で9番目の公立武道館協議会結成（加盟16施設）。	沖縄県立奥武山総合運動場武道館加盟。
平成8年		青森県武道館加盟。
平成9年	○4月1日、福井で10番目の公立武道館協議会結成（加盟11施設）。	長崎県立武道館加盟。
平成10年	○1月5日、沖縄県立武道館で第1回沖縄県立武道館「新春1,000名かきぞめ席書大会」が開催され、後援名義を出す。 ○2月22日、第21回日本古武道演武大会神奈川・相模原市（協賛名義） ○5月、島根相撲、山形剣道、10月石川弓道、12月愛知柔道で「武道講演会」を併催。 ○12月6日、第22回日本古武道演武大会・第11回宮崎県武道振興演武大会・宮崎（協賛名義）	
平成11年	○1月5日、第2回沖縄県立武道館「新春1,000名かきぞめ席書大会」に後援名義のほか、賞状・賞品供与。以下毎年度実施。	

年	事業関係	加盟関係（施設名は加盟当時）
平成12年		札幌中島体育センターが移転し、北海道立総合体育センターに。 県営鳥取武道館（鳥取市）から鳥取県立武道館（米子市）へ業務移行。 群馬は、新装移転して群馬県総合スポーツセンターぐんま武道館へ。
平成13年	○7月26日、鳥取で11番目の公立武道館協議会結成（加盟15施設）。 ○8月28日、青森で12番目の公立武道館協議会が結成（加盟28施設）。 ○11月16日～18日、最後の全国研修会が日本武道館研修センターで開催。	
平成14年		福島県営あづま総合体育館 静岡県武道館 以上、2館加盟。
平成15年	○地域社会武道指導者研修会、地方青少年武道錬成大会の参加者総計が1万人を突破する。	埼玉県立武道館は、さいたま市浦和から上尾市へ新装移転。 兵庫県立総合体育館が退会、代わって兵庫県立武道館加盟。 愛媛県武道館は市内に新装移転。 大分県立総合体育館加盟。
平成16年		秋田県立スポーツ会館が退会、代わって秋田県立武道館加盟。
平成17年	○2月13日、第28回日本古武道演武大会・兵庫（協賛名義）	山梨県緑が丘スポーツ公園体育館退会、山梨県小瀬スポーツ公園武道館加盟。
平成18年		
平成19年	○2月11日、第30回日本古武道演武大会・熊本（協賛名義）	香川県立丸亀武道館は隣接する高校に移管され退会。 福岡県立スポーツ科学情報センター 佐賀県総合体育館 以上、2館加盟。
平成20年	○熊本県公立武道館協議会は、町村合併、指定管理者制度の採用、疲弊する財政など行政の変化等に鑑み、より現実に即した武道振興策を目指し、19年度を以て解散。 ○2月10日、第31回日本古武道演武大会・岡山（協賛名義） ○地域社会武道指導者研修会で、初めて中学校武道必修化特化型を実施。3県3カ所153人参加。	
平成21年	○2月8日、日本古武道協会設立30周年記念第32回日本古武道演武大会（協賛名義） ＊大会前日、日本古武道協会設立30周年記念式典を開催。 ○10月10日、日本武道館で天皇陛下御即位20年奉祝日本武道祭（後援名義） ○11月1日、宮崎県武道館で教育文化講演会が「武士道 惻隠のこころ」をテーマに初開催（本協議会共催）。	
平成22年	○1月19日～20日、初の事務担当者会議が日本武道館で開かれる。以降、3年に1度開催。 ○11月21日、宮崎県武道館で2回目の教育文化講演会が「外国人からみた日本の心」をテーマに開催（本協議会共催）。 ○12月23日、青森県武道館でオリンピックメダリストによる青少年柔道教室（本協議会共催）。 ○地方青少年武道錬成大会の開催に合わせ、古武道の理解を深め、保存・振興の一助とするため、平成22年度から古武道模範演武披露会（「地元に伝わる古武道模範演武」）を実施。岡山剣道錬成大会で鐘捲流抜刀術、茨城県剣道錬成大会で北辰一刀流剣術の模範演武披露が行われた。（以降、毎年3カ所程度で実施）。	
平成23年	○地方青少年武道錬成大会で「地元に伝わる古武道模範演武」を青森県（ト傳流剣術）、茨城県（為我流派勝新流柔術）、奈良県（直心影流薙刀術）で実施。 ○東日本大震災に対し義援金500万円を、日本赤十字社を通じて拠出。 ○11月3日、宮崎県武道館で3回目の教育文化講演会が「心の基礎をつくる」をテーマに開催（本協議会共催）。 ○11月6日、第35回日本古武道演武大会・青森（協賛名義）。	

年	事業関係	加盟関係（施設名は加盟当時）
平成24年	○中学校で武道必修化が開始される。 ○本協議会が設立30周年を迎え、『全国都道府県立武道館協議会30年史』を刊行。 ○4月28日、本協議会設立30周年記念式典が開催される。 ○11月11日、宮崎県武道館で4回目の教育文化講演会が「『道徳心』と武道教育」をテーマに開催（本協議会共催）。	
平成25年	○1月15日～16日、2回目となる平成24年度事務担当者会議が日本武道館で開催される。 ○2月10日、第36回日本古武道演武大会・兵庫（協賛名義）。	
平成26年	○日本武道館が創立50周年を迎え、10月5日、日本武道館で「日本武道館創立50周年記念式典・日本武道祭」が開催される（後援名義）。	
平成27年	○「全国武道館実態調査」を、都道府県教育委員会及び本協議会加盟館の協力を得て実施。	
平成28年	○1月18日～19日、平成27年度事務担当者会議が日本武道館で開催される。 ○8月12日～14日、日本武道館武道学園創立50周年記念校外授業を静岡県武道館で開催。	
平成29年	○2月5日、第40回日本古武道演武大会・日本武道館（協賛名義）	
平成30年	○2月4日、明治150年記念第41回日本古武道演武大会・日本武道館（協賛名義） ○2018年「ロシアにおける日本年」「日本におけるロシア年」ロシア武道代表団日本招聘事業として、10月31日に沖縄大会を沖縄空手会館において、11月3日に兵庫大会をウインク武道館（兵庫県立武道館）において実施。 ○「第2回全国武道館実態調査」を都道府県・政令指定都市教育委員会、本協議会加盟武道館及び日本武道協議会の協力を得て実施。 ○西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震災害に対する義援金各500万円計1,000万円を日本赤十字社を通じて拠出。	
平成31年 ・ 令和元年	○1月28日～29日、平成30年度事務担当者会議が日本武道館で開催される。 ○2月3日、日本古武道協会設立40周年記念第42回日本古武道演武大会・日本武道館（協賛名義） *大会前日2月2日、記念式典・祝賀会を高円宮妃殿下御臨席の下、開催。 ○令和元年度台風第19号災害に対する義援金500万円を日本赤十字社を通じて拠出。	さいたま市大宮武道館、新潟県立武道館以上、2館加盟。
令和2年	○2月2日、第43回日本古武道演武大会・東京武道館（協賛名義） *2020年東京オリンピック・パラリンピックの増改修工事に伴い、東京武道館にて開催。 ○新型コロナウイルス感染防止のため、令和元年度常任理事会・令和2年度理事会を中止（決議省略）。	長野県立武道館加盟。 栃木県体育館退会、 栃木県総合運動公園武道館加盟。 大分県立総合体育館退会、 昭和電工武道スポーツセンター加盟。
令和3年	○2月7日、第44回日本古武道演武大会〈中止〉 ○新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年度常任理事会・令和3年度理事会を中止（決議省略）。	横浜武道館加盟。
令和4年	○1月17日～18日、令和3年度事務担当者会議が日本武道館で開催される。 ○2月5日、第45回日本古武道演武大会・日本武道館（協賛名義） ○新型コロナウイルス感染防止のため、令和3年度常任理事会・令和4年度理事会を中止（書面決議）。	
令和5年	○2月5日、第46回日本古武道演武大会・日本武道館（協賛名義） ○令和3年度に本協議会が設立40周年を迎え、『全国都道府県立武道館協議会40周年史』を刊行。	

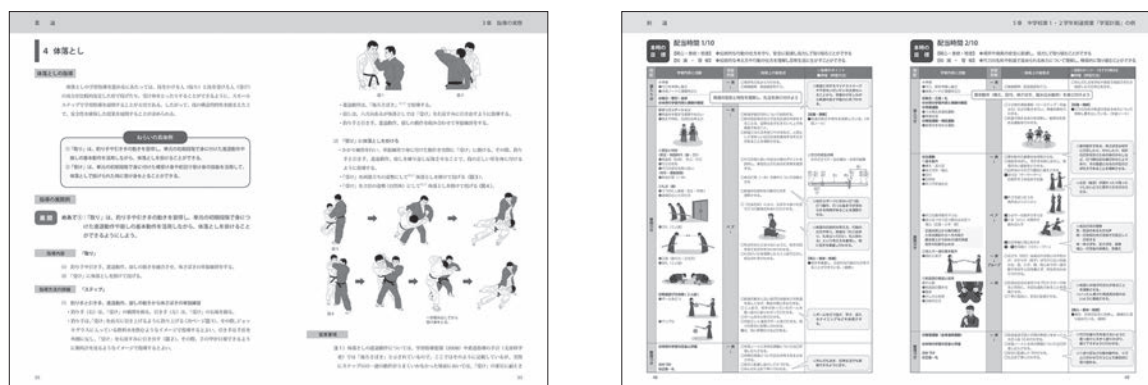
地域社会武道指導者研修会における 『中学校武道必修化指導書・DVD』の贈呈について

安全で、楽しく、効果の上がる武道授業を実施するため、日本武道協議会設立40周年記念事業として『中学校武道必修化指導書（10分冊）・DVD（3巻付）』が平成29年5月に刊行され、武道9種目の周知徹底と中学校武道必修化の充実を目的に、全国1万余校の中学校、全都道府県市区町村教育委員会、全国主要公立図書館等へ無償贈呈されました。

全国都道府県立武道館協議会においても、これまで地域社会武道指導者研修会講師・参加者へ、同書を配布してきました。

今後も、地域社会武道指導者研修会において、中学校武道必修化特化型研修会では講師・参加者全員に、一般の研修会では希望者に、無償贈呈いたします。

ぜひ各地域における武道の振興普及にご活用ください。



柔道・剣道の誌面の一部



武道



柔道



剣道



弓道



相撲



空手道



合気道



少林寺拳法



なぎなた



銃剣道

令和5年度全国都道府県立武道館協議会役員名簿

令和4年5月18日改選

役 職	氏 名	所 属	所属における役職
会 長	高 村 正 彦	(公財) 日本武道館	会長
理 事 長	川 端 達 夫	(公財) 日本武道館	理事長
常任理事	江 渡 聡 徳	(公財) 日本武道館	常任理事
常任理事	森 英 介	(公財) 日本武道館	常任理事
常任理事	吉 川 英 夫	(公財) 日本武道館	理事・事務局長
常任理事 (北海道ブロック)	酒 井 隆	北海道立総合体育センター / (公財) 北海道スポーツ協会	副館長
常任理事 (東北ブロック)	春 藤 英 徳	青森県武道館 / (公財) 弘前市スポーツ協会	館長
常任理事 (関東ブロック)	山 崎 成 夫	千葉県総合スポーツセンター 武道館 / 千葉県スポーツ協会・千葉県まちづくり公社グループ	センター長
常任理事 (北信越ブロック)	木 村 正 哉	謙信公武道館 (新潟県立武道館) / (株)PFI新潟県立武道館サービス	館長
常任理事 (東海ブロック)	原 克 彦	岐阜メモリアルセンター / (公財) 岐阜県スポーツ協会	常務理事
常任理事 (近畿ブロック)	西 茂 樹	兵庫県立武道館 / 兵庫県体育協会グループ	館長
常任理事 (中国ブロック)	金 津 義 彦	島根県立武道館 / (公財) 島根県スポーツ協会	館長
常任理事 (四国ブロック)	松 田 由 紀	高知県立武道館 / (公財) 高知県スポーツ振興財団	館長
常任理事 (九州ブロック)	佐 保 宏 二	レゾナック武道スポーツセンター (大分県立武道スポーツセンター)	会長
理 事	田 中 聡	岩手県営武道館 / (公財) 岩手県スポーツ振興事業団	館長
理 事	阿 部 正	宮城県第二総合運動場 / 宮城県スポーツ協会	場長
理 事	近 江 謙	秋田県立武道館 / (一財) 秋田県総合公社	所長
理 事	逸 見 良 昭	山形県武道館 / (公財) 山形市スポーツ協会	会長
理 事	久保木 義 明	福島県営あづま総合体育館 / (公財) 福島県都市公園・緑化協会	会長
理 事	藤 田 昌 人	東日本技術研究所武道館 / (公財) 茨城県スポーツ協会	所長
理 事	田 代 哲 郎	栃木県総合運動公園武道館 (ユウケイ武道館) / (公財) 栃木県スポーツ協会	館長
理 事	新 井 彰 彰	埼玉県立武道館 / 埼玉県立武道館指定管理者	館長
理 事	中 田 謙 司	さいたま市大宮武道館 / (株) サイオー	館長
理 事	村 上 修 史	東京武道館 / (公財) 東京都スポーツ文化事業団グループ	館長
理 事	鈴 木 博 一	シンコースポーツ神奈川県立武道館 / シンコースポーツ株式会社	館長
理 事	高 橋 創 一	川崎市石川記念武道館 / シンコースポーツ株式会社	館長
理 事	辻 昌 彦	山梨県小瀬スポーツ公園武道館 / (公財) 山梨県スポーツ協会	管理課課長
理 事	中 橋 秋 芳	県営富山武道館 / (公財) 富山市体育協会	館長
理 事	堤 博 昭	県営高岡武道館 / (公財) 高岡市体育協会	館長
理 事	山 本 智 秀	石川県立武道館 / 石川県体育協会グループ	館長
理 事	小 林 正 純	福井県立武道館	館長
理 事	木 内 義 雄	長野県立武道館 / シンコースポーツ・NTTファシリティーズ共同事業体	名誉館長
理 事	大 石 広 和	静岡県武道館 / 静岡県スポーツ協会グループ	館長
理 事	高 田 論	愛知県武道館 / (公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団	館長
理 事	佐 藤 昭 人	三重武道館 / 津市スポーツ・メッセネットワーク	常務理事兼事務局長
理 事	村 田 惣一郎	滋賀県立体育館・武道館管理センター / (公財) 滋賀県スポーツ協会	所長
理 事	松 井 道 宣	京都市武道センター (旧武徳殿) / 岡崎スポーツネットワーク 【代表: (公財)京都市スポーツ協会】	会長
理 事	島 野 大 洋	大阪市立修道館 / (公財) 大阪武道振興協会	館長
理 事	牧 野 望	奈良県立橿原公苑	公苑長
理 事	阪 口 雅 則	和歌山県立武道館 / (公財) 和歌山県スポーツ振興財団	館長
理 事	山 中 洋 介	鳥取県立武道館 / (公財) 鳥取県スポーツ協会	館長
理 事	山 本 晋一郎	岡山武道館 / (公財) 岡山県武道振興会	館長
理 事	野 村 満 史	広島県立総合体育館 / (公財) 広島県教育事業団	館長
理 事	前 田 安 典	維新百年記念公園維新大見アリーナ武道館 / (一財) 山口県施設管理財団	理事長
理 事	平 島 一 男	徳島県立中央武道館 / (公財) 徳島県スポーツ協会	所長
理 事	大 林 達 造	香川県立武道館 / 四電工・シンコースポーツ四国 グループ	館長
理 事	佐 伯 登志男	愛媛県武道館 / (公財) 愛媛県スポーツ振興事業団	館長
理 事	鶴 英 樹	福岡県立スポーツ科学情報センター / アクション福岡マネジメントグループ	所長
理 事	溝 上 泰 弘	SAGAサンライズパークSAGAプラザ (総合体育館) / (株)SAGAサンシャインフォレスト	代表取締役
理 事	松 山 度 良	長崎県立武道館 / (公財) 佐世保市スポーツ協会	会長
理 事	河 津 修 司	熊本武道館 / (公財) 熊本県武道振興会	代表理事
理 事	萩 尾 英 司	ひなた武道館 (宮崎県武道館) / (公財) 宮崎県スポーツ施設協会	常務理事兼事務局長
理 事	肥 後 昭 文	鹿児島県総合体育センター / セイカ・ユナイテッドグループ	所長
理 事	渡慶次 勝	沖縄県立武道館 / 奥武山パークマネジメント	館長
監 事	高 田 勉	群馬県総合スポーツセンター ALSOKぐんま武道館 / (公財) 群馬県スポーツ協会	館長
監 事	大 山 圭 子	横浜武道館 / (株)YOKOHAMA 文体	館長

全国都道府県立武道館協議会 会報 第47号

令和7年2月14日 発行

発行人 川 端 達 夫
編集人 吉 川 英 夫

発行所 全国都道府県立武道館協議会
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園 2-3
公益財団法人 日本武道館内
電話 03-3216-5137 FAX 03-3216-5389

印刷・製本 株式会社三友社
《不許複製・禁転載》